施工後の動作確認方法

SHVT27312W・SHVT27352Wの場合

●施工後、取扱説明書にしたがって動作の確認を行ってください。
一括遠隔試験については統合盤(別売)に付属の説明書にしたがって確認を行ってください。

注
●一括遠隔試験時には、親機から警報音は鳴りません。
●カラーカメラ付ドアホン子器(テスト釦付)(別売)または警報表示付ドアホン子器(テスト釦付)(別売)で音量測定をする場合は、ドアホン子器のテストボタンを押すとドアホン子器から警報音が1フレーズ鳴動し、警報表示灯が点滅します。

SHVT27612W・SHVT27652W・SHVB27612W・SHVB27652Wの場合

●施工後、取扱説明書にしたがって動作の確認を行ってください。
戸外点検についてはカラーカメラ付ドアホン子器(遠隔試験端子付)(別売)または警報表示付ドアホン子器(遠隔試験端子付)(別売)、遠隔試験中継器(別売)、外部試験器(別売)に付属の説明書にしたがって確認を行ってください。

注
●戸外(カラーカメラ付ドアホン子器または警報表示付ドアホン子器)および管理室(統合盤または警報監視盤)にも警報音が出ますので注意してください。
●戸外点検時には、親機から警報音は鳴りません。

松下電工株式会社　HA・セキュリティ事業部
本　社 〒571-8686 大阪府門真市大字門真1048　TEL (06) 6908－1131(大代表)
津工場 〒514-8555 三重県津市藤方1668　TEL (059) 228－1211(代　表)

8A2 Q43 00002
406-2

National　**施工説明書**

Smart MONION

共同住宅用

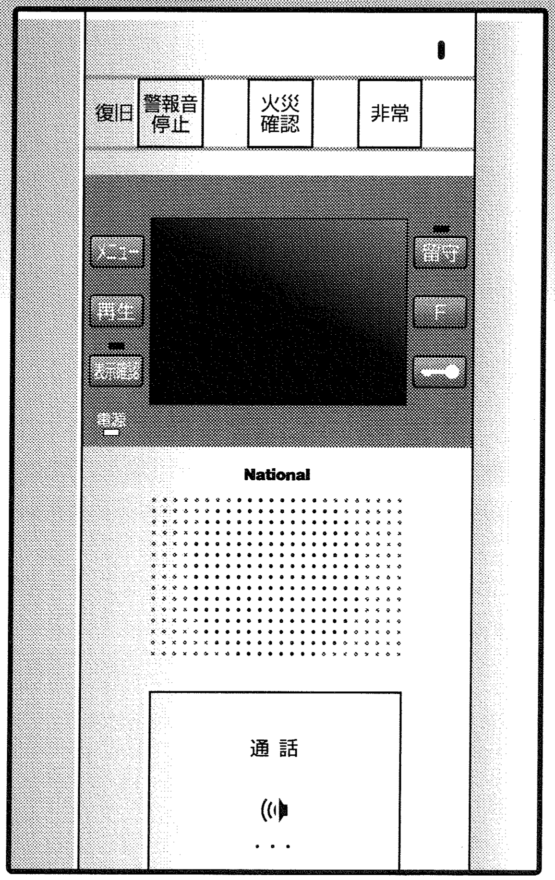
カラーモニター付セキュリティインターホン3M型親機
(録音機能付)(埋込型)　SHVT27312W・SHVT27352W・SHVT27612W・SHVT27652W

住戸用

カラーモニター付セキュリティインターホン3M型親機
(録音機能付)(埋込型)　SHVB27612W・SHVB27652W

カラーモニター付セキュリティインターホン3M型副親機
(埋込型)　SHV13311W

セキュリティインターホン3M型通話副親機(露出型)　SHV63115W



●図はSHVT品番(親機)の場合を示します。

施工される前に

●正しい施工をしていただくため、必ずお読みください。
●施工するには、電気工事士・消防設備士(甲種第4類)の資格が必要です。
●施工後、必ず施主様に商品説明をしていただき、取扱説明書と施工説明書などをお渡しください。
●保証書に必ず必要事項を記入してください。
●万一、施工説明書にしたがわず施工された場合の事故や故障などについては責任を負い兼ねることがあります。

生産終了品
この商品は生産終了につき製造することができません

安全上のご注意

●ご使用の前にこの「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
●ここに示した注意事項は、安全に関する重要な内容を記載していますので、必ずお守りください。

⚠警告	人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容

⚠警告

必ず守る

必ず電源(専用ブレーカーAC100V)、統合盤または警報監視盤、住棟受信機(SHVT27612W・SHVT27652Wの場合)、非常電源(SHVT27312W・SHVT27352W・SHVT27612W・SHVT27652Wの場合)および通話・映像制御盤の電源を切った状態で施工する。

活線工事は感電や故障の原因となります。

注 異常時「切」スイッチ(28・30ページ参照)はAC100V1次側の電源を切るスイッチです。
(非常電源(SHVT27312W・SHVT27352W・SHVT27612W・SHVT27652Wの場合)の電源は切れません。)

禁止

水や雨のかかる場所(屋外など)および湿気の多い場所(浴室など)には設置しない。

感電の原因となります。

禁止

小勢力端子にAC100V用電源線を接続しない。

発火・発煙の原因となります。

必ず守る

ヒューズ交換は電源(専用ブレーカーAC100V)、統合盤または警報監視盤、住棟受信機(SHVT27612W・SHVT27652Wの場合)、非常電源(SHVT27312W・SHVT27352W・SHVT27612W・SHVT27652Wの場合)および通話・映像制御盤の電源を切った状態で行う。

電源を切らないと、感電の原因となります。

必ず守る

AC100V用電源線は確実に差し込む。

差し込みが不十分な場合、発熱するおそれがあり、火災や焼損の原因となります。

分解禁止

絶対に分解(指定以外の分解)、修理・改造しない。

感電の原因となります。

もくじ

はじめに

安全上のご注意	1
付　属　品	4
機　能　一　覧	4
施工上のご注意	5

取付・配線方法

取　付　方　法	6~13
●親機の場合	6~8
●モニター付副親機の場合	9~11
●通話副親機の場合	12~13
配　線　方　法	14~25
●マンションHA統合盤との接続（SHVT27312W・SHVT27352W・SHVT27612W・SHVT27652Wの場合）	14
●マンションHA統合盤との接続（SHVB27612W・SHVB27652Wの場合）	15
●警報監視盤・住棟受信機（当社受信機）との接続（SHVT27612W・SHVT27652Wの場合）	16
●警報監視盤との接続（SHVB27612W・SHVB27652Wの場合）	17
●住戸内（カラーカメラ付ドアホン子器・感知器など）の接続	18~23
●住戸内（モニター付副親機・通話副親機）の接続	24~25
配線可能距離	26
●非常電源 配線系統図	27
適合ガスもれ警報器	27

機能設定

機　能　設　定	28~31
●親機の場合	28~29
●モニター付副親機の場合	30
●通話副親機の場合	31
画面操作による設定	32~81
●画面操作時の各ボタンのなまえとはたらき	32
●基本操作	32

➡「機能設定」つづき

施工設定

●施工設定を開始／終了するには	33
施工設定	34~56
●回路機能設定 回路1 回路2 回路3 回路4 回路5	37
●コール設定 コール1 コール2 コール3 コール4	38~42
・機能切替	38
・移報遅延	39
・ラッチ（自己保持機能）	39~40
・表示（画面の表示）	40
・音量（連絡コール）	41
・ドアホン移報	41~42
●防犯設定 防犯1 防犯2 防犯3	43~45
・警戒遅延	43
・警戒確定音	44
・表示（画面の表示）	44~45
●防犯設定 防犯共通	46~49
・移報遅延	46
・予備警報音・個別警戒	47
・外部解除・警報中外部解除	48
・解錠防犯連動・センサー情報	49
●管理呼機能設定	50
●録音初期化	51
●カメラ設定	52~53
・玄関カメラ	52
・センサーカメラ	53
●表示・報知設定	54~55
・過電流表示	54
・戸締り表示	54~55
・水漏れ報知	55
●電気錠（住戸玄関）設定	56

ユーザー設定

●ユーザー設定を開始／終了するには	57
ユーザー設定	58~81
●呼出音量を設定する	59
●呼出音を設定する	60~61
●引取り音を設定する	62
●一般放送鳴動を設定する	63
●防犯警戒解除のための暗証番号を設定する	65~67
●ドアホン報知を設定する	68~69
●画質を設定する	70
●自動録音を設定する	72~73
●応答メッセージを設定する	74~77
●メッセージ音量を設定する	78~79
●カラーカメラ子器のセンサーセット状態を設定する	80
●居留守表示を設定する	81

設定状態	82~85
親機の施工設定	82~84
親機のユーザー設定	85
モニター付副親機のユーザー設定	85

その他

施工後の動作確認方法	裏表紙

付属品

付属品 ＼ 品番	親　機	モニター付副親機	通話副親機
	SHVT27312W・SHVT27352W・SHVT27612W・SHVT27652W /SHVB27612W・SHVB27652W	SHV13311W	SHV63115W
取付用丸木ネジ(4.1×25)	4本	4本	——
取付用なべ小ネジ(M4×25)	4本	4本	——
取付用なべタッピンネジ(4×20)	——	——	2本
終端抵抗器(3kΩ 1W)	1本	——	——
専用ブレーカー表示ラベル	1枚	——	——
通話副親機接続用コネクタ付リード線(6P)	1本	——	——
モニター付副親機(通話副親機)接続用コネクタ付リード線(8P)	1本	——	——
親機接続用コネクタ付リード線(8P)	——	1本	——
コネクタ付リード線(2P) (水もれ・外部防犯セットスイッチ・スイッチストライク用)	1本	——	——
コネクタ付リード線(2P)(増設スピーカー接続用)	1本	——	——
取扱説明書	1冊	——	——
簡易取扱説明書	1枚	——	——
保証書	1枚	——	——
お客様ご相談窓口一覧表	1枚	——	——
操作説明書	1枚	——	——
施工説明書(本書)	1冊	——	——

機能一覧

注 ご採用物件の仕様により各機能がない場合があります。

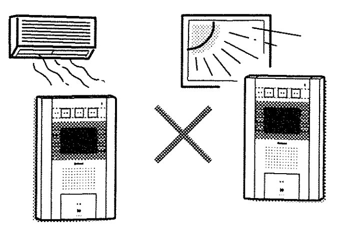
機能 ＼ 品番	親　機	モニター付副親機	通話副親機
	SHVT27312W・SHVT27352W・SHVT27612W・SHVT27652W/SHVB27612W・SHVB27652W	SHV13311W	SHV63115W
通話	●	●	●
室内間通話	●	●	●
管理呼	●	●	——
解錠	●	●	●
宅配	●	●	——
メッセージ	●	●	——
センサーカメラ	●	●	——
電気錠(住戸玄関)	●	●	——
一般放送	●	——	●
緊急放送	●	——	●
非常警報	●	●	●
火災警報	●	●	●(警報音のみ)
火災断線警報	●	●	●(警報音のみ)
ガスもれ警報	●	●	●(警報音のみ)
不完全燃焼(CO)警報	●	●	●(警報音のみ)
ガス機器異常警報	●	●	●(警報音のみ)
防犯警報	●	※1 ●	※2 ●(警報音のみ)
コール(連絡)または緊急コール警報	●	※3 ●	※3 ●(警報音のみ)
水もれ警報	●	●	●(警報音のみ)
過電流警報	●	●	※4 ●(警報音のみ)
録音	●	——	——

※1：親機で防犯設定をした場合に動作します。
※2：親機で防犯設定をした場合に警報音のみ動作します。
※3：親機の機能設定でどちらかを選択します。
※4：親機で過電流表示設定をした場合に警報音のみ動作します。

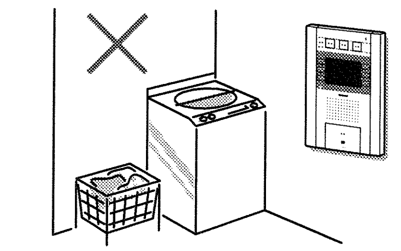
施工上のご注意

- 住戸用自火報設備として、所轄消防署の指導により住棟受信機を接続する必要がある場合は、統合盤がご使用になれます。
  SHVB27612W・SHVB27652Wの場合のみ
- この商品は屋内専用です。屋外には設置しないでください。
- 住戸番号の重複設定はしないでください。各警報および統合盤または警報監視盤との通話ができなくなったり、統合盤、警報監視盤でトラブルが発報します。
- AC100V配線と小勢力配線が接触しないように施工してください。
- 親機(SHVT27612W・SHVT27652W)と接続する住棟受信機の回線は住棟受信機の蓄積切替スイッチを「非蓄積」側に設定してください。「蓄積」側で使用すると火災が発生した場合、正常な火災警報動作をしません。
  SHVT27612W・SHVT27652Wの場合のみ
- 50Hz地区では、カメラ付ロビーインターホン、カラーカメラ付ドアホン子器、カラーカメラ子器の撮像範囲に直接蛍光灯の光が入ると、映像にチラツキが出ることがあります。蛍光灯の光を遮るか、インバータ蛍光灯を使用してください。
- 近くに高出力の無線局や強い磁気を発生するものなどがあると、映像が乱れる場合がありますが、故障ではありません。
- 液晶の破損や故障の原因となりますので、強い衝撃や振動を与えないでください。
- 訪問者がカラーカメラ付ドアホン子器正面中央部に立てるよう、カラーカメラ付ドアホン子器の設置位置を決めてください。
- 接続機器については、その商品に付属の説明書をよくお読みください。

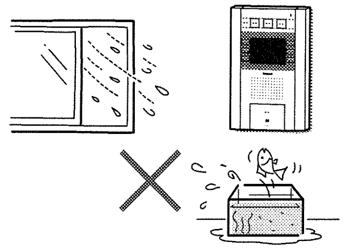
親機 次のような場所には設置しないでください。（誤動作や故障の原因となります。）



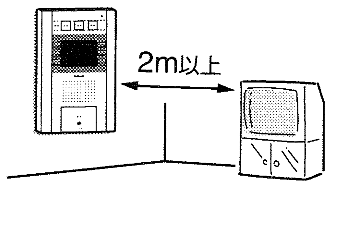
極端に寒い場所・暑い場所
〔冷・暖房の近くや、直射日光の当たる場所〕



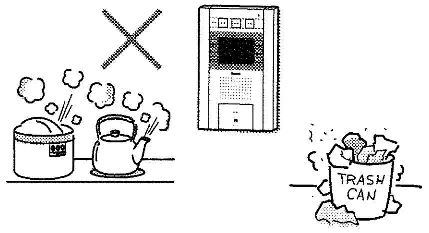
密閉された狭い場所(脱衣所・トイレなど)
- 音が反響して、ハウリング(ピー音がして通話ができなくなる)の原因となります。



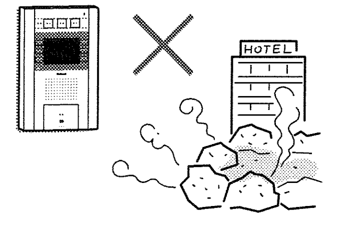
水や雨がかかる場所(屋外など)
- 感電の原因となります。



テレビ、ラジオ、ステレオなどの近く(2m以上離してください。)
- 映像や音声が乱れる場合があります。



直接湯気のかかる場所
湿気の多い場所(浴室など)
ゴミやホコリの多い場所



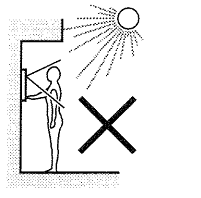
硫化水素の発生する場所(温泉地など)
- 寿命が短くなることがあります。

- 図はSHVT品番(親機)の場合を示します。

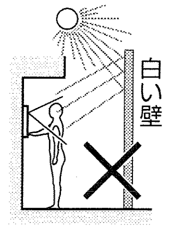
カラーカメラ付ドアホン子器・カラーカメラ子器

- 次のような場所にはなるべく設置しないでください。

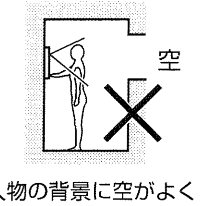
逆光となり、画像が白くなったり、人物が暗くなり訪問者の顔が識別しにくくなります。また直射日光や強い照明の光などが入ると、縦に白く線が生じたり、太陽光による反射模様が発生して、映像が見えにくくなります。



人物の背景に太陽や強い照明がある場合



人物の背景に白い壁などがある場合



人物の背景に空がよく映るマンションなどの階上にある玄関など

取付方法

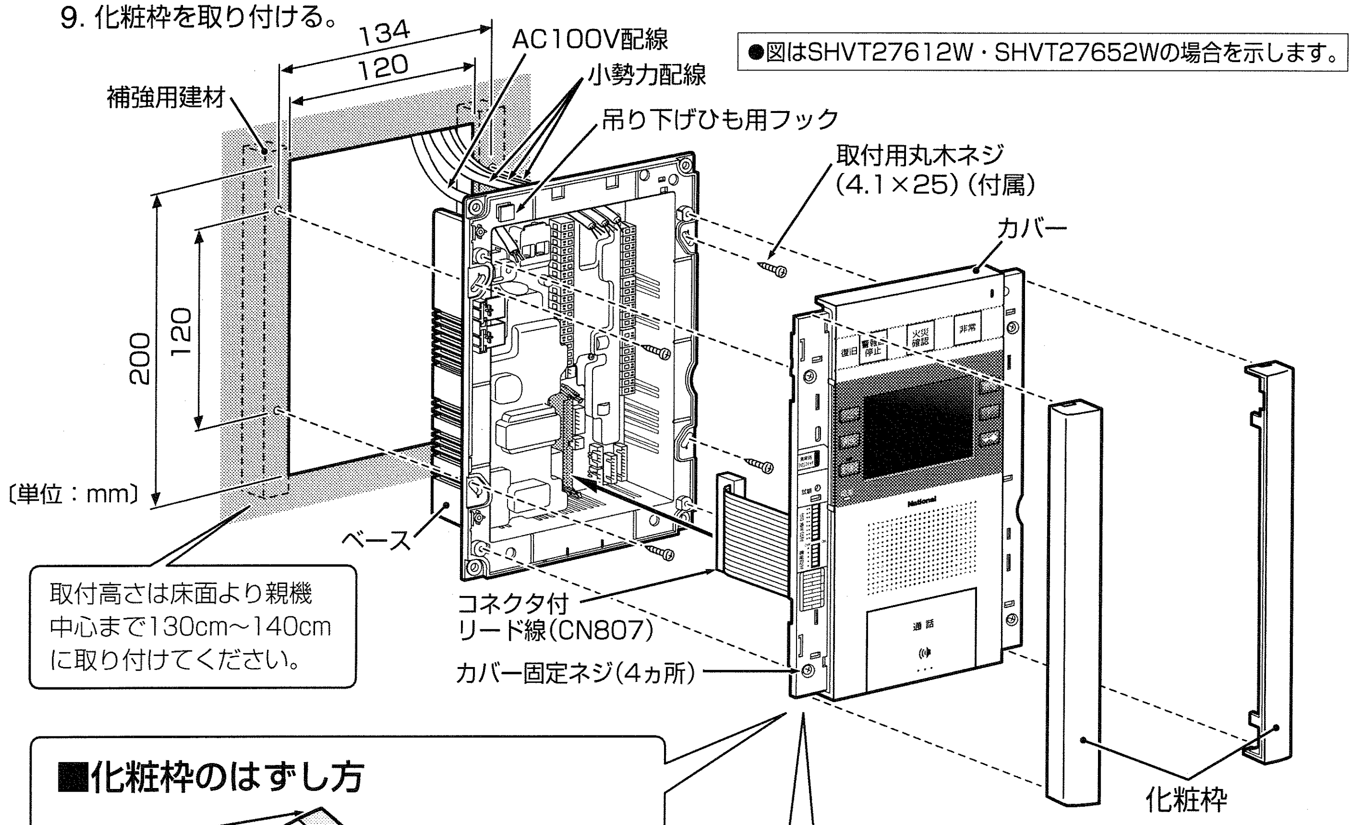
親機の場合

注 コネクタ付リード線(CN807)を接続するときは、電源(専用ブレーカーAC100V)、統合盤または警報監視盤、住棟受信機(SHVT27612W・SHVT27652Wの場合のみ)、非常電源(SHVT27312W・SHVT27352W・SHVT27612W・SHVT27652Wの場合のみ)および通話・映像制御盤の電源を切った状態で接続してください。電源を切らないと、故障の原因となります。

ボックスなし取付の場合

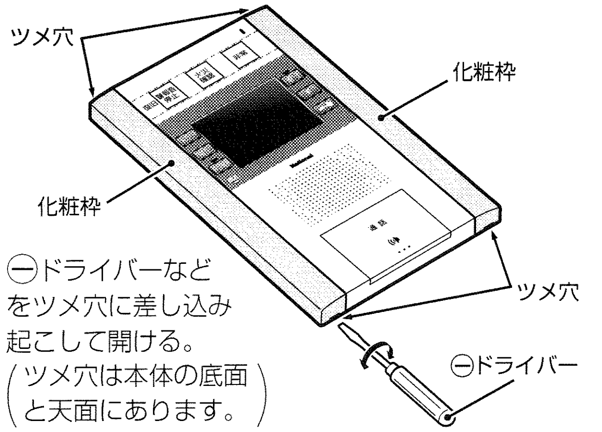
1. 壁面に下記寸法の穴をあけ、取付補強用建材を取り付ける。
2. 本体両端の化粧枠をはずし、カバー固定ネジをゆるめ、カバーを開ける。
3. コネクタ付リード線(CN807)と吊り下げひもをはずし、カバーとベースを分離する。
4. ベースに電線を入線後、付属の取付用丸木ネジ(4.1×25)4本で壁面に固定する。
5. 配線工事をする。(配線方法 ➡14～25ページ)
6. カバーのコネクタ付リード線(CN807)を、ベースのコネクタ受けに差し込む。
7. 吊り下げひもをベースの吊り下げひも用フックに引っ掛ける。
8. カバー上部のフックをベースに引っ掛け、カバーをカバー固定ネジで固定する。
9. 化粧枠を取り付ける。

●図はSHVT27612W・SHVT27652Wの場合を示します。



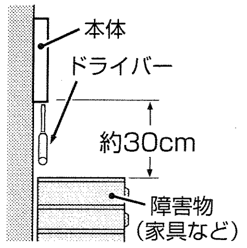
取付高さは床面より親機中心まで130cm～140cmに取り付けてください。

■化粧枠のはずし方



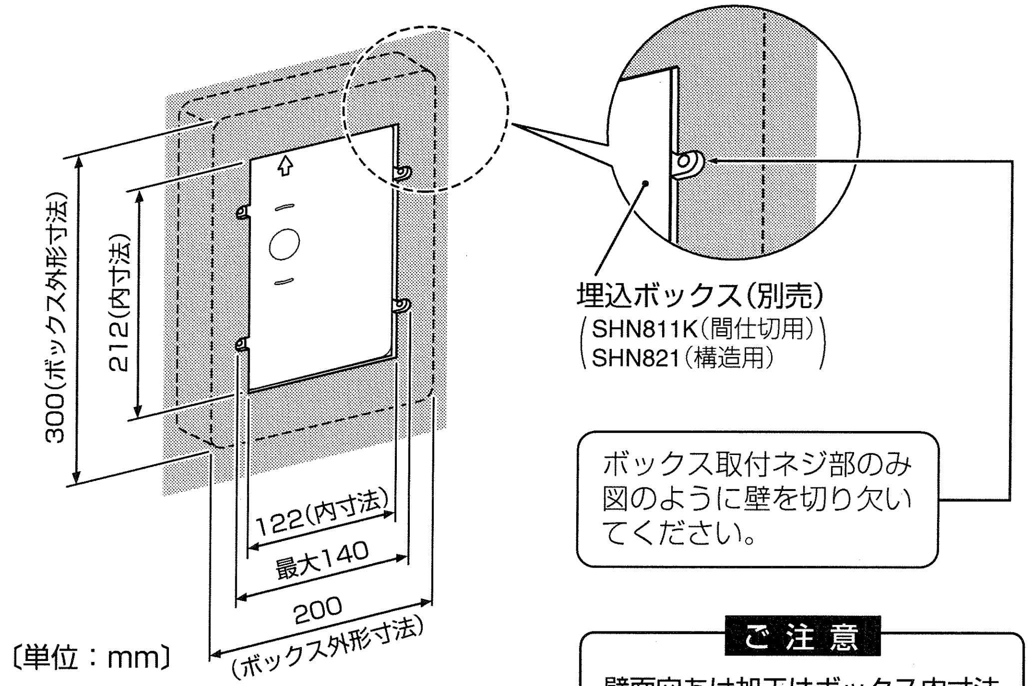
⊖ドライバーなどをツメ穴に差し込み起こして開ける。
(ツメ穴は本体の底面と天面にあります。)

●本体底面および天面のツメ穴に⊖ドライバーなどを差し込んで化粧枠を取りはずすため本体の下または上から30cm以内には障害物がないところに取り付けてください。



●ハンドセットを増設する場合がありますので、本体の左側5cm以内には障害物がないところに取り付けてください。左側に障害物がある場合は、操作性を考慮し10cm以上離して取り付けることをおすすめします。

ボックス取付の場合



ボックス取付ネジ部のみ図のように壁を切り欠いてください。

ご注意

壁面穴あけ加工はボックス内寸法にて行いユニット取付ネジ部を切り欠き加工してください。

●AC100V配線と小勢力配線が接触しないように施工してください。
●ベースを取付用なべ小ネジ(M4×25)4本でボックスに固定してください。
そのほかはボックスなし取付と同じです。

ヒューズの交換方法(ベースの中にあります。)

⚠警告

ヒューズ交換は電源(専用ブレーカーAC100V)、統合盤または警報監視盤、住棟受信機(SHVT27612W・SHVT27652Wの場合のみ)、非常電源(SHVT27312W・SHVT27352W・SHVT27612W・SHVT27652Wの場合のみ)および通話・映像制御盤の電源を切った状態で行ってください。

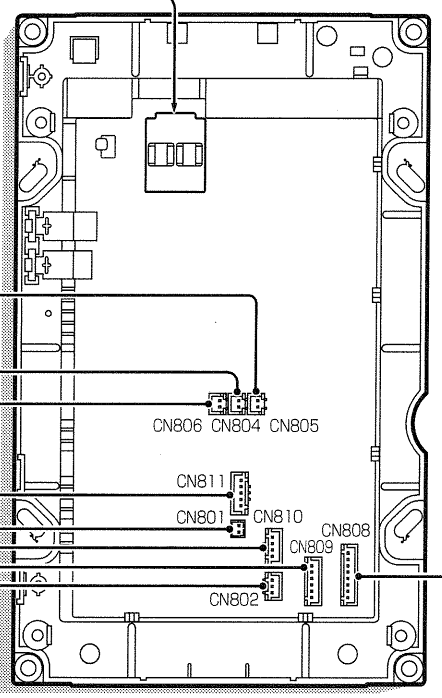
電源を切らないと、感電の原因となります。

必ず守る

ヒューズ交換 カバーをはずして行ってください。

交換ヒューズ	
定　格	AC250V 2A
サイズ	20mm φ5
溶断特性	耐ラッシュ型

<親機のベース>



コネクタへの接続

注 コネクタは斜め方向から抜き差ししないでください。斜め方向から抜き差しすると、故障の原因となります。

外部防犯セットスイッチ入力用コネクタ(CN805)

外部防犯セットスイッチを接続する場合に使用します。 ※1

水もれ入力用コネクタ(CN804)

漏水センサーを接続する場合に使用します。 ※1

スイッチストライク用コネクタ(CN806)

スイッチストライクを接続する場合に使用します。 ※1

接点出力受信器接続用コネクタ(CN811)

接点出力受信器を接続する場合に使用します。

(**接点出力受信器用コネクタ付リード線は付属していません。**)

増設スピーカー接続用コネクタ(CN801)

増設スピーカーを接続する場合に使用します。

(**コネクタ付リード線(2P)(増設スピーカー接続用)は付属しています。**)

HA端子(電気錠)接続用コネクタ(CN810)

HA端子(電気錠)を接続する場合に使用します。

(**HA端子(電気錠)接続用コネクタ付リード線は付属していません。**)

※1 ●水もれ入力用・外部防犯セットスイッチ入力用・スイッチストライク用のコネクタ付リード線としてコネクタ付リード線(2P)(水もれ・外部防犯セットスイッチ・スイッチストライク用)を1本付属しています。
●2本以上必要な場合は、別途お買い求めください。

モニター付副親機・通話副親機接続用コネクタ(CN808)

モニター付副親機または2台目の通話副親機を接続する場合に使用します。

(**●モニター付副親機(通話副親機)接続用コネクタ付リード線(8P)は付属しています。**
●付属のモニター付副親機(通話副親機)接続用コネクタ付リード線(8P)のうちモニター付副親機には、「橙・黄・緑・青・紫・灰」のリード線で、通話副親機には、「茶・赤・橙・黄・緑・青」のリード線で接続してください。
(詳細は24~25ページを参照してください。))

代表移報接続用コネクタ(CN802)

代表移報出力を接続する場合に使用します。

(**代表移報接続用コネクタ付リード線は付属していません。**)

通話副親機接続用コネクタ(CN809)

通話副親機(1台目)を接続する場合に使用します。

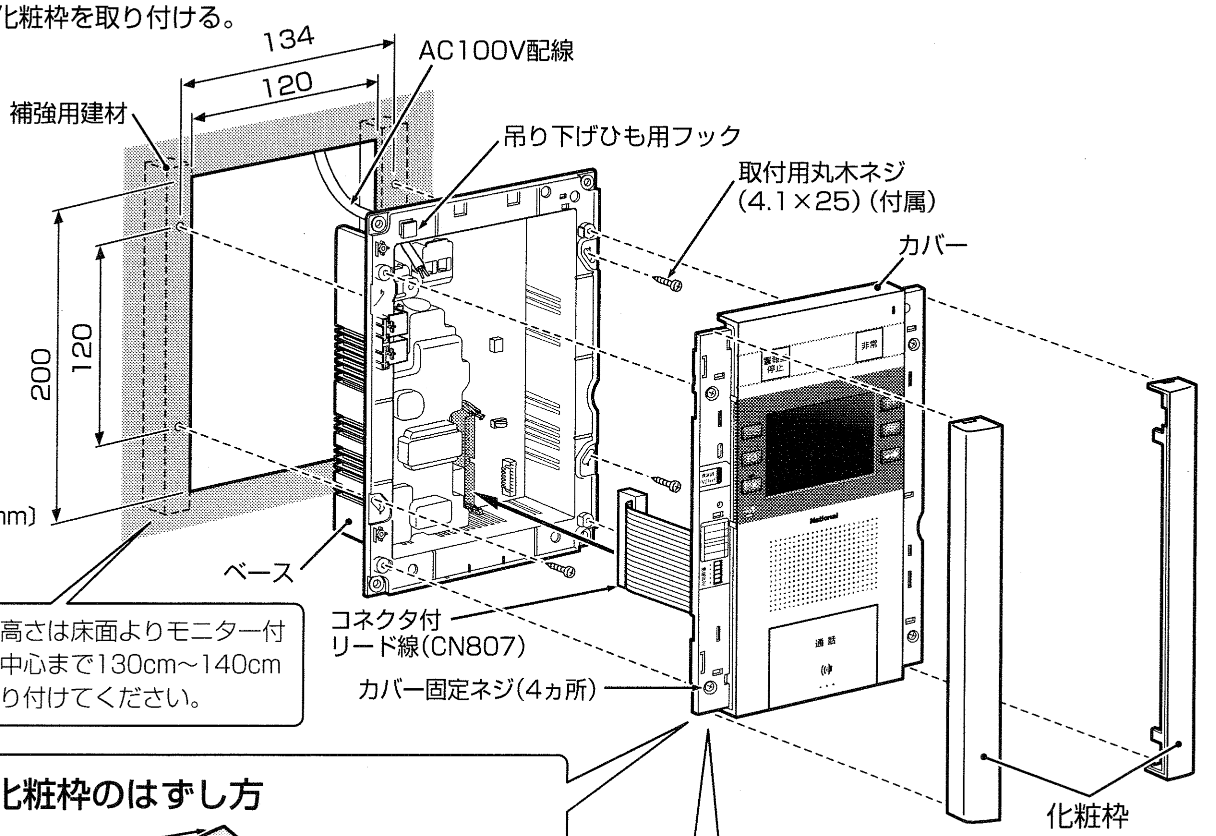
(**●通話副親機接続用コネクタ付リード線(6P)は付属しています。**
●「茶・赤・橙・黄・緑・青」のリード線で接続してください。
(詳細は24~25ページを参照してください。))

モニター付副親機の場合

注 **コネクタ付リード線(CN807)を接続するときは、電源(専用ブレーカーAC100V)、統合盤または警報監視盤、住棟受信機(SHVT27612W・SHVT27652Wと接続した場合のみ)、非常電源(SHVT27312W・SHVT27352W・SHVT27612W・SHVT27652Wと接続した場合のみ)および通話・映像制御盤の電源を切った状態で接続してください。**
電源を切らないと、故障の原因となります。

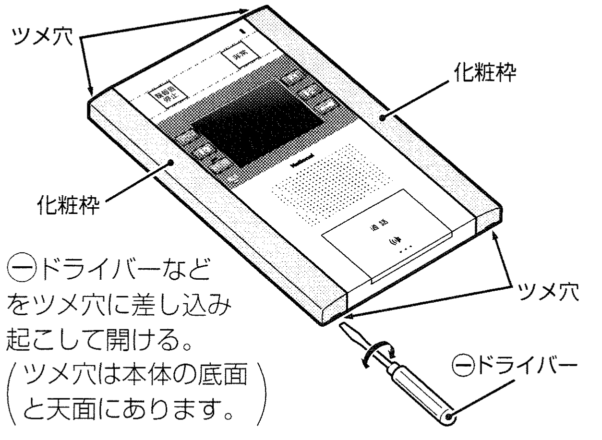
ボックスなし取付の場合

1. 壁面に下記寸法の穴をあけ、取付補強用建材を取り付ける。
2. 本体両端の化粧枠をはずし、カバー固定ネジをゆるめ、カバーを開ける。
3. コネクタ付リード線(CN807)と吊り下げひもをはずし、カバーとベースを分離する。
4. ベースに電線を入線後、付属の取付用丸木ネジ(4.1×25)4本で壁面に固定する。
5. 配線工事をする。(配線方法➡24~25ページ)
6. カバーのコネクタ付リード線(CN807)を、ベースのコネクタ受けに差し込む。
7. 吊り下げひもをベースの吊り下げひも用フックに引っ掛ける。
8. カバー上部のフックをベースに引っ掛け、カバーをカバー固定ネジで固定する。
9. 化粧枠を取り付ける。



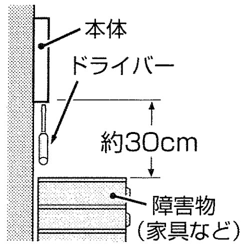
取付高さは床面よりモニター付親機中心まで130cm~140cmに取り付けてください。

■化粧枠のはずし方



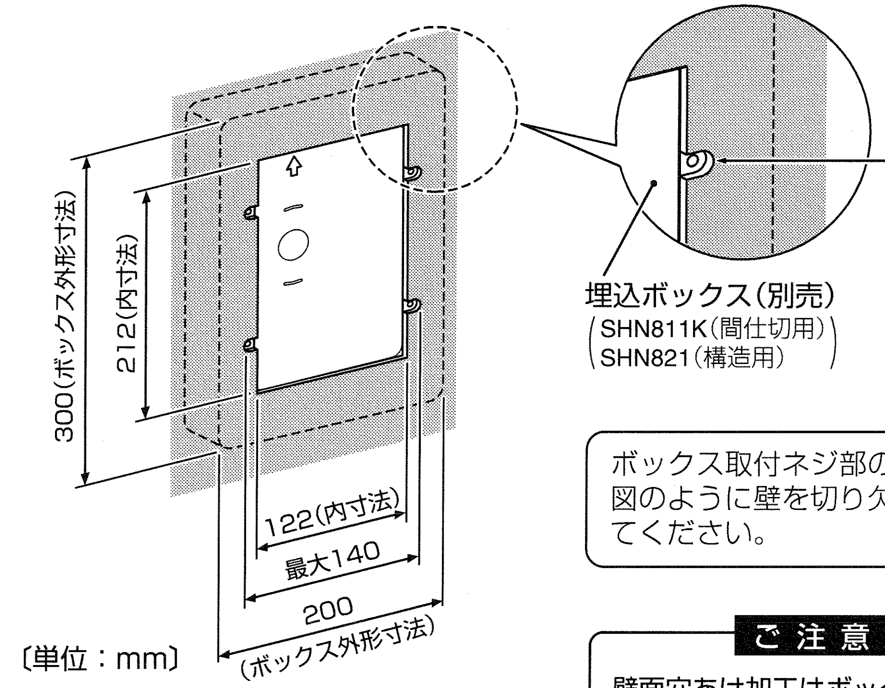
⊖ドライバーなどをツメ穴に差し込み起こして開ける。
(ツメ穴は本体の底面と天面にあります。)

●本体底面および天面のツメ穴に⊖ドライバーなどを差し込んで化粧枠を取りはずすため本体の下または上から30cm以内には障害物がないところに取り付けてください。



●ハンドセットを増設する場合がありますので、本体の左側5cm以内には障害物がないところに取り付けてください。左側に障害物がある場合は、操作性を考慮し10cm以上離して取り付けることをおすすめします。

ボックス取付の場合



ボックス取付ネジ部のみ図のように壁を切り欠いてください。

ご注意

壁面穴あけ加工はボックス内寸法にて行いユニット取付ネジ部を切り欠き加工してください。

- AC100V配線と小勢力配線が接触しないように施工してください。
- ベースを取付用なべ小ネジ(M4×25)4本でボックスに固定してください。
  そのほかはボックスなし取付と同じです。

ヒューズの交換方法(ベースの中にあります。)

⚠警告

ヒューズ交換は電源(専用ブレーカーAC100V)、統合盤または警報監視盤、住棟受信機(SHVT27612W・SHVT27652Wと接続した場合のみ)、非常電源(SHVT27312W・SHVT27352W・SHVT27612W・SHVT27652Wと接続した場合のみ)および通話・映像制御盤の電源を切った状態で行ってください。

電源を切らないと、感電の原因となります。

必ず守る

ヒューズ交換 カバーをはずして行ってください。

交換ヒューズ	
定　格	AC250V 2A
サイズ	20mm φ5
溶断特性	耐ラッシュ型

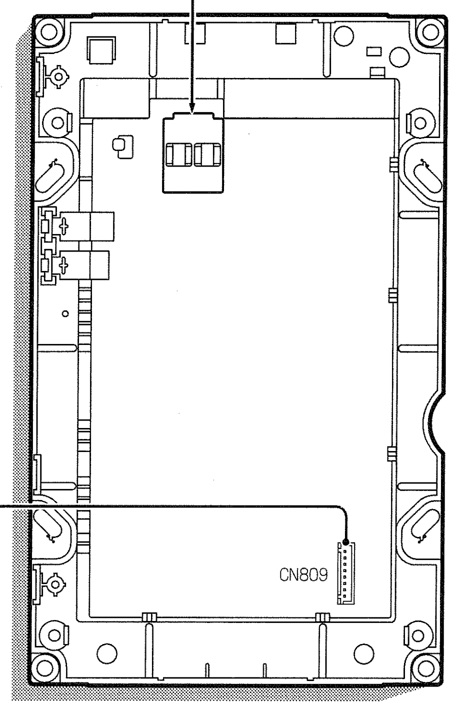
コネクタへの接続

注 コネクタは斜め方向から抜き差ししないでください。
斜め方向から抜き差しすると、故障の原因となります。

親機接続用コネクタ(CN809)

親機と接続する場合に使用します。

- 親機接続用コネクタ付リード線(8P)は付属しています。
- 付属の親機接続用コネクタ付リード線(8P)の「橙・黄・緑・青・紫・灰」のリード線で接続してください。
  (詳細は24ページを参照してください。)

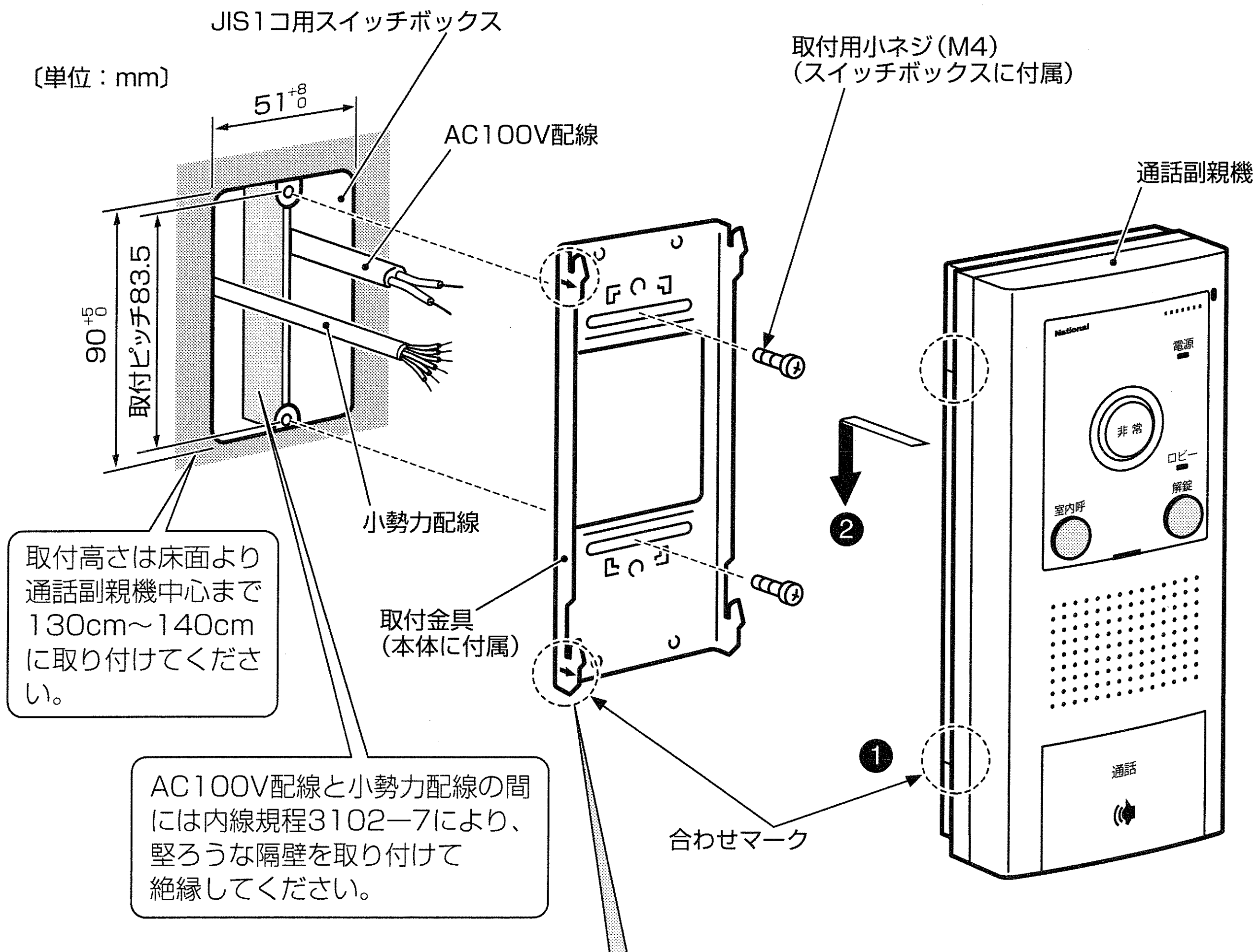


<モニター付副親機のベース>

●取付穴の中心より本体の中心は15mm下にさがります。
●商品を取りはずす際、上側にスライドさせる必要があるため、取付金具上部から50mm以内には障害物がない位置に取り付けてください。

通話副親機の場合

ボックスなし取付の場合



取付金具への本体の取付

❶ マーク位置を合わせてはめ込む
❷ 本体を押し下げて固定する

ボックス取付の場合

●AC100V配線と小勢力配線が接触しないように施工してください。
●そのほかの取付方法はボックス取付と同じです。
●木壁取付の場合、取付金具は付属の取付用なベタッピンネジ2本で取り付けてください。

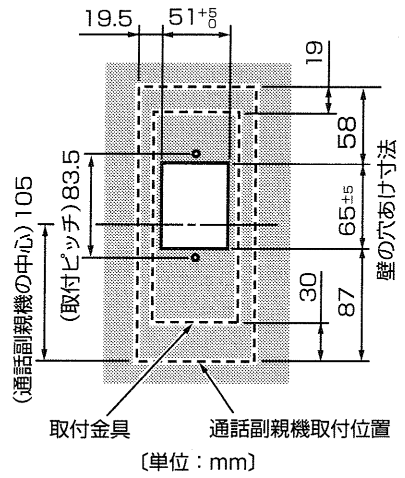
注 ●石膏ボードへの取り付けは脱落を防止するため必ずはさみ金具を使用してください。
●露出配線はできません。

対象壁	はさみ金具品番
12mm厚以下の石膏ボード	WN3992K020 (20コ入)
9～30mm厚の石膏ボード	WN3996020 (20コ入)

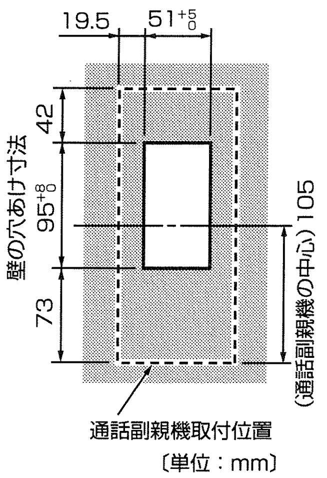
※はさみ金具は別売です。

壁の穴あけ寸法

■取付用なベタッピンネジを使用する場合



■はさみ金具を使用する場合



■はさみ金具を使用した場合の取付金具の取付方法

（はさみ金具に石膏ボード用取付押え金具(9～30mm壁用)(20コ入)(WN3996020)(別売)をご使用の場合は下記の手順にしたがって施工してください。）

❶裏側に入れる
●はさみ金具を壁面の裏側に入れる。

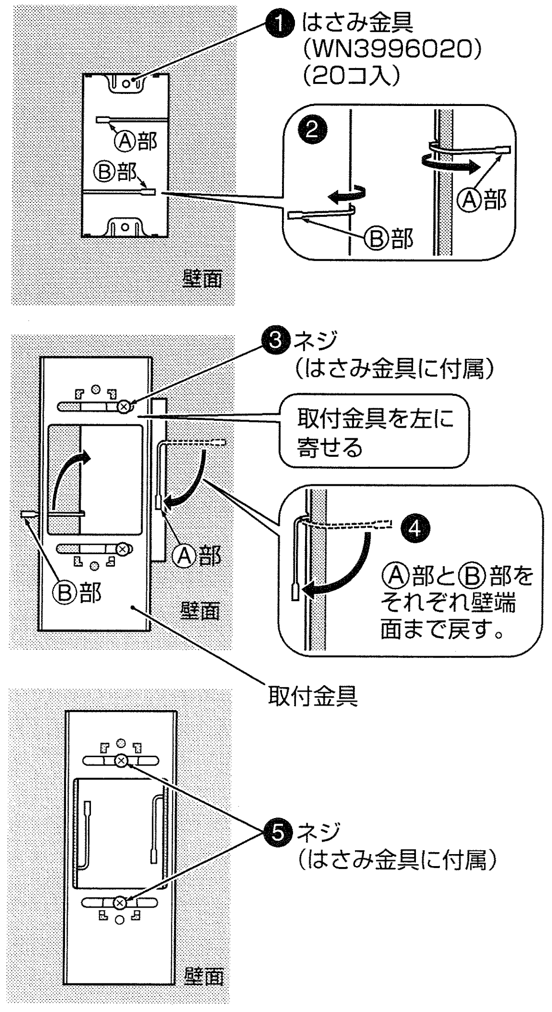
❷仮固定する
●Ⓐ部とⒷ部を手で折り曲げ、壁面に仮固定する。

❸仮止めする
●取付金具とはさみ金具をネジ(はさみ金具に付属)で仮止めする。

❹戻す
●取付金具を左右に寄せⒶ部とⒷ部を壁端面まで戻す。

❺ネジで固定する
●取付金具とはさみ金具をネジ(はさみ金具に付属)で固定する。

注 Ⓐ部とⒷ部を取付金具と壁面にはさみ込まないようにしてください。



配線方法

●接続する商品は別途お買い求めください。
●接続機器については、その商品に付属の説明書をよくお読みください。
●○端子は速結端子、⊗端子はネジ端子を示します。

※配線図は2通話・2映像システムの場合を示します。
注 1通話・1映像システムの場合は、MS1B端子、MS2B端子は使用しません。

マンションHA統合盤との接続

SHVT27312W・SHVT27352W・SHVT27612W・SHVT27652Wの場合

注 HP線にカッド線は使用できません。

●警報監視盤・住棟受信機(当社受信機)と接続する場合➡16ページ
●住戸内の接続について➡18~25ページ

AC100V配線

VVFφ1.6 またはφ2.0　12mm

注 より線は使用しないでください。ハンダ仕上げして使用すると発熱の原因となります。

⚠警告

AC100V用電源線は確実に差し込む。
差し込みが不十分な場合、発熱するおそれがあり、火災や焼損の原因となります。　必ず守る

■電線のはずし方

⊖ドライバーで電線はずし穴を押しながら、電線を引き抜く。

注 非常電源は親機(住宅情報盤)内での送り配線はできません。

耐火電線(FP)をご使用の場合

●AC100V配線(VVF)と電線の外観が似ているため、間違ってAC100V配線を差し込まないように注意してください。(機器が故障します。)

アース端子はD種(第三種)接地工事をしてください。(接地抵抗100Ω以下)

小勢力配線(速結端子)

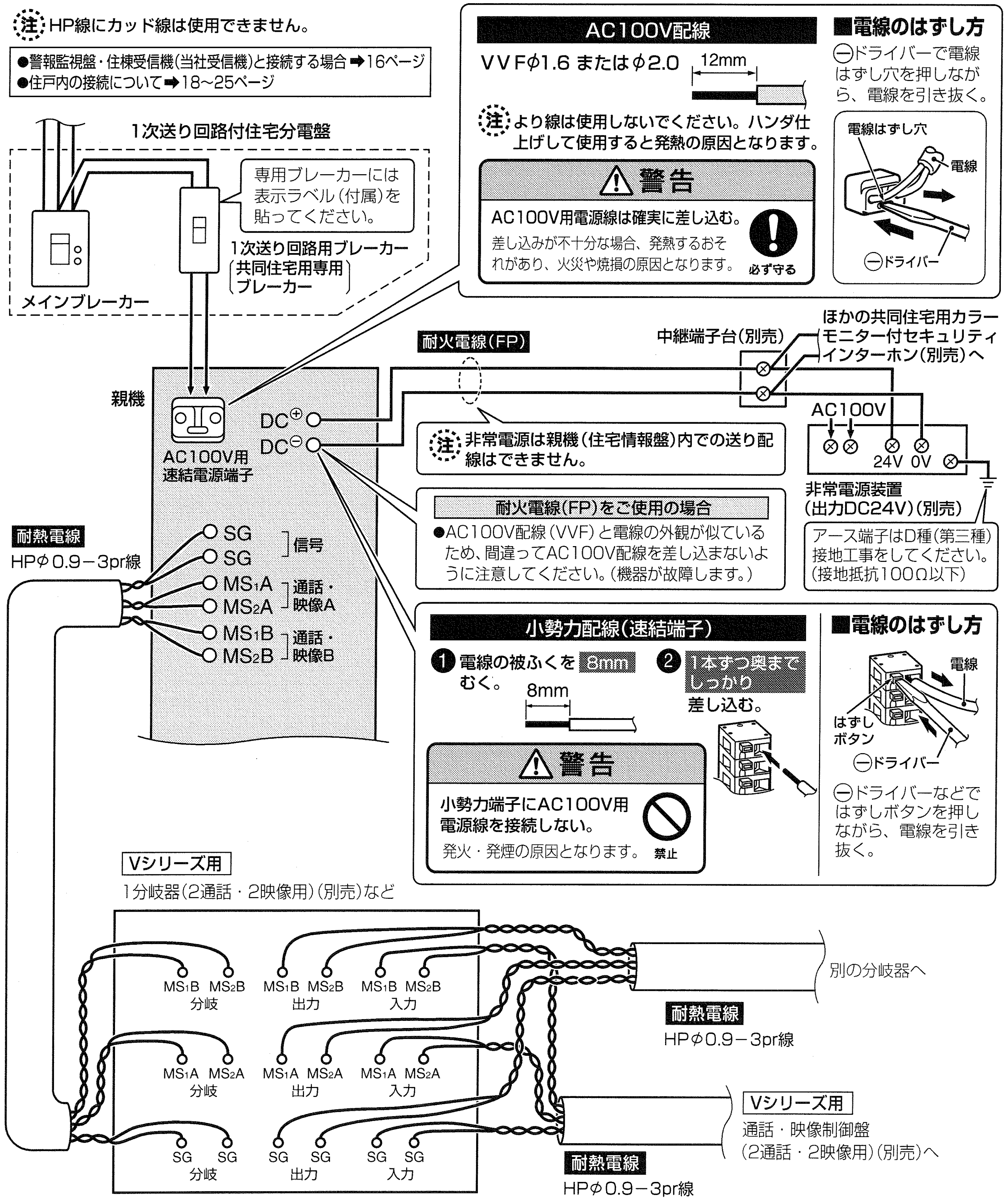
❶ 電線の被ふくを 8mm むく。　8mm
❷ 1本ずつ奥までしっかり 差し込む。

⚠警告

小勢力端子にAC100V用電源線を接続しない。
発火・発煙の原因となります。　禁止

■電線のはずし方

⊖ドライバーなどではずしボタンを押しながら、電線を引き抜く。



SHVB27612W・SHVB27652Wの場合

注 HP線にカッド線は使用できません。

●警報監視盤と接続する場合➡17ページ
●住戸内の接続について
➡19~21ページ、24~25ページ

専用ブレーカーには表示ラベル(付属)を貼ってください。

専用ブレーカーよりAC100V電源線を入線

AC100V配線

耐熱電線 φ1.6またはφ2.0　12mm

注 より線は使用しないでください。ハンダ仕上げして使用すると発熱の原因となります。

■電線のはずし方

⊖ドライバーで電線はずし穴を押しながら、電線を引き抜く。

⚠警告

AC100V用電源線は確実に差し込む。
差し込みが不十分な場合、発熱するおそれがあり、火災や焼損の原因となります。　必ず守る

小勢力配線(速結端子)

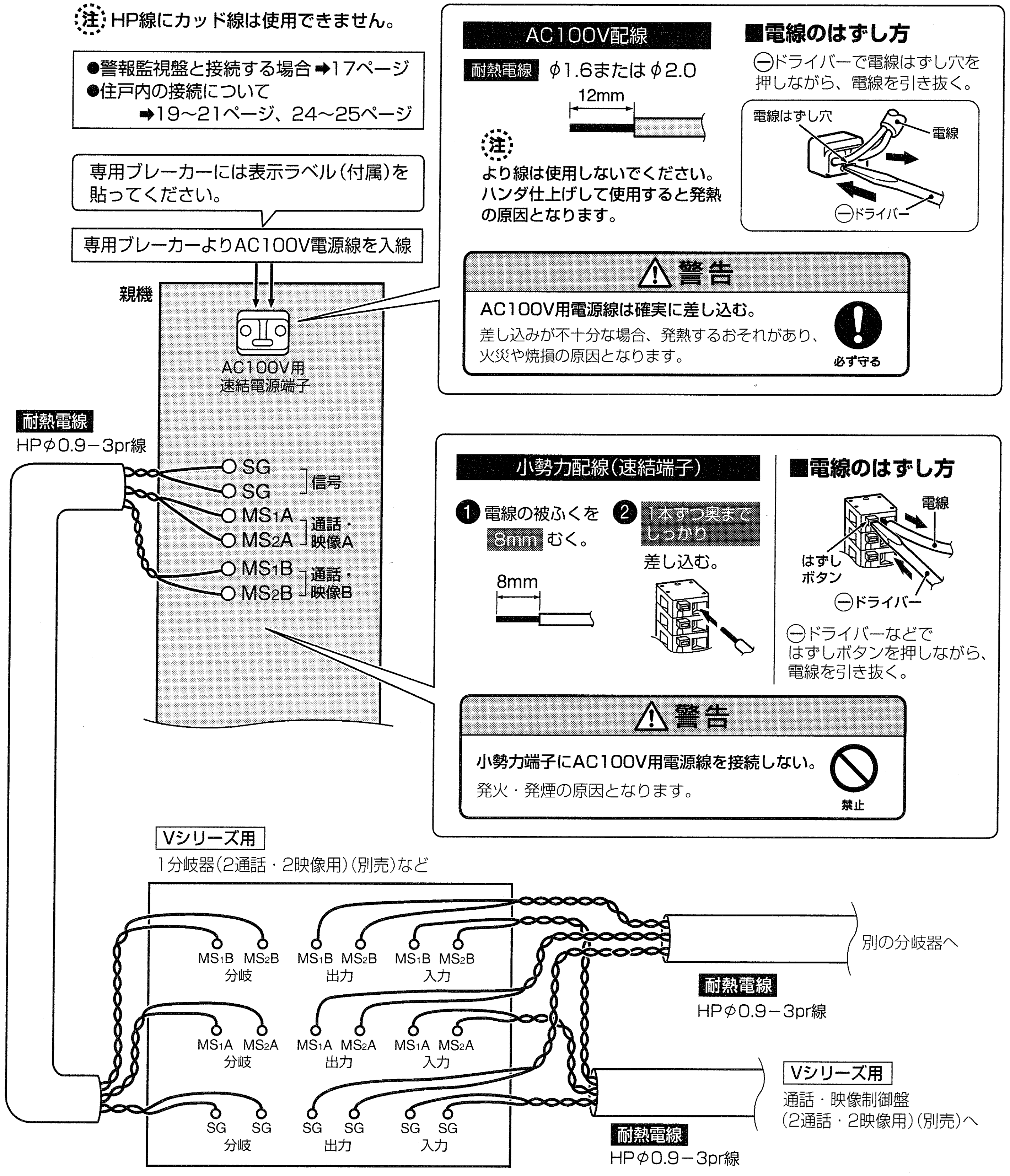
❶ 電線の被ふくを 8mm むく。　8mm
❷ 1本ずつ奥までしっかり 差し込む。

■電線のはずし方

⊖ドライバーなどではずしボタンを押しながら、電線を引き抜く。

⚠警告

小勢力端子にAC100V用電源線を接続しない。
発火・発煙の原因となります。　禁止



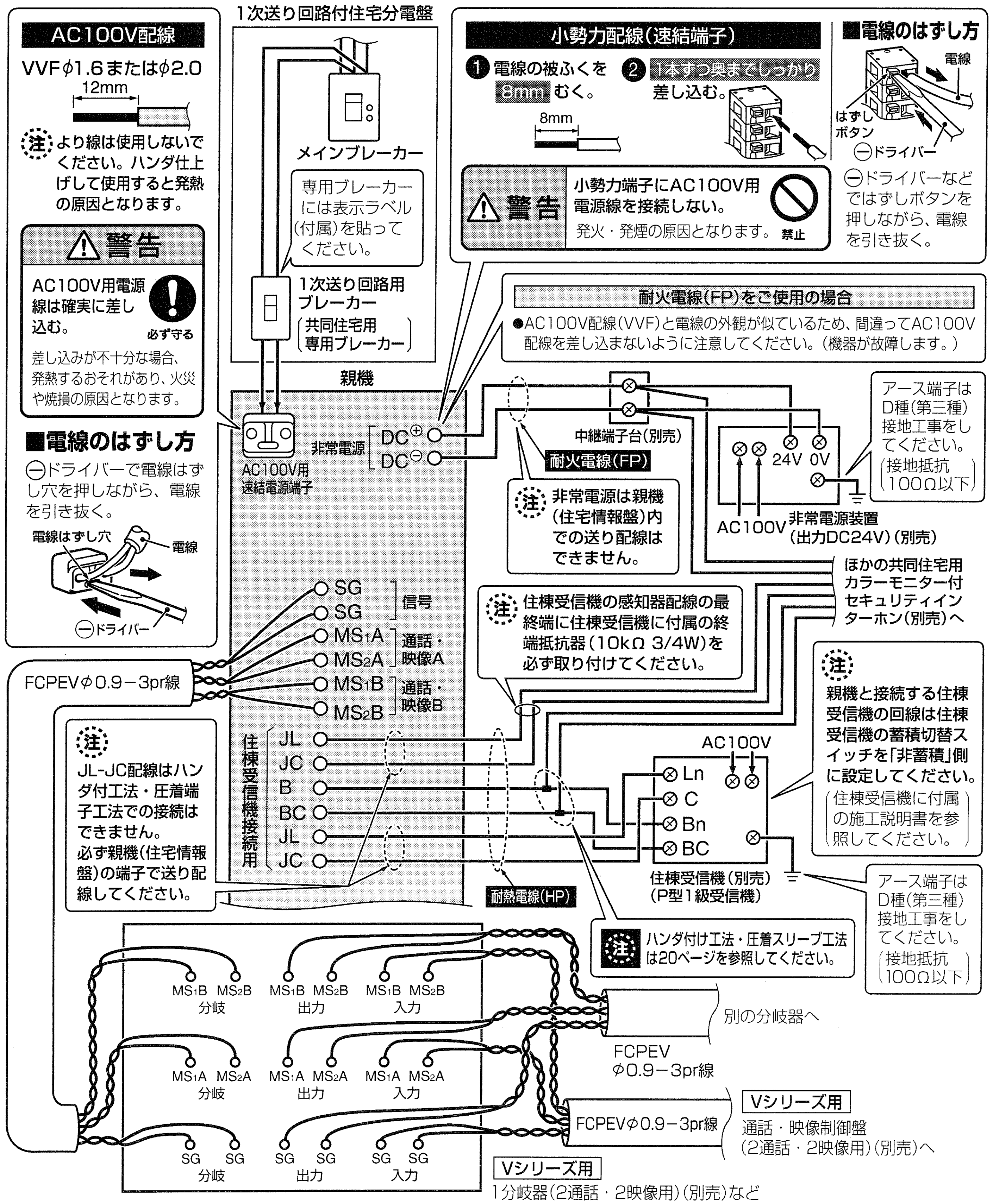
●接続する商品は別途お買い求めください。
●接続機器については、その商品に付属の説明書をよくお読みください。
●○端子は速結端子、⊗端子はネジ端子を示します。

※配線図は2通話・2映像システムの場合を示します。
注 1通話・1映像システムの場合は、MS1B端子、MS2B端子は使用しません。

警報監視盤・住棟受信機(当社受信機)との接続

SHVT27612W・SHVT27652Wの場合

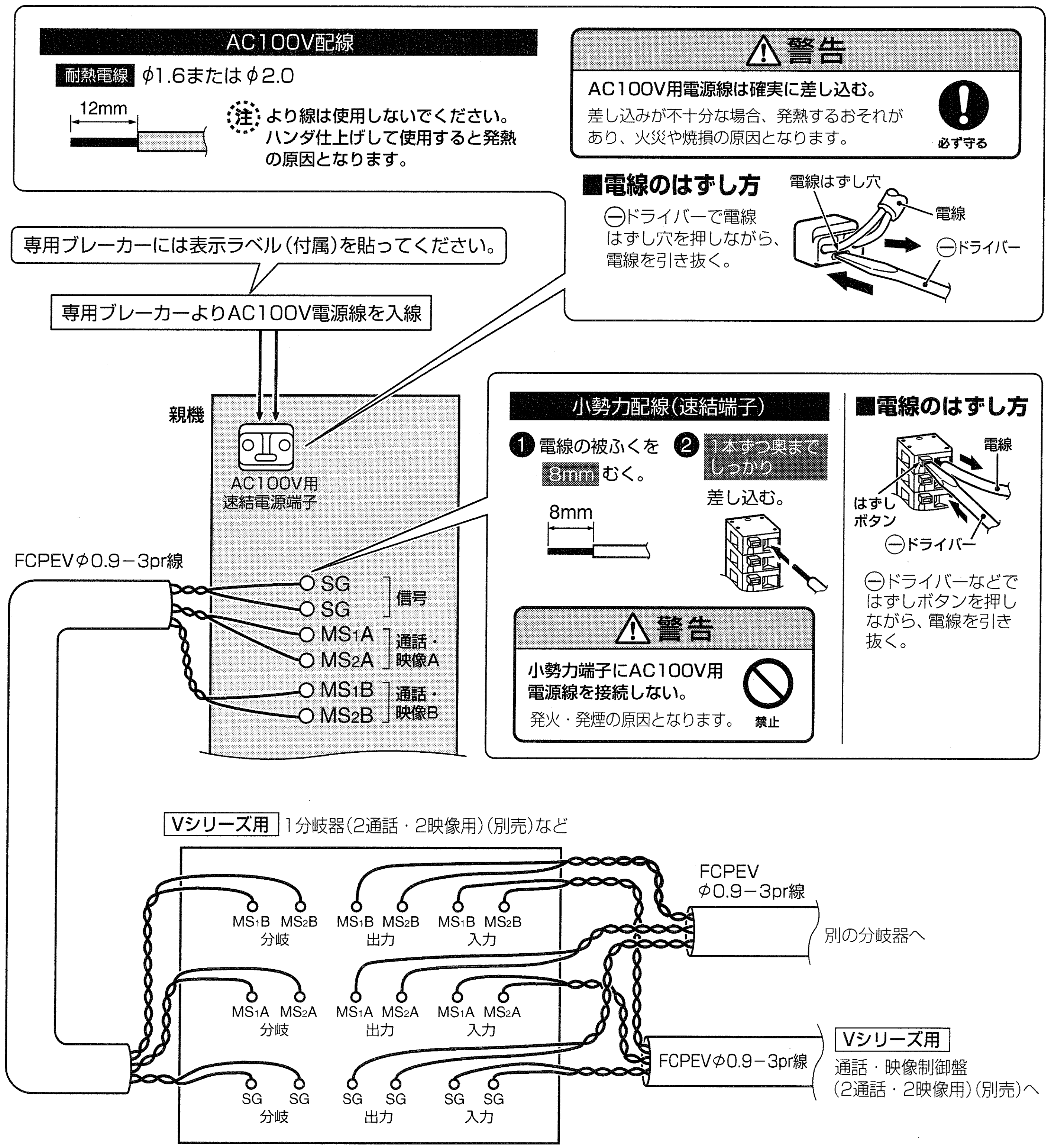
●住戸内の接続について➡19～21ページ、23～25ページ



警報監視盤との接続

SHVB27612W・SHVB27652Wの場合

●住戸内の接続について➡19～21ページ、24～25ページ

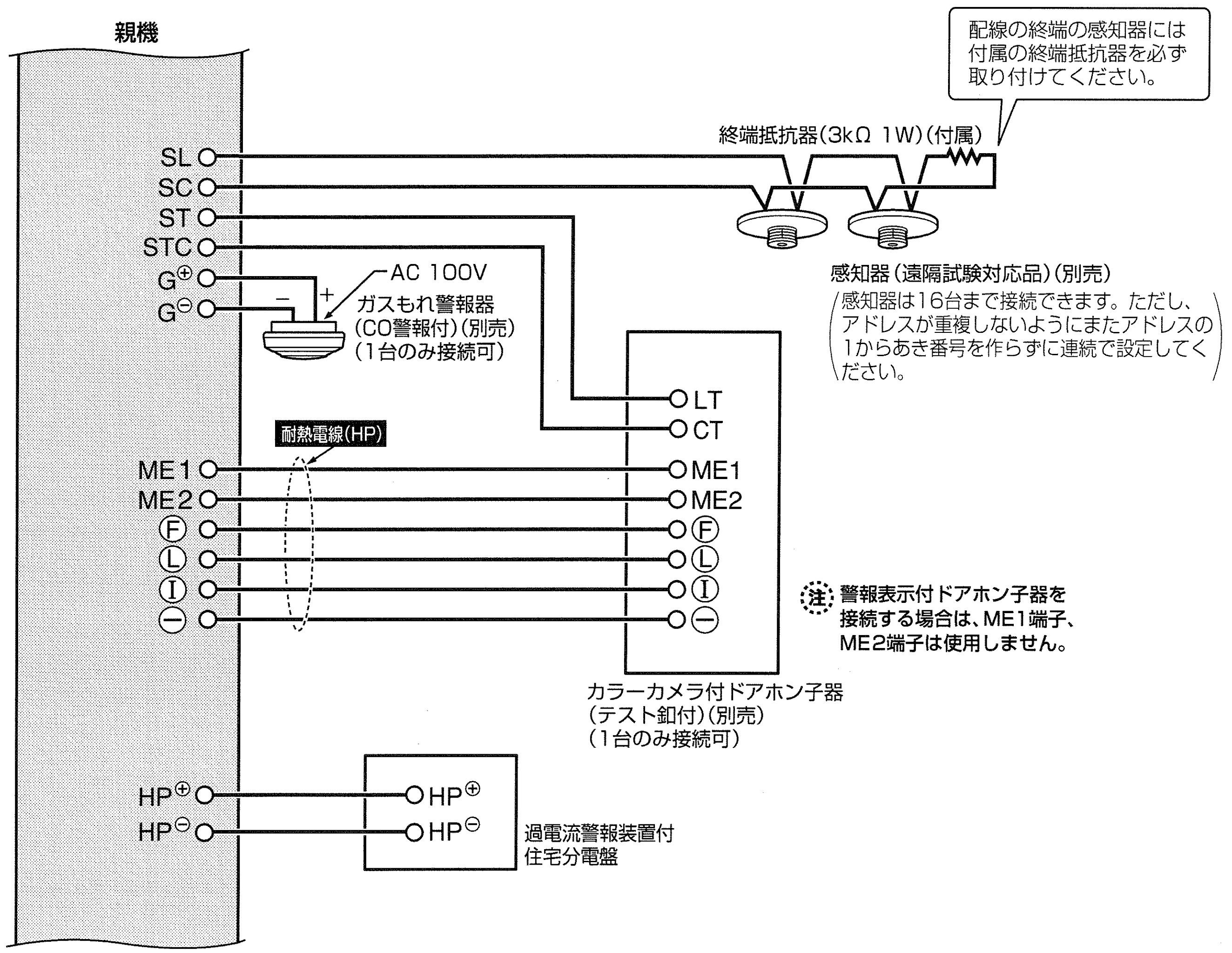


●接続する商品は別途お買い求めください。
●接続機器については、その商品に付属の説明書をよくお読みください。
●○端子は速結端子、⊗端子はネジ端子を示します。

住戸内(カラーカメラ付ドアホン子器・感知器など)の接続

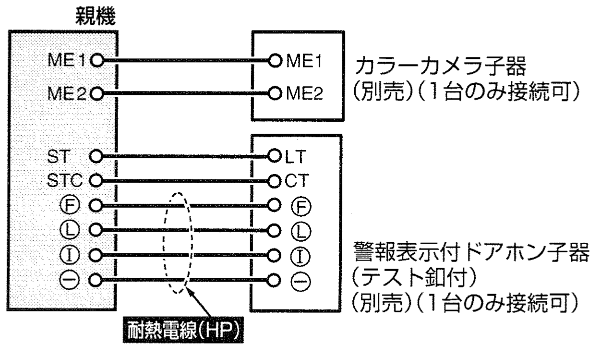
SHVT27312W・SHVT27352Wの場合

注 機種により各機能がない場合があります。



カラーカメラ子器を使用する場合の配線方法

注 設置にあたっては最低被写体照度およびカラーカメラ子器からの被写体までの距離を十分ご検討ください。
- ●最低被写体照度が30ルクス以上になるようにしてください。周囲が暗くなると映像が見えにくくなります。
- ●カラーカメラ子器から被写体までの距離は5m以内でご使用ください。

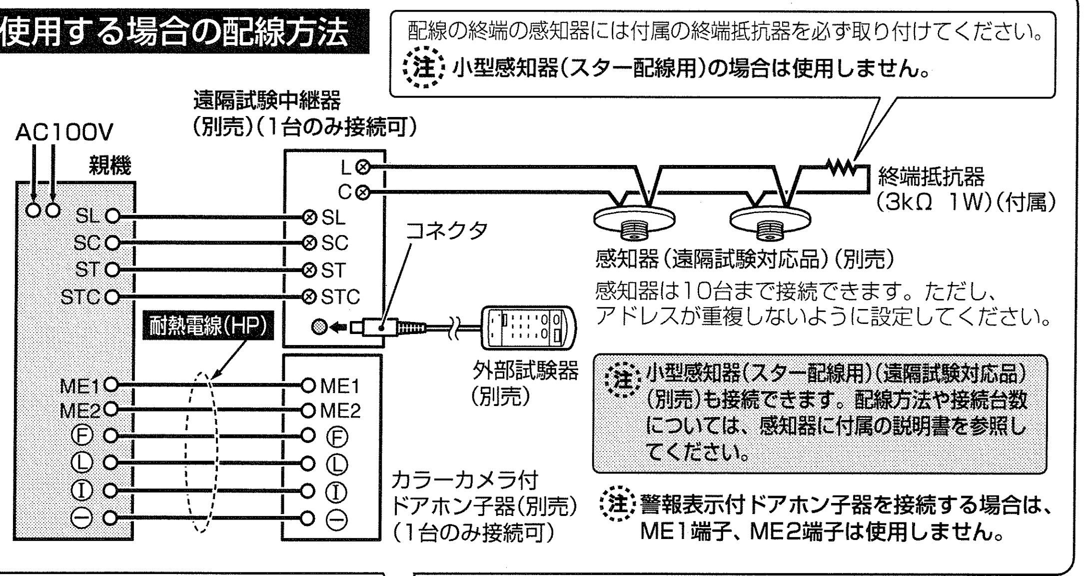


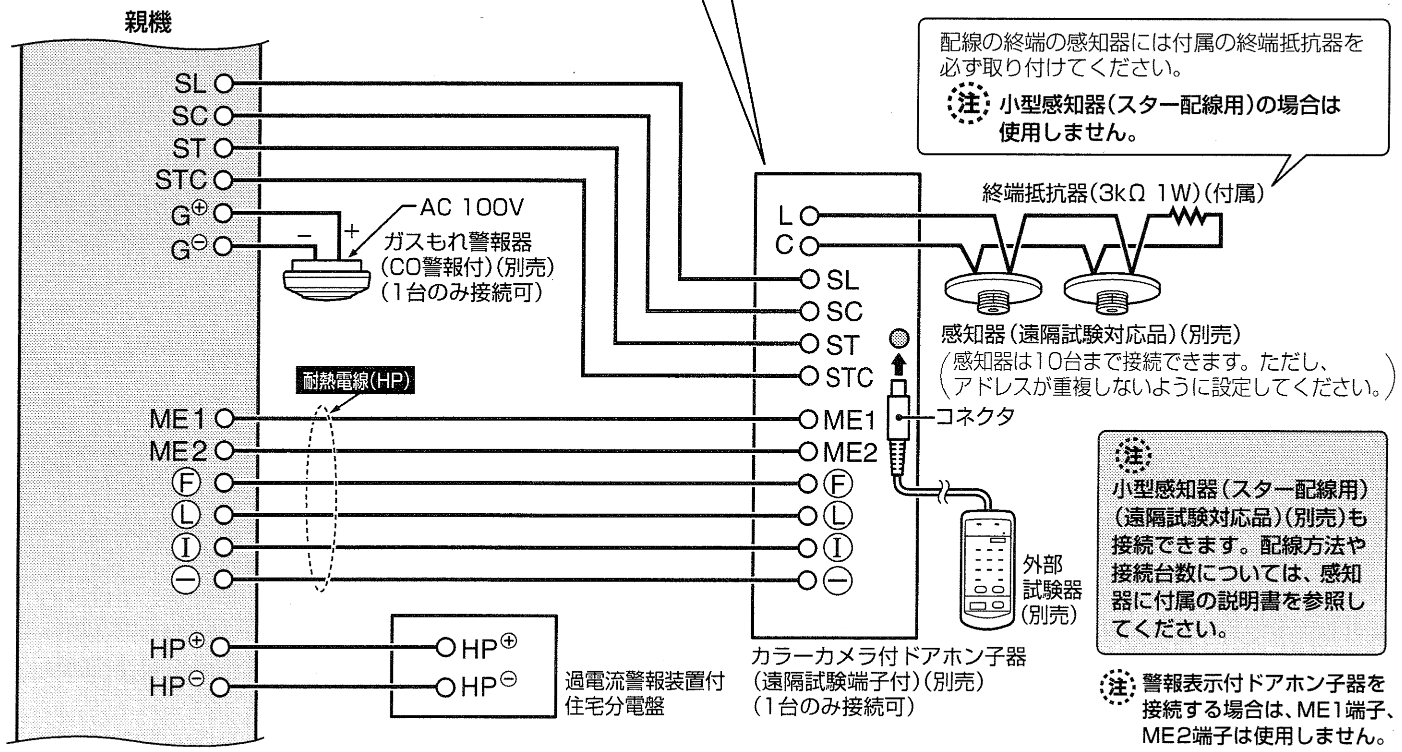
SHVT27612W・SHVT27652W・SHVB27612W・SHVB27652Wの場合

注 機種により各機能がない場合があります。

遠隔試験中継器を使用する場合の配線方法

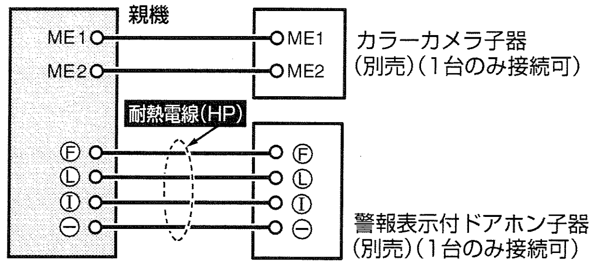
注 遠隔試験中継器を使用して結線することもできます。その場合必ず親機～カラーカメラ付ドアホン子器または警報表示付ドアホン子器間は耐熱電線(HP)を使用してください。



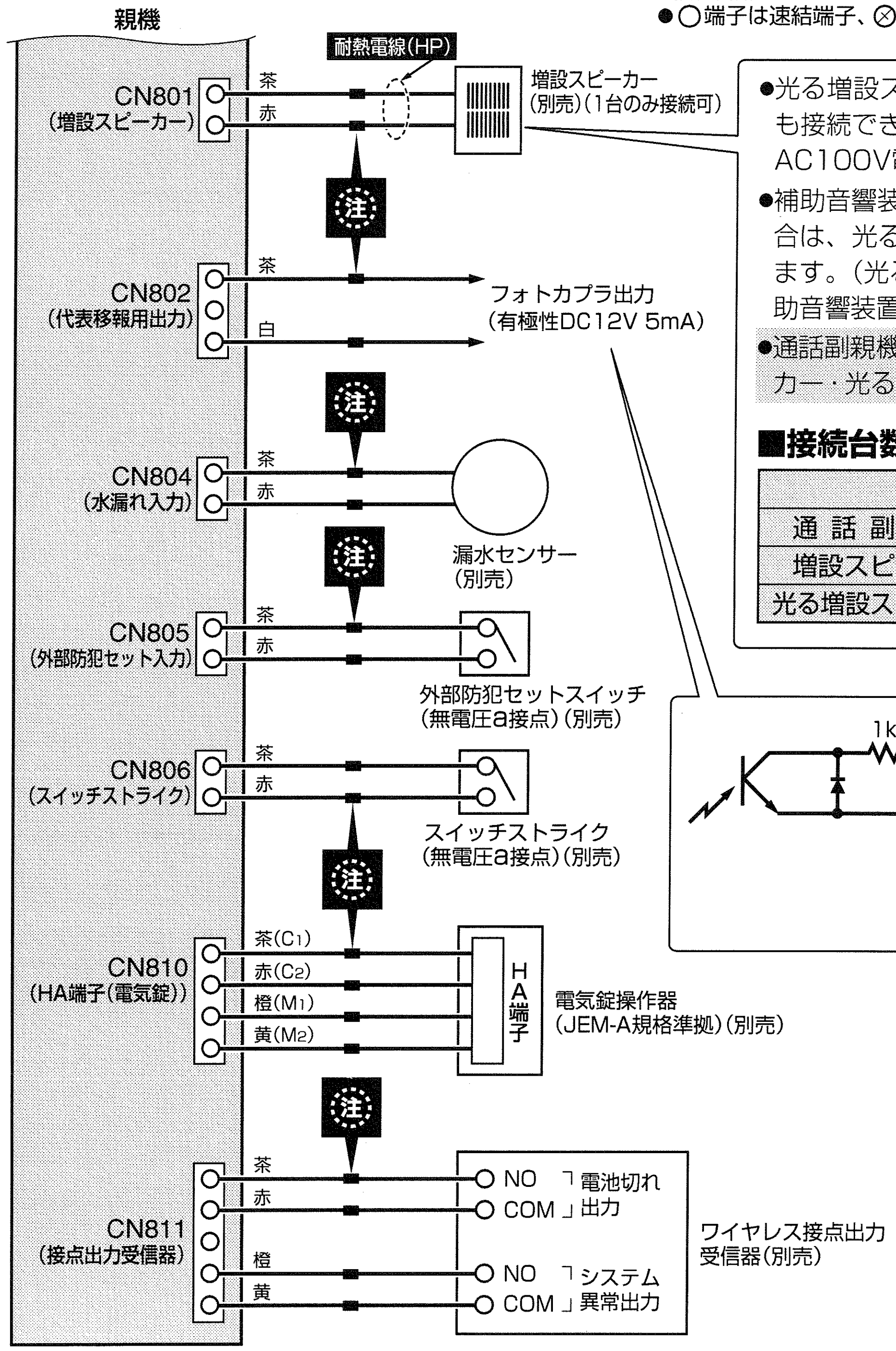


カラーカメラ子器を使用する場合の配線方法

注 設置にあたっては最低被写体照度およびカラーカメラ子器からの被写体までの距離を十分ご検討ください。
- ●最低被写体照度が30ルクス以上になるようにしてください。周囲が暗くなると映像が見えにくくなります。
- ●カラーカメラ子器から被写体までの距離は5m以内でご使用ください。



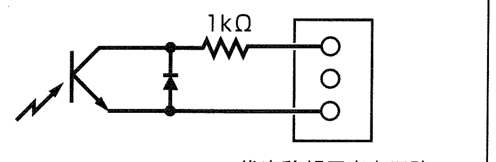
- ●接続する商品は別途お買い求めください。
- ●接続機器については、その商品に付属の説明書をよくお読みください。
- ●○端子は速結端子、⊗端子はネジ端子を示します。



- ●光る増設スピーカー2台と増設スピーカー1台も接続できます。(光る増設スピーカーは、別途AC100V電源が必要です。)
- ●補助音響装置として増設スピーカーが不要の場合は、光る増設スピーカーを3台まで接続できます。(光る増設スピーカーは消防法令上の補助音響装置として使用できません。)
- ●通話副親機を2台接続した場合は、増設スピーカー・光る増設スピーカーとも接続できません。

■接続台数について

	接続台数				
通話副親機	0		1		2
増設スピーカー	1	0	1	0	0
光る増設スピーカー	2	3	2	3	0

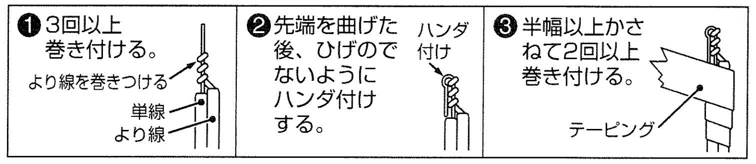


代表移報用出力回路
フォトカプラ出力
(有極性DC12V5mA)

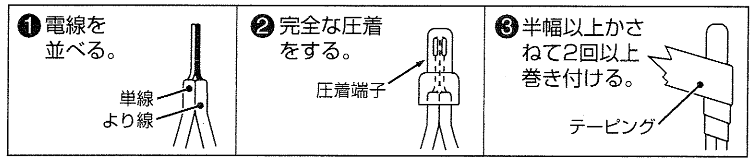
注

- ●コネクタ付リード線の長さが短い場合は、中間接続にてリード線を延長してください。
- ●コネクタには極性がありますので正しく接続してください。極性を間違えると動作しません。
- ●電線を接続する場合はハンダ付け工法か圧着スリーブ工法で処理を行い、その後テーピングで絶縁してください。
- ●耐熱の配線部分に関しては耐熱処理をしてください。

ハンダ付け工法



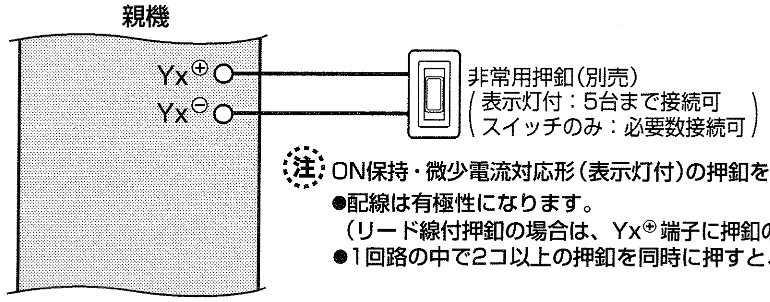
圧着スリーブ工法



■汎用入力回路(Yx⊕端子・Yx⊖端子)を使用する場合の配線方法

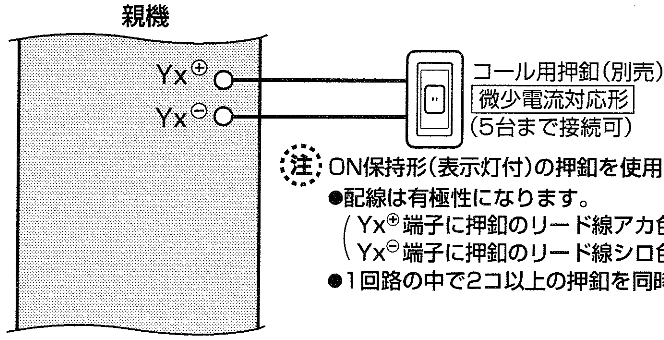
注
- ●汎用入力回路は、非常・コール・スプリンクラー・防犯の設定ができます。
詳しくは37ページを参照してください。
- ●「回路機能設定 回路1 回路2 回路3 回路4 回路5 」(➡37ページ)で設定した 回路1 とY1⊕端子・Y1⊖端子、回路2 とY2⊕端子・Y2⊖端子、回路3 とY3⊕端子・Y3⊖端子、回路4 とY4⊕端子・Y4⊖端子、回路5 とY5⊕端子・Y5⊖端子が対応しています。
- ●21〜23ページの配線図中のYx⊕、Yx⊖ のxには1〜5がはいります。
ただし、防犯機能は、Y3⊕端子、Y3⊖端子、Y4⊕端子、Y4⊖端子、Y5⊕端子、Y5⊖端子のみ接続可能です。

非常に設定した場合



注 ON保持・微少電流対応形(表示灯付)の押釦を使用する場合
- ●配線は有極性になります。
(リード線付押釦の場合は、Yx⊕端子に押釦のリード線アカ色、Yx⊖端子に押釦のリード線シロ色)
- ●1回路の中で2コ以上の押釦を同時に押すと、押釦の表示灯が暗くなります。

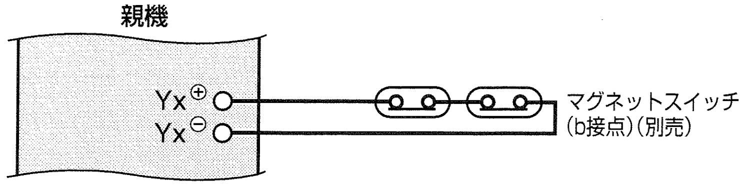
コールに設定した場合



注 ON保持形(表示灯付)の押釦を使用する場合
- ●配線は有極性になります。
(Yx⊕端子に押釦のリード線アカ色
Yx⊖端子に押釦のリード線シロ色)
- ●1回路の中で2コ以上の押釦を同時に押すと、押釦の表示灯が暗くなります。

防犯に設定した場合

注
- ● 回路3 回路4 回路5 のみ接続可能です。
- ●「戸締り表示」(➡54〜55ページ)を「有」に設定した場合、警戒操作キースイッチまたは警戒操作スイッチは接続できません。

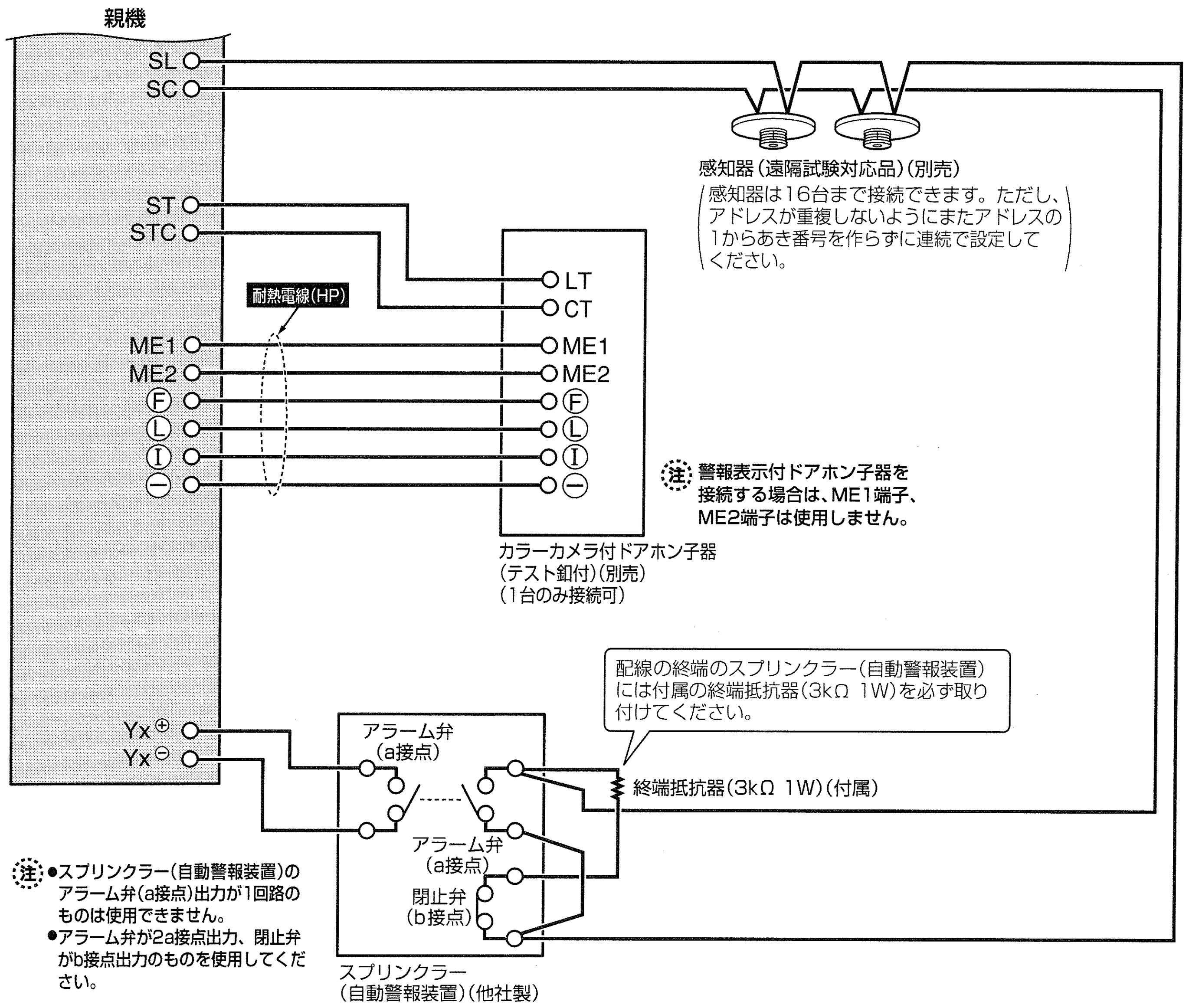


●接続する商品は別途お買い求めください。
●接続機器については、その商品に付属の説明書をよくお読みください。
●○端子は速結端子、⊗端子はネジ端子を示します。

スプリンクラーに設定した場合

注 SHVT27312W・SHVT27352W・SHVT27612W・SHVT27652Wのみ接続可能です。

SHVT27312W・SHVT27352Wの場合

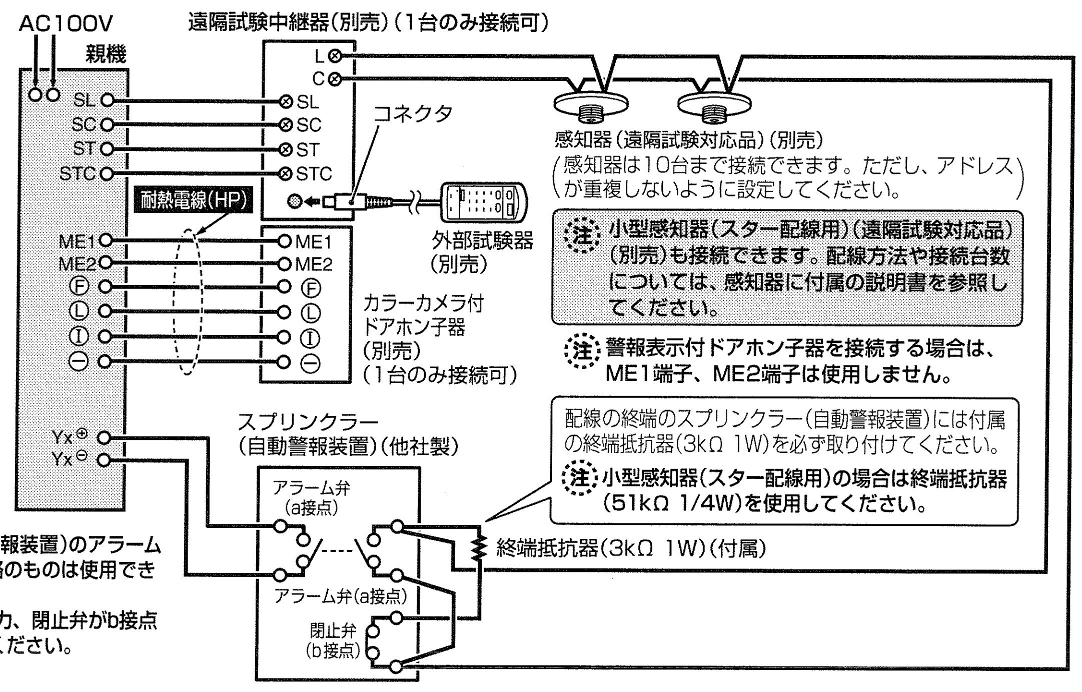


注
●スプリンクラー(自動警報装置)のアラーム弁(a接点)出力が1回路のものは使用できません。
●アラーム弁が2a接点出力、閉止弁がb接点出力のものを使用してください。

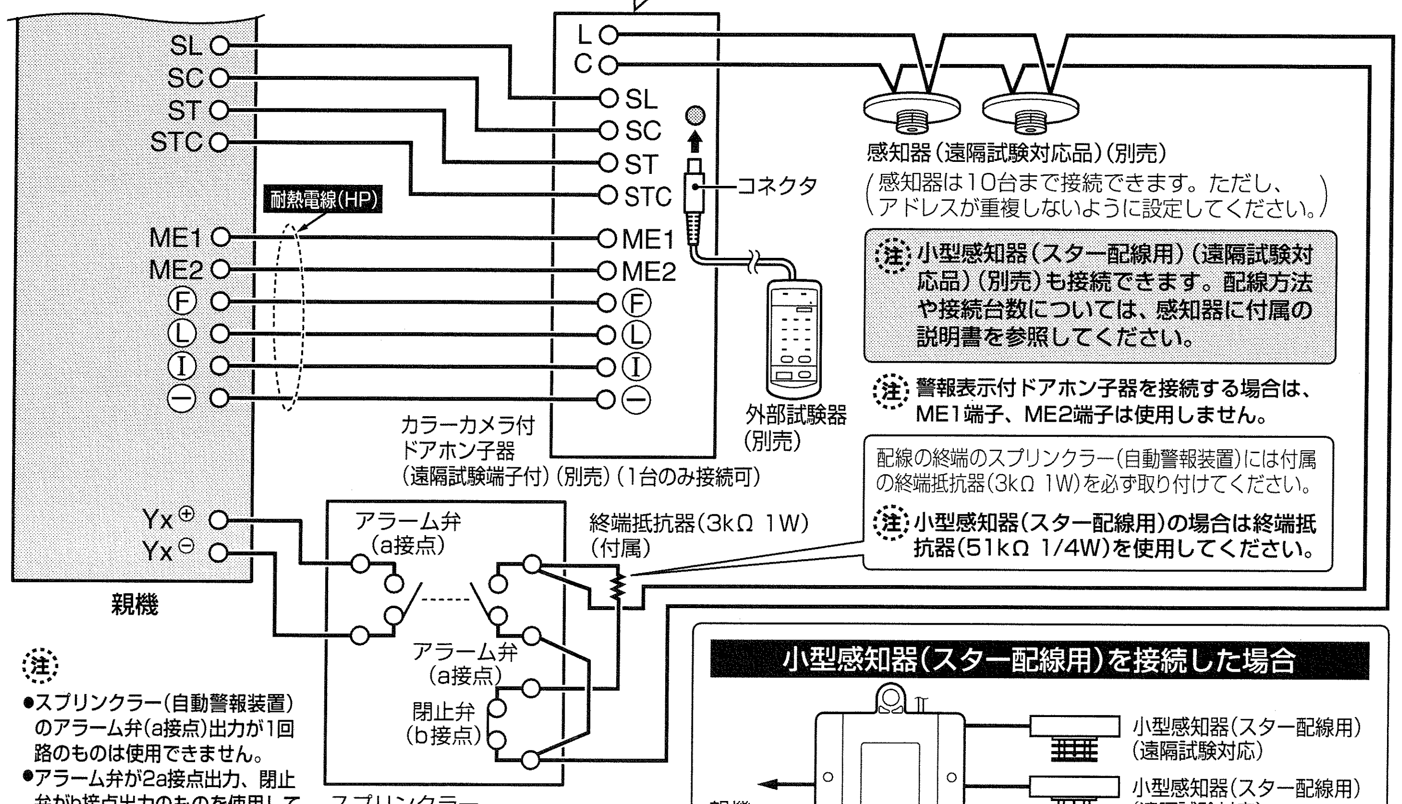
SHVT27612W・SHVT27652Wの場合

遠隔試験中継器を使用する場合の配線方法

注
遠隔試験中継器を使用して結線することもできます。その場合必ず親機～カラーカメラ付ドアホン子器または警報表示付ドアホン子器間は 耐熱電線(HP) を使用してください。

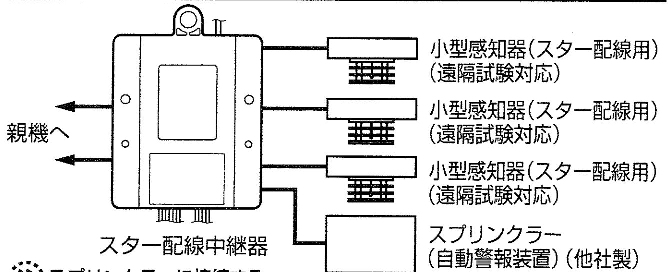


注
●スプリンクラー(自動警報装置)のアラーム弁(a接点)出力が1回路のものは使用できません。
●アラーム弁が2a接点出力、閉止弁がb接点出力のものを使用してください。



注
●スプリンクラー(自動警報装置)のアラーム弁(a接点)出力が1回路のものは使用できません。
●アラーム弁が2a接点出力、閉止弁がb接点出力のものを使用してください。

小型感知器(スター配線用)を接続した場合



注 スプリンクラーに接続する終端抵抗器は51KΩ 1/4Wを使用してください。

※スプリンクラーの接続方法は上図を参照してください。

住戸内（モニター付副親機・通話副親機）の接続

注 機種により各機能がない場合があります。

●○端子は速結端子を示します。

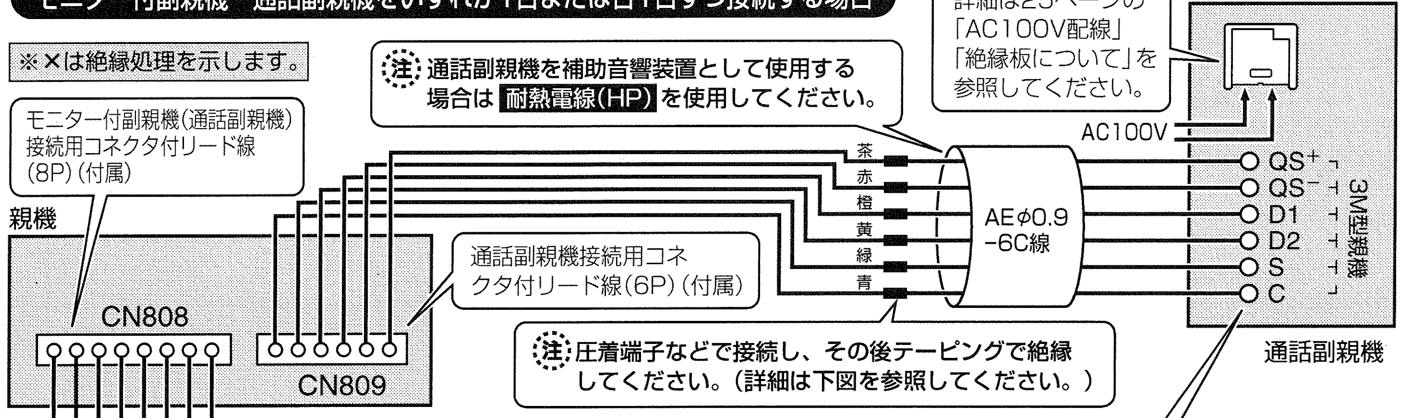
●モニター付副親機1台と通話副親機1台の合わせて2台、または通話副親機2台まで接続可能です。（モニター付副親機を2台接続する場合は、1台はUオーダー品となります。）

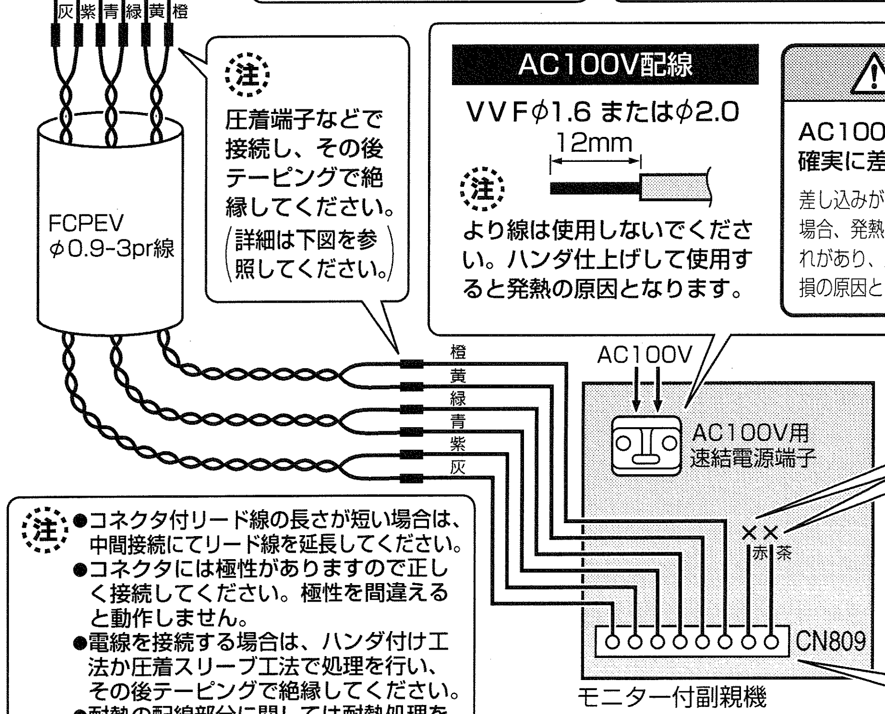
モニター付副親機・通話副親機をいずれか1台または各1台ずつ接続する場合

※×は絶縁処理を示します。

注 通話副親機を補助音響装置として使用する場合は **耐熱電線(HP)** を使用してください。

詳細は25ページの「AC100V配線」「絶縁板について」を参照してください。

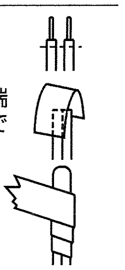




注 圧着端子などで接続し、その後テーピングで絶縁してください。（詳細は下図を参照してください。）

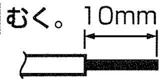
モニター付副親機に接続する場合は、赤色リード線・茶色リード線は使用しないので下図のように処理してください。

❶心線の部分を切断する。
❷リード線の先端をテーピングでおおう。
❸半幅以上かさねて2回以上巻き付ける。

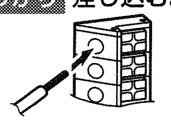


小勢力配線（速結端子）

❶電線の被ふくを **10mm** むく。



❷ **1本ずつ奥まで しっかり** 差し込む。

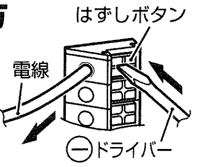


⚠警告

小勢力端子にAC100V用電源線を接続しない。
発火・発煙の原因となります。 禁止

■電線のはずし方

㊀ドライバーなどではずしボタンを押しながら、電線を引き抜く。



注 圧着端子などで接続し、その後テーピングで絶縁してください。（詳細は下図を参照してください。）

AC100V配線

VVFφ1.6 またはφ2.0

12mm

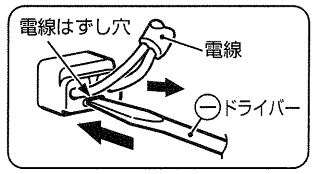
注 より線は使用しないでください。ハンダ仕上げして使用すると発熱の原因となります。

⚠警告

AC100V用電源線は確実に差し込む。
差し込みが不十分な場合、発熱するおそれがあり、火災や焼損の原因となります。 必ず守る

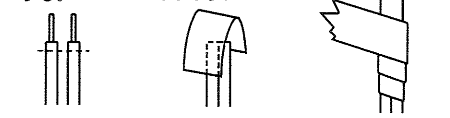
■電線のはずし方

㊀ドライバーで電線はずし穴を押しながら、電線を引き抜く。



親機に接続する場合は、赤色リード線・茶色リード線は使用しないので下図のように処理してください。

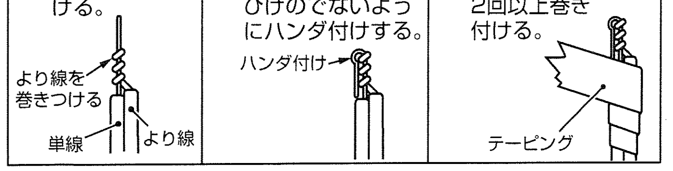
❶心線の部分を切断する。
❷リード線の先端をテーピングでおおう。
❸半幅以上かさねて2回以上巻き付ける。



注
●コネクタ付リード線の長さが短い場合は、中間接続にてリード線を延長してください。
●コネクタには極性がありますので正しく接続してください。極性を間違えると動作しません。
●電線を接続する場合は、ハンダ付け工法か圧着スリーブ工法で処理を行い、その後テーピングで絶縁してください。
●耐熱の配線部分に関しては耐熱処理をしてください。

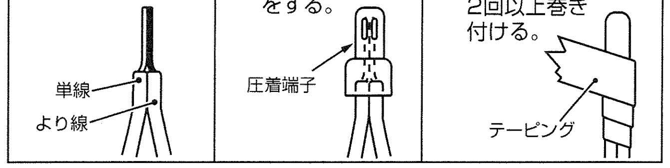
ハンダ付け工法

❶3回以上巻き付ける。
❷先端を曲げた後、ひげのでないようにハンダ付けする。
❸半幅以上かさねて2回以上巻き付ける。



圧着スリーブ工法

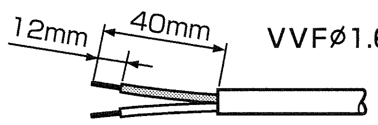
❶電線を並べる。
❷完全な圧着をする。
❸半幅以上かさねて2回以上巻き付ける。



通話副親機を2台接続する場合

AC100V配線

❶電線の被ふくを **12mm** むく。



❷ **1本ずつ奥までしっかり** 差し込む。

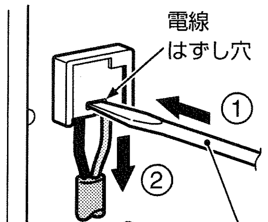
注 より線は使用しないでください。ハンダ仕上げして使用すると発熱の原因となります。

⚠警告

AC100V用電源線は確実に差し込む。
差し込みが不十分な場合、発熱するおそれがあり、火災や焼損の原因となります。 必ず守る

■電線のはずし方

㊀ドライバーで電線はずし穴を押さえながら、電線を引き抜く。

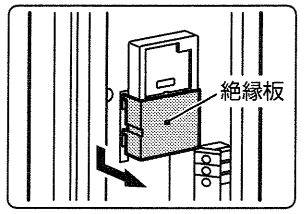


絶縁板について

●ボックス取付の場合は、絶縁板は不要です。
●ボックスなし取付の場合で壁面内に充填するグラスウールなどが接触するときは、内線規程により、絶縁板を取り付けてください。

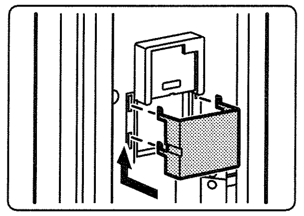
■取りはずし方

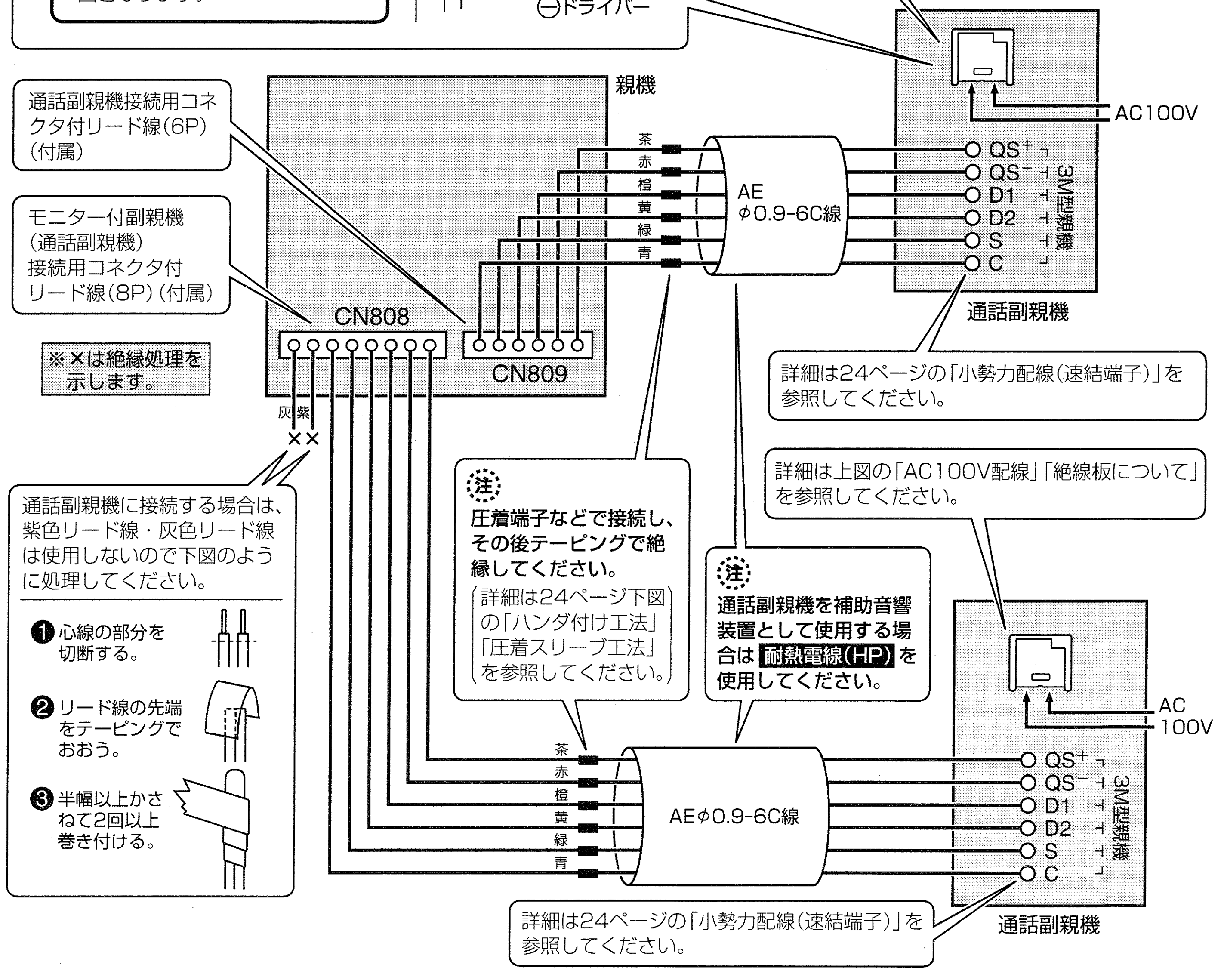
●絶縁板を下にさげてはずす。



■取り付け方

●ツメをミゾ（4カ所）に差し込み上へあげる。





※×は絶縁処理を示します。

詳細は24ページの「小勢力配線（速結端子）」を参照してください。

詳細は上図の「AC100V配線」「絶縁板について」を参照してください。

通話副親機に接続する場合は、紫色リード線・灰色リード線は使用しないので下図のように処理してください。

❶心線の部分を切断する。
❷リード線の先端をテーピングでおおう。
❸半幅以上かさねて2回以上巻き付ける。

注 圧着端子などで接続し、その後テーピングで絶縁してください。
詳細は24ページ下図の「ハンダ付け工法」「圧着スリーブ工法」を参照してください。

注 通話副親機を補助音響装置として使用する場合は **耐熱電線(HP)** を使用してください。

詳細は24ページの「小勢力配線（速結端子）」を参照してください。

配線可能距離

注 ●親機～統合盤または警報監視盤、分岐器～通話・映像制御盤、通話・映像制御盤～統合盤または警報監視盤の配線可能距離については、統合盤または警報監視盤に付属の説明書を参照してください。
●親機～非常電源装置間の配線については27ページの「非常電源 配線系統図」を参照してください。(SHVT27312W・SHVT27352W・SHVT27612W・SHVT27652Wの場合のみ)

配線区間 ＼ 使用電線	AEφ0.9線	HPφ0.9線	FCPEV φ0.9−3pr線	HP φ0.9−3pr線
親機～増設スピーカー	―	50m	―	―
親機～モニター付副親機	―	―	50m	―
親機～通話副親機 ※1	50m	―	―	―
親機～カラーカメラ付ドアホン子器 (ME1、ME2、Ⓕ、Ⓛ、Ⓘ、⊖端子) または警報表示付ドアホン子器 (Ⓕ、Ⓛ、Ⓘ、⊖端子)	―	100m	―	―
親機～分岐器 統合盤と接続した場合	―	―	―	50m
親機～分岐器 警報監視盤と接続した場合	―	―	50m	―
親機～住棟受信機	―	300m	―	―
親機～カラーカメラ付ドアホン子器または警報表示付ドアホン子器 (Ⓛ、Ⓒ、ⓈⓁ、ⓈⒸ、ⓈⓉ、ⓈⓉⒸ端子) ～感知器	100m	―	―	―
親機～遠隔試験中継器 (Ⓛ、Ⓒ、ⓈⓁ、ⓈⒸ、ⓈⓉ、ⓈⓉⒸ端子) ～感知器	100m	―	―	―
親機～ガスもれ警報器、各押釦、マグネットスイッチ(全長)、外部防犯セットスイッチ、漏水センサー、スイッチストライク	100m	―	―	―
親機～当社電気錠操作器 ※2	50m	―	―	―
親機～過電流警報装置付住宅分電盤	10m	―	―	―
親機～ワイヤレス接点出力受信器	50m	―	―	―

●※1：通話副親機を補助音響装置として接続する場合は、HP線を使用してください。
●※2：他社製のJEM-A規格準処の電気錠操作器を接続する場合の配線長は 2m になります。
(モニター信号はスタティック信号のみに対応しています。)

非常電源 配線系統図

●非常電源線は電圧降下があるため、下記のように施工してください。
●非常電源装置は、蓄電池の容量により、警戒・警報できる容量を下記のとおり保持しています。

非常電源装置の蓄電池容量	警戒・警報できる容量
6Ah	63住戸分(63住戸1時間警戒・5住戸10分警報)
8Ah	88住戸分(88住戸1時間警戒・5住戸10分警報)

ただし、MAX30住戸／1系統以内の配線としてください。

※共同住宅用スプリンクラー設備の音声警報装置(1時間警戒・5住戸10分警報・5住戸10分制御弁表示)として使用する場合は、6Ahタイプで62住戸分、8Ahタイプで88住戸分となります。

●非常電源装置の配線は 耐火電線(FP) を使用してください。火災の影響を受けない場所は 耐熱電線(HP) を使用することも可能です。

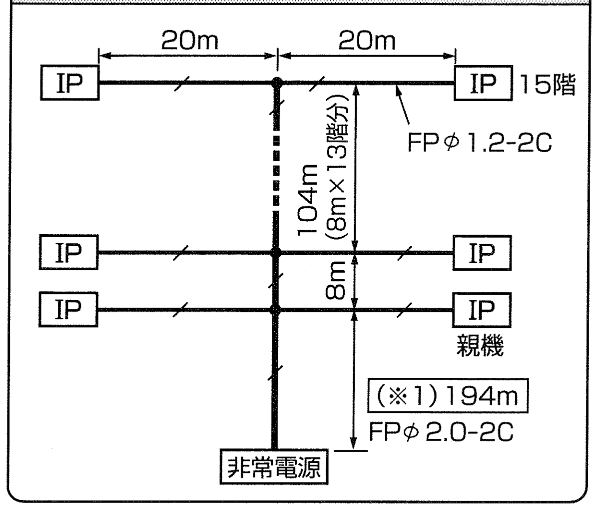
■配線長

幹線の配線長 ＼ 幹線の使用耐火電線		φ2.0	φ1.6	φ1.2
縦幹線送り	(※1)30住戸/1系統	194m	89m	23m
横渡り	(※2)30住戸/1系統	192m	87m	22m

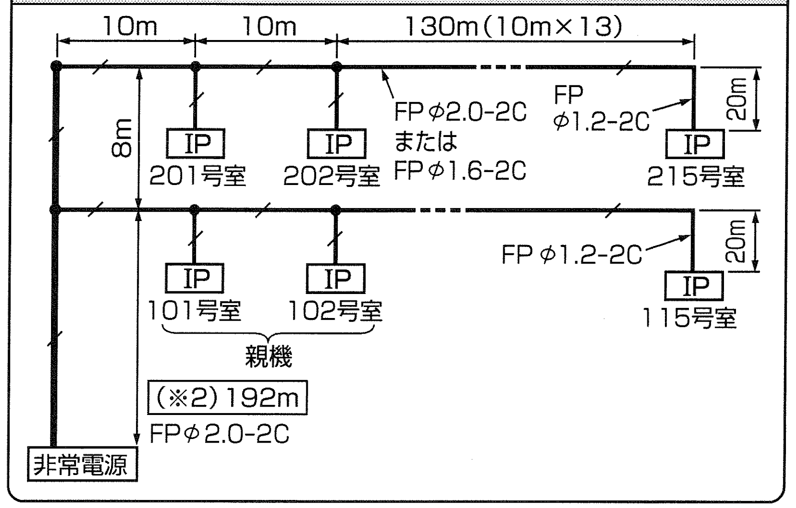
■配線系統図例

注 ●IPは親機を示します。
●住戸への引き込み線は親機内へ収納しやすくするためにφ1.2線を使用してください。

縦幹線送りの場合−30住戸



横渡りの場合−30住戸



適合ガスもれ警報器

品 名	信号の種類
ガス当番都市ガス(天然ガス)用(CO警報付)(音声警報付)	有電圧出力型 平常時：DC6V ガスもれ警報時：DC12V 不完全燃焼警報時：DC18V 機器または配線異常時：0V

注 左記以外のガスもれ警報器(不完全燃焼警報機能(CO(一酸化炭素)警報機能)なし)を接続した場合、親機は下記のような動作をします。

	警報音		
	ガスもれ警報時(電圧出力11V～15Vの場合)	ガスもれ警報時(電圧出力16V～27Vの場合)	機器または配線異常時
ガス当番CO警報機能なし	ピッピッピッピッ 音声警報付のみ ピッピッピッピッ、ガスがもれていませんか。	ピッピッピッピッ 音声警報付のみ ピッピッピッピッ、ガスがもれていませんか。	―
親機	ピッピッピッピッピッ、ガスもれです。 ガス灯およびガス表示も黄色点滅します。	ピッポッ・ピッポッ、空気が汚れて危険です。窓を開けて換気してください。 (換気表示も赤色点滅します。)	ピー

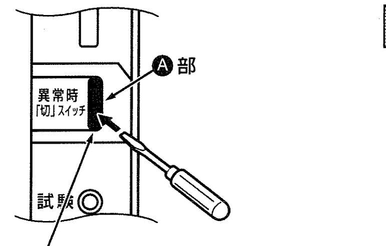
機能設定

●機能設定は「設定スイッチによる設定」と「画面操作による設定」があります。

親機の場合　設定スイッチによる設定

注 下記のことを守ってください。守らないと、正しくデータ登録ができないため、正常な動作をしません。

●設定スイッチによる機能設定時は電源(専用ブレーカーAC100V)、副親機、統合盤または警報監視盤、住棟受信機(SHVT27612W・SHVT27652Wの場合のみ)、非常電源(SHVT27312W・SHVT27352W・SHVT27612W・SHVT27652Wの場合のみ)および通話・映像制御盤の電源を切った状態で行ってください。
●親機の電源を入れてから統合盤または警報監視盤、住棟受信機(SHVT27612W・SHVT27652Wの場合のみ)、非常電源(SHVT27312W・SHVT27352W・SHVT27612W・SHVT27652Wの場合のみ)および通話・映像制御盤の電源を入れてください。
●親機の住戸番号の設定を行ってください。
●住戸番号の設定などは統合盤または警報監視盤側でも設定が必要な場合があります。統合盤または警報監視盤側で設定を行ってください。詳しくは統合盤または警報監視盤に付属の設定マニュアルを参照してください。



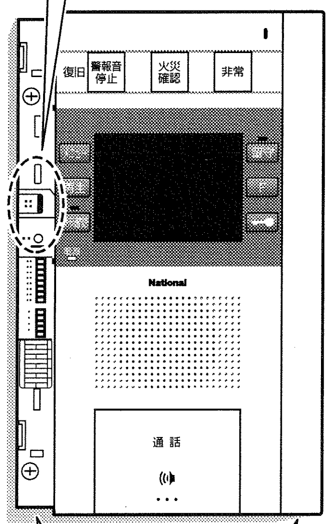
Ⓐ部(シール貼り部分)を⊖ドライバーなどで突き破って押してください。

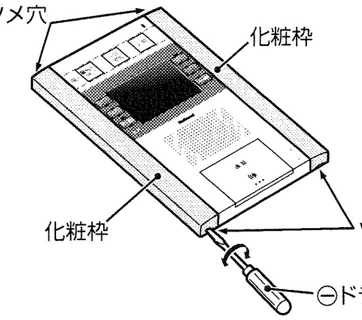
異常時「切」スイッチ部

親機が異常な状態の一次処置として、使用してください。すべての機能が停止します。
(異常時「切」スイッチは、化粧枠の下にあります。)

注 はずした化粧枠を取り付けないでください。取り付けると自動的に電源が入ります。

●図はSHVT品番の場合を示します。

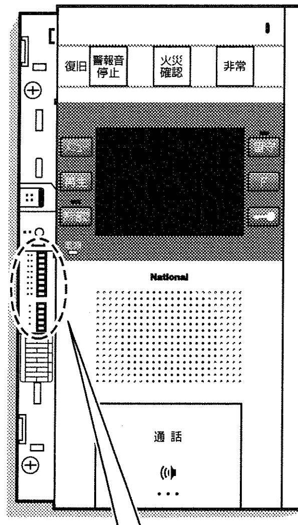


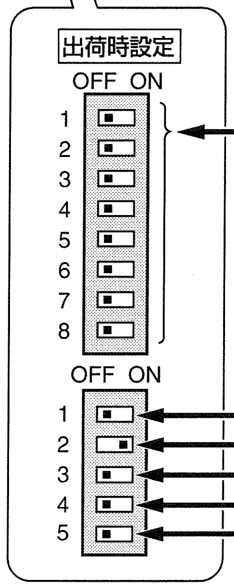


■化粧枠のはずし方

⊖ドライバーなどをツメ穴に差し込み起こして開ける。
(ツメ穴は本体の底面と天面にあります。)

●図はSHVT品番の場合を示します。

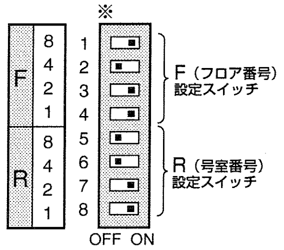




住戸番号の設定方法(スイッチ1〜8)

1) F(フロア番号)設定スイッチで1〜15階までの **フロア番号** を設定する。
2) R(号室番号)設定スイッチで1〜15号室までの **号室番号** を設定する。
3) 全住戸の住戸番号の設定が完了したら、親機の電源を入れた後、統合盤または警報監視盤側の電源を入れ、住戸登録をする。
4) 1)、2)で設定されたインターホン(住戸)がロビーインターホンおよび統合盤または警報監視盤で登録される。
5) 住戸番号の設定を確認する。

注 住戸を呼び出したとき、ロビーインターホンおよび統合盤または警報監視盤の呼出住戸番号が消灯する場合は、再度設定し直すか、または配線を確認してください。



●上図の設定例の場合1103号室

15階または1フロアが15号室を超えるときの設定方法(スイッチ1:ページ設定スイッチ)

●住戸番号を設定し、「ON」側にする。　OFF ON 1

注 統合盤または警報監視盤の設定が必要です。

■統合盤または警報監視盤側で **Aパターン** に設定されている場合
●上図の※の住戸番号は…「1103号室」→「1118号室」(03+15)

■統合盤または警報監視盤側で **Bパターン** に設定されている場合
●上図の※の住戸番号は…「1103号室」→「2603号室」(11+15)

ガス機器異常警報機能の設定(スイッチ2)

2 ONのとき:ガス機器異常(断線およびガスもれ警報器取りはずし)が発生しても、警報しません。
OFFのとき:ガス機器異常(断線およびガスもれ警報器取りはずし)が発生したとき、警報します。

火災感知器配線断線警報機能の設定(スイッチ3)

3 ONのとき:火災感知器配線が断線しても、警報しません。
OFFのとき:火災感知器配線が断線したとき、警報します。

SHVT27312W・SHVT27352W・SHVT27612W・SHVT27652Wの場合	SHVB27612W・SHVB27652Wの場合
火災確認時間の設定(スイッチ4)	**使用しません(スイッチ4)**
4 ONのとき:約5分設定 OFFのとき:約2分設定 ●火災確認警報に切り替わるまでの感知器作動警報の鳴動時間を設定します。	OFF ON 4 ●必ず「OFF」側で使用してください。

システム接続住戸数拡張の設定(スイッチ5)

●30階または1フロアが30号室を超える場合に「ON」側にする。このとき、スイッチ1(ページ設定スイッチ)は必ず「OFF」側にしてください。　OFF ON 5

注 統合盤または警報監視盤の設定が必要です。

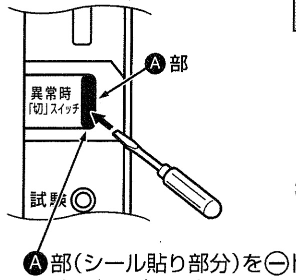
■統合盤または警報監視盤側で **Aパターン** に設定されている場合
●上図の※の住戸番号は…「1103号室」→「1133号室」(03+30)

■統合盤または警報監視盤側で **Bパターン** に設定されている場合
●上図の※の住戸番号は…「1103号室」→「4103号室」(11+30)

モニター付副親機の場合

設定スイッチによる設定

注 下記のことを守ってください。守らないと、正しくデータ登録ができないため、正常な動作をしません。
●設定スイッチによる機能設定時は電源(AC100V)、親機の電源(専用ブレーカAC100V)、他の副親機の電源を切った状態で行ってください。

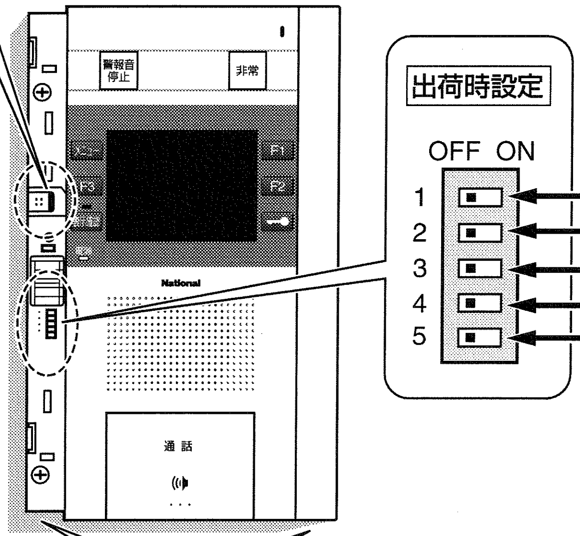


Ⓐ部(シール貼り部分)を⊖ドライバーなどで突き破って押してください。

異常時「切」スイッチ部

モニター付副親機が異常な状態の一次処置として、使用してください。すべての機能が停止します。
(異常時「切」スイッチは、化粧枠の下にあります。)

注 はずした化粧枠を取り付けないでください。取り付けると自動的に電源が入ります。



使用しません(スイッチ1)
OFF ON 1 ●必ず「OFF」側で使用してください。

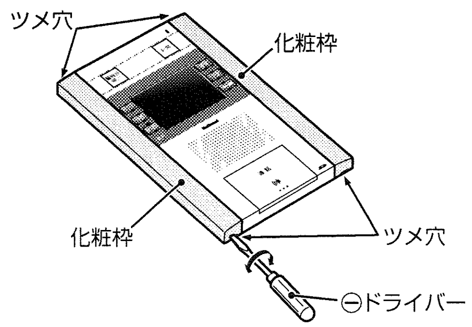
使用しません(スイッチ2)
OFF ON 2 ●必ず「OFF」側で使用してください。

副親機のアドレス設定(スイッチ3)
OFF ON 3 ●副親機を2台接続する場合にどちらかの副親機を「ON」側にします。

注 モニター付副親機を2台接続する場合、どちらか1台はUオーダー品となります。

使用しません(スイッチ4)
OFF ON 4 ●必ず「OFF」側で使用してください。

使用しません(スイッチ5)
OFF ON 5 ●必ず「OFF」側で使用してください。



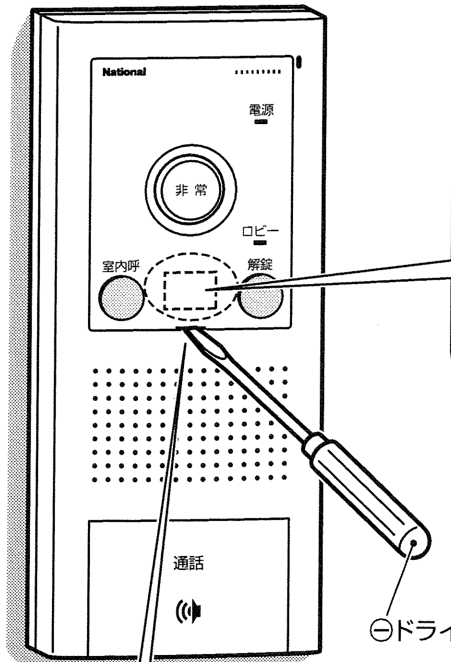
■化粧枠のはずし方

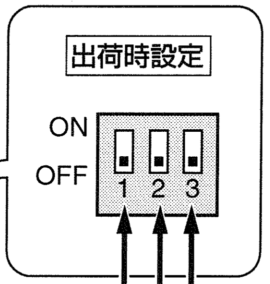
⊖ドライバーなどをツメ穴に差し込み起こして開ける。
(ツメ穴は本体の底面と天面にあります。)

通話副親機の場合

設定スイッチによる設定

注 下記のことを守ってください。守らないと、正しくデータ登録ができないため、正常な動作をしません。
●設定スイッチによる機能設定時は電源(AC100V)、親機の電源(専用ブレーカAC100V)、他の副親機の電源を切った状態で行ってください。





化粧カバーはずし穴に⊖ドライバーなどを差し込み化粧カバーを取りはずしてください。

放送鳴動切替の設定(スイッチ3)
ON/OFF 3 ONのとき:一般放送、緊急放送が鳴動します。
ON/OFF 3 OFFのとき:一般放送、緊急放送が鳴動しません。

呼出音鳴動切機能の設定(スイッチ2)
ON/OFF 2 ONのとき:呼出音が鳴動しません。
ON/OFF 2 OFFのとき:呼出音が鳴動します。

副親機のアドレス設定(スイッチ1)
ON/OFF 1 ●副親機を2台接続する場合にどちらかの副親機を「ON」側にします。

画面操作による設定

●画面操作の設定には 施工設定 と ユーザー設定 があります。施工設定 は必ず施工店様で設定してください。

●モニター付副親機(SHV13311W)は呼出音量(ユーザー設定)のみ設定できます。

画面操作時の各ボタンのなまえとはたらき

●図は親機の場合を示します。

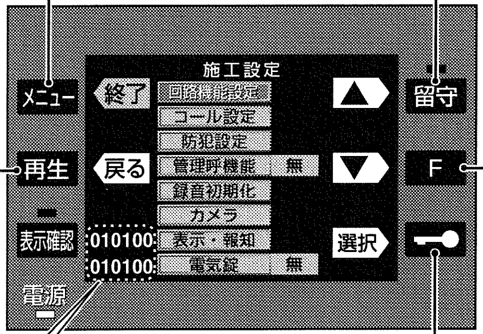
終了 ボタン

●終了するときに押します。

戻る ボタン

●前の画面に戻るときに押します。

施工設定画面



▲ ボタン

●項目を選択(上の項目へ移動)または数値を選択するときに押します。

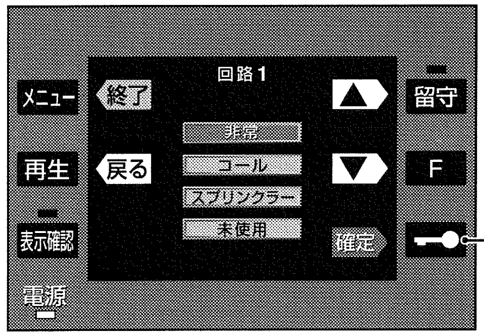
▼ ボタン

●項目を選択(下の項目へ移動)または数値を選択するときに押します。

注 施工設定の施工設定画面左下に表示されている番号は機能設定には関係ありません。(管理番号です。)

選択 ボタン

●設定したい項目を選択するときに押します。



確定 ボタン

●選択した項目を確定するときに押します。

基本操作

● ▲ ボタン または ▼ ボタン で項目・設定内容を選択して 選択 ボタン を押す。

● ▲ ボタン または ▼ ボタン で項目・設定内容を選択して 確定 ボタン を押す。

● 戻る ボタン で前の画面に戻る

● 終了 ボタン で待機状態(画面に何も表示されない状態)に戻る

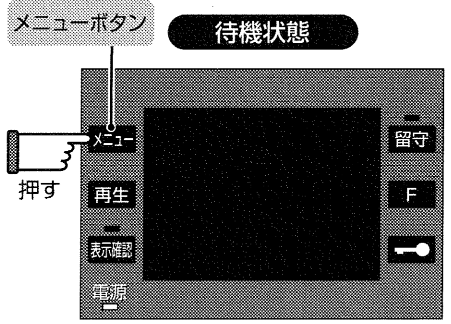
注 30秒以上操作しない場合は待機状態になります。

施工設定を開始/終了するには

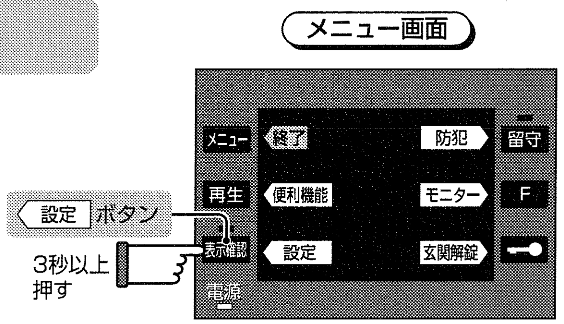
操作方法

注 30秒以上操作しない場合は待機状態に戻ります。

1. 待機状態でメニューボタンを押す。
(画面に何も表示されていない状態)

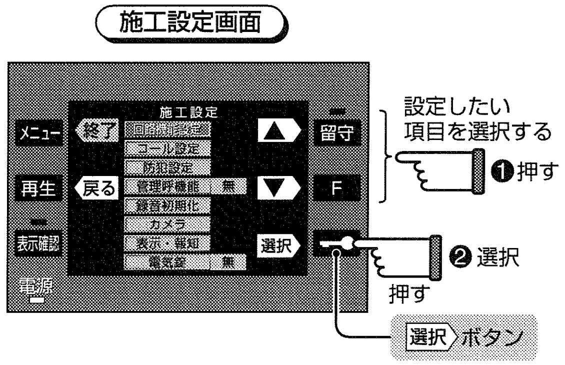


2. 3秒以上、設定 ボタンを押す



3. 各項目の設定をする

➡34ページ~56ページ

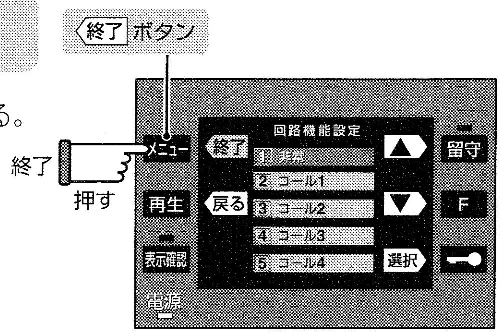


4. 終了 ボタンを押す

●待機画面(画面に何も表示されていない状態)にする。

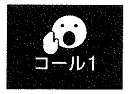
注 ●設定変更した場合は各画面から待機状態に戻る間に「設定変更中」の画面になります。

●必ず 終了 ボタンを押して待機状態に戻してください。30秒以上操作せずに待機状態になった場合は設定変更されません。最初から設定し直してください。

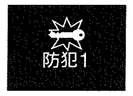
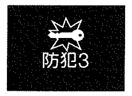


施工設定

●コール(連絡)の機能の切り替えや防犯警報の移報遅延などが設定できます。

区分	設定項目	設定内容	出荷時設定	ページ
回路機能設定	回路 1	汎用入力1～5の内容を設定します。	コール1	▶ 37
回路機能設定	回路 2	汎用入力1～5の内容を設定します。	コール2	▶ 37
回路機能設定	回路 3	汎用入力1～5の内容を設定します。	非 常	▶ 37
回路機能設定	回路 4	汎用入力1～5の内容を設定します。	未使用	▶ 37
回路機能設定	回路 5	汎用入力1～5の内容を設定します。	未使用	▶ 37
コール設定 コール1～コール4	機能切替	コール1(コール2の場合はコール2・コール3の場合はコール3・コール4の場合はコール4)からの呼び出しを「コール(連絡)」にするか、「緊急コール警報」にするかを設定します。	連 絡	▶ 38
コール設定 コール1～コール4	移報遅延	**注 機能切替設定で「緊急(緊急コール警報)」に設定されている場合のみ設定できます。「連絡」に設定している場合、「移報遅延」は使用できません。** 玄関(カラーカメラ付ドアホン子器またはドアホン子器)・管理室(統合盤または警報監視盤)へ緊急コール警報が移報される時間を設定します。	30秒	▶ 39
コール設定 コール1～コール4	ラッチ(自己保持機能)	コール用押釦が元に戻ったとき、警報を継続させるかさせないかを設定します。	無	▶39～40
コール設定 コール1～コール4	表示(画面の表示)	コール1(コール2の場合はコール2・コール3の場合はコール3・コール4の場合はコール4)からの呼び出し時、画面の表示を何にするかを設定します。	 コール1 ●コール2の場合 「コール1」表示は「コール2」表示になります。 ●コール3の場合 「コール1」表示は「コール3」表示になります。 ●コール4の場合 「コール1」表示は「コール4」表示になります。	▶ 40
コール設定 コール1～コール4	音量(連絡コール)	**注 機能切替設定で「コール(連絡)」に設定されている場合のみ設定できます。「緊急コール警報」に設定している場合、「音量(連絡コール)」は使用できません。** コール1(コール2の場合はコール2・コール3の場合はコール3・コール4の場合はコール4)から呼ばれたときに、親機・副親機から鳴る呼出音の音量を設定します。	連 動	▶ 41
コール設定 コール1～コール4	ドアホン移報	**注 機能切替設定で「緊急コール警報」に設定されている場合のみ設定できます。「コール(連絡)」に設定している場合、「ドアホン移報」は使用できません。** コール用押釦を押したとき、玄関(カラーカメラ付ドアホン子器またはドアホン子器)から警報音を鳴らすか鳴らさないかを設定します。	入	▶41～42

注 コール2・コール3・コール4の設定内容はコール1と同じです。(出荷時設定も同じです。)

区分	設定項目	設定内容	出荷時設定	ページ
防犯設定 防犯1	警戒遅延	防犯セット後、防犯警戒状態になり、マグネットスイッチが作動して防犯警報するまでの時間を設定します。(防犯予備警報の鳴動時間も設定されます。)	無	▶ 43
防犯設定 防犯1	警戒確定音	防犯警戒状態に入るまでの時間に予告音・確定音を鳴らすか鳴らさないかを設定します。	切	▶ 44
防犯設定 防犯1	表示(画面の表示)	防犯警報時、画面の表示を何にするかを設定されます。	 防犯1	▶44～45
防犯設定 防犯2	警戒遅延	防犯セット後、防犯警戒状態になり、マグネットスイッチが作動して防犯警報するまでの時間を設定します。(防犯予備警報の鳴動時間も設定されます。)	60秒	▶ 43
防犯設定 防犯2	警戒確定音	防犯警戒状態に入るまでの時間に予告音・確定音を鳴らすか鳴らさないかを設定します。	切	▶ 44
防犯設定 防犯2	表示(画面の表示)	防犯警報時、画面の表示を何にするかを設定されます。	防犯2	▶44～45
防犯設定 防犯3	警戒遅延	防犯セット後、防犯警戒状態になり、マグネットスイッチが作動して防犯警報するまでの時間を設定します。(防犯予備警報の鳴動時間も設定されます。)	60秒	▶ 43
防犯設定 防犯3	警戒確定音	防犯警戒状態に入るまでの時間に予告音・確定音を鳴らすか鳴らさないかを設定します。	切	▶ 44
防犯設定 防犯3	表示(画面の表示)	防犯警報時、画面の表示を何にするかを設定します。	 防犯3	▶44～45
防犯設定 防犯共通	移報遅延	玄関(カラーカメラ付ドアホン子器またはドアホン子器)・管理室(統合盤または警報監視盤)へ防犯警報が移報される時間を設定します。	40秒	▶ 46
防犯設定 防犯共通	予備警報音	防犯予備警報の呼出メッセージの音声部分を鳴らすか鳴らさないかを設定します。	入	▶ 47
防犯設定 防犯共通	個別警戒	すべての防犯回路を同時に警戒設定するか各回路ごとに警戒設定するかを設定します。	無 (防犯の3回路を同時に警戒設定)	▶ 47
防犯設定 防犯共通	外部解除	すべての防犯回路を同時に外部防犯セットスイッチから警戒解除を可能にする機能設定です。	不 可	▶ 48
防犯設定 防犯共通	警報中外部解除	防犯警報中でも防犯予備警報中でもすべての防犯回路を同時に外部すべての防犯防犯セットスイッチから警戒解除を可能にする機能設定です。	不 可	▶ 48
防犯設定 防犯共通	解錠防犯連動	**注 「有」に設定している場合、防犯1にマグネットスイッチは接続できません。** 電気錠システム(住戸玄関)などの施・解錠情報を防犯1の防犯機能として使用するときに設定します。	無	▶ 49
防犯設定 防犯共通	センサー情報	防犯警報発報時、扉の開閉状態の情報を移報するときに設定します。(防犯1・防犯2のみ有効な設定です。)	無	▶ 49

設定項目		設定内容	出荷時設定	ページ
管理呼機能		住戸から管理室（統合盤または警報監視盤）への呼び出しができるかできないかを設定します。	無	▶ 50
録音初期化		録音データをすべて消去し、録音の設定を出荷時状態に戻します。	―	▶ 51
カメラ	玄関カメラ	カラーカメラ付ドアホン子器を接続するか接続しないかを設定します。	無（ドアホン子器を接続する）	▶ 52
カメラ	センサーカメラ	カラーカメラ子器が接続されていて、ドアホン子器と連動させるか連動させないかを設定します。	無	▶ 53
表示・報知	過電流表示	過電流警報装置付の分電盤と接続するか接続しないかを設定します。	無	▶ 54
表示・報知	戸締り表示	マグネットスイッチを設置した窓などが開いているときに親機の戸締り灯を点滅させるか点滅させないかを設定します。	無	▶54〜55
表示・報知	水もれ報知	水もれ警報時、親機・副親機・増設スピーカーから報知音を鳴らすか鳴らさないかを設定します。	入	▶ 55
電気錠（住戸玄関）		接続する電気錠（住戸玄関）の種類に応じて設定します。	無	▶ 56

施工設定 （➡37〜56ページ）

注 必ず施工店で設定してください。

回路機能設定 回路1 回路2 回路3 回路4 回路5

●汎用入力1〜5の内容を設定します。

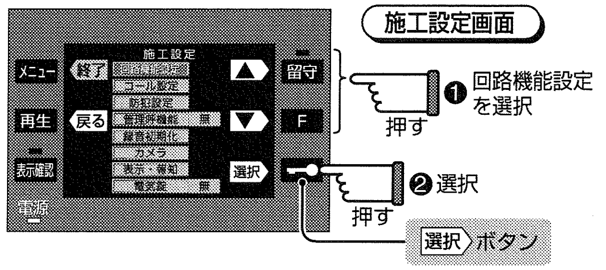
注
●回路1・回路2・回路4・回路5の設定内容および操作方法は回路3と同じです。
回路機能設定画面で「防犯機能」は回路3・回路4・回路5のみ設定可能です。
●防犯は全住戸一括の設定の場合、統合盤または警報監視盤からの遠隔設定が可能です。
詳細は統合盤または警報監視盤に付属の設定マニュアルを参照してください。
●全住戸一括での設定をしない場合は、住戸ごとの設定をしてください。

操作方法

SHVT27312W SHVT27612W	SHVT27352W SHVT27652W	SHVB 27612W	SHVB 27652W	SHV 13311W	SHV 63115W
●	●	●	●	――	――

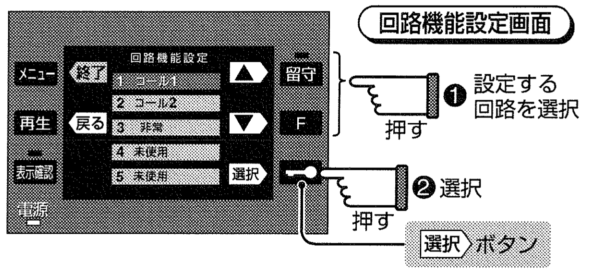
1. 施工設定画面の 回路機能設定 を選択する

❶ ▲ボタン・▼ボタンを押し、回路機能設定 を選択する。
❷ 選択ボタンを押し、選択する。



2. 回路機能設定画面の 1コール1 2コール2 3非常 4未使用 5未使用 のいずれかを選択する

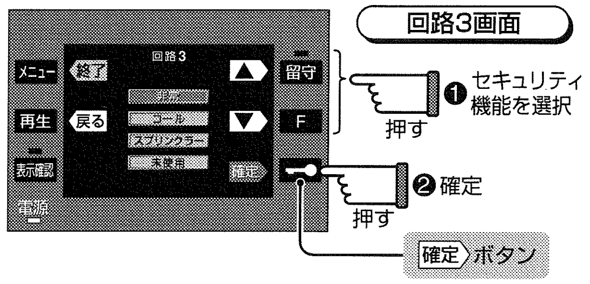
❶ ▲ボタン・▼ボタンを押し、1コール1 2コール2 3非常 4未使用 5未使用 を選択する。
❷ 選択ボタンを押し、選択する。



3. 非常 コール スプリンクラー 防犯 未使用 のいずれかを選択する

❶ ▲ボタン・▼ボタンを押し、非常 コール スプリンクラー 防犯 未使用 を選択する。
❷ 確定ボタンを押し、確定する。

▼ 非常（回路3）を選択した場合を示します。



●汎用入力内容一覧表

汎用入力	非常	コール	スプリンクラー	防犯	未使用
機能	増設の非常用押釦を押すことで非常通報します。	コール用押釦を押すことでコール通報します。	スプリンクラーが動作したときに即時火災警報として発報します。注 SHVT27312W・SHVT27352W・SHVT27612W・SHVT27652Wのみ選択可能です。	マグネットスイッチを設置した玄関や窓が開いたときに防犯警報します。	汎用入力を使用しない場合に設定します。

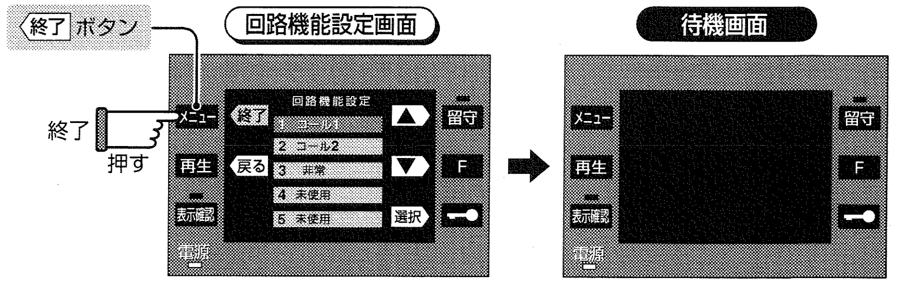
●最大設定可能回路数と設定可能回路について

機能	最大設定可能回路数	設定可能回路 1	2	3	4	5
非常	1回路	○	○	●	○	○
コール	4回路	●	●	○	○	○
スプリンクラー	1回路 ※	○	○	○	○	○
防犯	3回路	―	―	○	○	○

※回路数の制限として、スプリンクラーはコール4回路の中に含めます。
○：設定可能であることを示します。
●：出荷時設定であることを示します。

4. 設定を終了する

● 終了ボタンを押し、待機画面（画面に何も表示されていない状態）にする。



コール設定 コール1 コール2 コール3 コール4

注: コール2・コール3・コール4の設定内容および操作方法はコール1と同じです。
コール設定画面で「コール2」「コール3」「コール4」を選択して「コール1」と同様に設定してください。

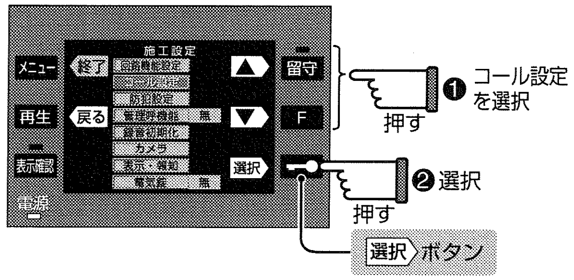
操作方法

SHVT27312W SHVT27612W	SHVT27352W SHVT27652W	SHVB 27612W	SHVB 27652W	SHV 13311W	SHV 63115W
●	●	●	●	―	―

1. 施工設定画面の コール設定 を選択する

❶ ▲ ボタン・▼ ボタンを押し、コール設定 を選択する。
❷ 選択 ボタンを押し、選択する。

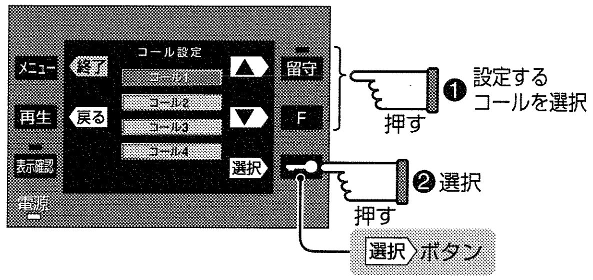
施工設定画面



2. コール設定画面の コール1 コール2 コール3 コール4 のいずれかを選択する

❶ ▲ ボタン・▼ ボタンを押し、コール1 コール2 コール3 コール4 を選択する。
❷ 選択 ボタンを押し、選択する。

コール設定画面



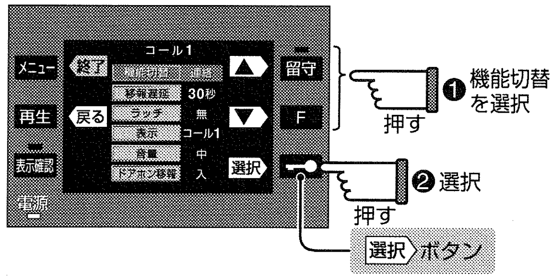
機能切替

3. 機能切替 を選択する

❶ ▲ ボタン・▼ ボタンを押し、機能切替 を選択する。
❷ 選択 ボタンを押し、選択する。

▼ コール1を選択した場合を示します。

コール1画面

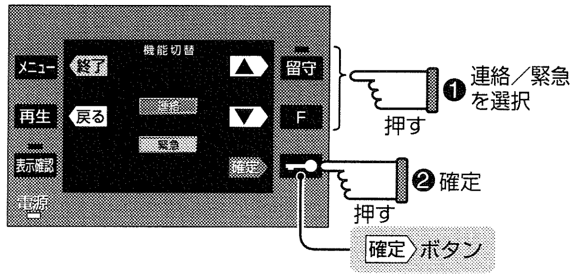


4. 機能切替画面の 連絡 緊急 のいずれかを選択する

❶ ▲ ボタン・▼ ボタンを押し、連絡 緊急 を選択する。
❷ 確定 ボタンを押し、確定する。

▼ 機能切替を選択した場合を示します。

機能切替画面



●コール1(コール2の場合はコール2・コール3の場合はコール3・コール4の場合はコール4)からの呼び出しを「連絡」にするか「緊急」にするかを設定します。

連絡	コール(連絡)します。「プップップー」が鳴ります。
緊急	緊急コール警報します。「ピーポー・ピーポー・ピーポー、早く来てください。」が鳴ります。

注: 「緊急」に設定した場合、管理室(統合盤または警報監視盤)または玄関(カラーカメラ付ドアホン子器またはドアホン子器)に移報されます。
(玄関への移報をしないようにすることができます。(➡「ドアホン移報」(41ページ))

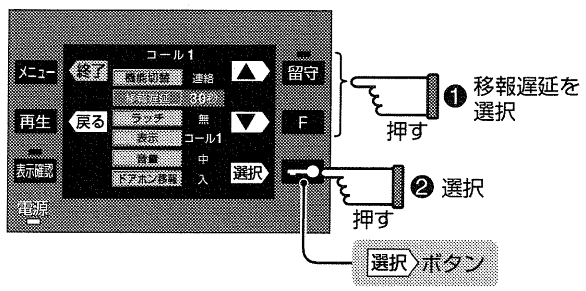
移報遅延

5. 移報遅延 を選択する

❶ ▲ ボタン・▼ ボタンを押し、移報遅延 を選択する。
❷ 選択 ボタンを押し、選択する。

▼ コール1を選択した場合を示します。

コール1画面



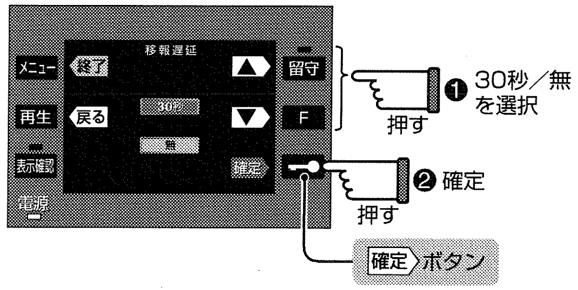
6. 移報遅延の 30秒 無 のいずれかを選択する

❶ ▲ ボタン・▼ ボタンを押し、30秒 無 を選択する。
❷ 確定 ボタンを押し、確定する。

注: 機能切替設定で「緊急(緊急コール警報)」に設定されている場合のみ設定できます。
(「連絡」に設定されている場合、「移報遅延」は使用できません。)

▼ 移報遅延を選択した場合を示します。

移報遅延画面



●玄関(カラーカメラ付ドアホン子器またはドアホン子器)・管理室(統合盤または警報監視盤)へ緊急コール警報が移報される時間を設定します。

30秒	親機の警報より約30秒後に玄関(カラーカメラ付ドアホン子器またはドアホン子器)・管理室(統合盤または警報監視盤)から警報されます。
無	親機と同時に玄関(カラーカメラ付ドアホン子器またはドアホン子器)・管理室(統合盤または警報監視盤)から警報されます。

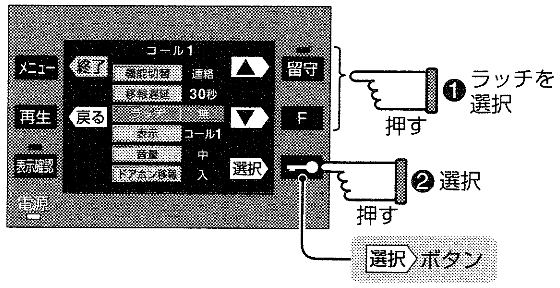
ラッチ(自己保持機能)

7. ラッチ を選択する

❶ ▲ ボタン・▼ ボタンを押し、ラッチ を選択する。
❷ 選択 ボタンを押し、選択する。

▼ コール1を選択した場合を示します。

回路1画面

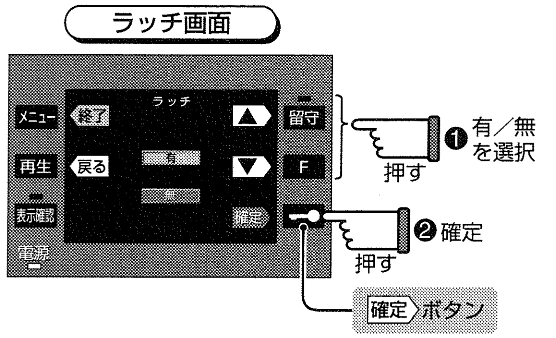


40ページ 8. へつづく

8. ラッチ画面の 有 無 のいずれかを選択する

▼ ラッチを選択した場合を示します。

ラッチ画面



❶ ▲ ボタン・▼ ボタンを押し、有 無 を選択する。

❷ 確定 ボタンを押し、確定する。

●コール用押釦が元に戻ったとき、警報を継続させるかさせないかを設定します。

無	押された押釦を元に戻すと、警報は停止します。（自己保持機能無）
有	押された押釦が元に戻っても警報は継続します。親機の警報音停止ボタンを押して警報音を停止してください。（自己保持機能有） 注 警報音を停止した後、約20秒間経過しても親機の画面の表示が点滅している場合は、押釦が押されたままになっています。押された押釦を元に戻して復旧してください。

表示（画面の表示）

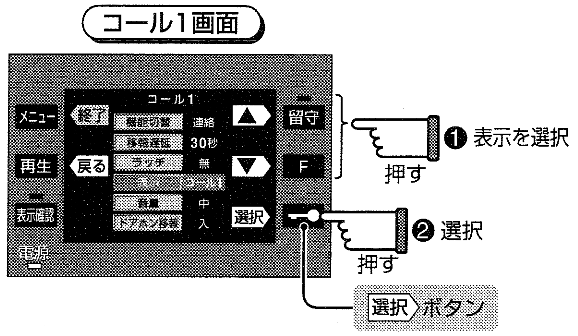
注 ●表示（画面の表示）は全住戸一括の設定の場合、統合盤または警報監視盤からの遠隔設定が可能です。詳細は統合盤または警報監視盤に付属の設定マニュアルを参照してください。

●全住戸一括での設定をしない場合は、住戸ごとの設定をしてください。

9. 表示 を選択する

▼ コール1を選択した場合を示します。

コール1画面



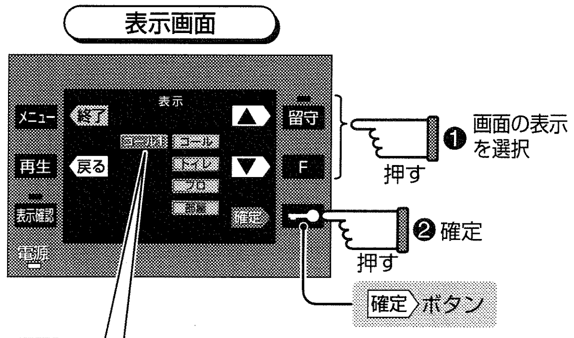
❶ ▲ ボタン・▼ ボタンを押し、表示 を選択する。

❷ 選択 ボタンを押し、選択する。

10. 表示画面の コール1 コール トイレ フロ 部屋 のいずれかを選択する

▼ コール1を選択した場合を示します。

表示画面



❶ ▲ ボタン・▼ ボタンを押し、コール1 コール トイレ フロ 部屋 を選択する。

❷ 確定 ボタンを押し、確定する。

コール2の場合はコール2・コール3の場合はコール3・コール4の場合はコール4と表示されます。（表示される位置も変わります。）

●コール1（コール2の場合はコール2・コール3の場合はコール3・コール4の場合はコール4）からの呼び出し時、画面表示を何にするかを設定します。

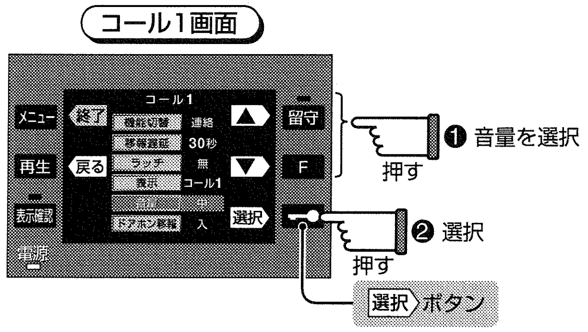
設定内容	コール1	コール2	コール3	コール4	コール	トイレ	フ ロ	部 屋
画面の表示	コール1	コール2	コール3	コール4	コール	トイレ	フロ	部屋

音量（連絡コール）

11. 音量 を選択する

▼ コール1を選択した場合を示します。

コール1画面



❶ ▲ ボタン・▼ ボタンを押し、音量 を選択する。

❷ 選択 ボタンを押し、選択する。

12. 音量画面の 大 中 小 連動 切 のいずれかを選択する

音量は 大 中 小 連動 切 のいずれかに設定できます。

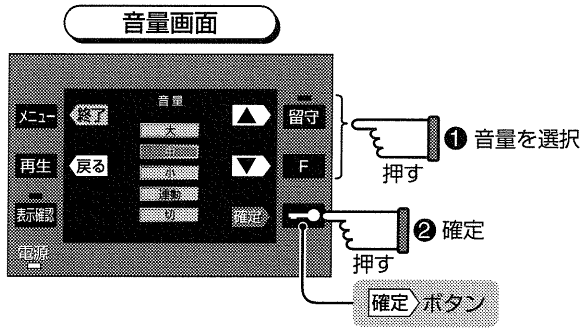
大 中 小 ：親機で設定した音量（連絡コール）がモニター付副親機・通話副親機から鳴動します。モニター付副親機・通話副親機では設定できません。

連動 ：親機・モニター付副親機で設定した呼出音の音量と同じ音量で鳴ります。

切 ：呼出音は鳴りません。

▼ 中を選択した場合を示します。

音量画面



❶ ▲ ボタン・▼ ボタンを押し、大 中 小 連動 切 を選択する。

❷ 確定 ボタンを押し、確定する。

注 機能切替設定で「コール（連絡）」に設定されている場合のみ設定できます。（「緊急コール警報」に設定されている場合、「音量（連絡コール）」は使用できません。）

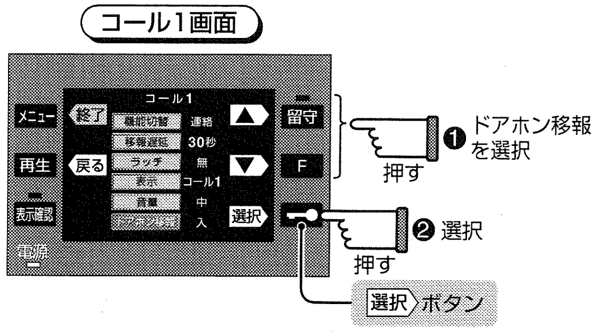
●コール1（コール2の場合はコール2・コール3の場合はコール3・コール4の場合はコール4）から呼ばれたときに親機・副親機から鳴る呼出音の音量を設定します。

ドアホン移報

13. ドアホン移報 を選択する

▼ コール1を選択した場合を示します。

コール1画面



❶ ▲ ボタン・▼ ボタンを押し、ドアホン移報 を選択する。

❷ 選択 ボタンを押し、選択する。

42ページ 14. へつづく

14. ドアホン移報画面の 入 切 の いずれかを選択する

❶ ▲ ボタン・ ▼ ボタンを押し、 入 切 を選択する。
❷ 確定 ボタンを押し、確定する。

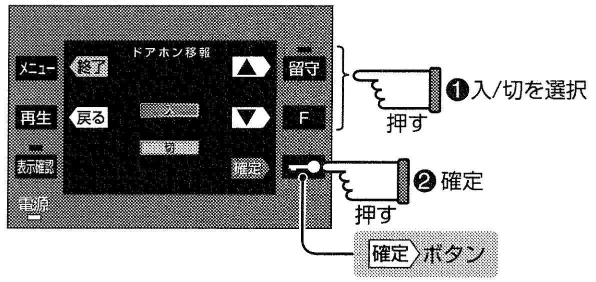
注 機能切替設定で「緊急コール警報」に設定されている場合のみ設定できます。(「コール(連絡)」に設定されている場合、「ドアホン移報」は使用できません。)

●コール用押釦を押したとき、玄関(カラーカメラ付ドアホン子器またはドアホン子器)から警報音を鳴らすか鳴らさないかを設定します。

入	コール用押釦を押すと、玄関(カラーカメラ付ドアホン子器またはドアホン子器)から警報音が鳴ります。
切	コール用押釦を押しても、玄関(カラーカメラ付ドアホン子器またはドアホン子器)から警報音は鳴りません。

▼ 入を選択した場合を示します。

ドアホン移報画面

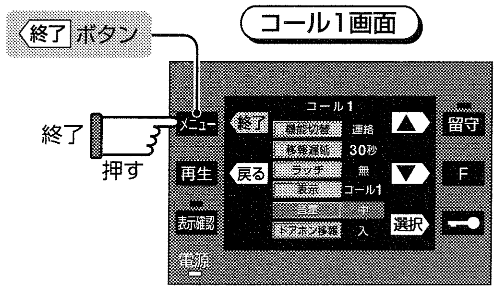


15. 設定を終了する

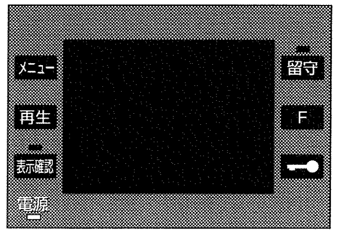
● 終了 ボタンを押し、待機画面(画面に何も表示されていない状態)にする。

▼ コール1を選択した場合を示します。

コール1画面



待機画面



防犯設定 防犯1 防犯2 防犯3

注 防犯2・防犯3の設定内容および操作方法は防犯1と同じです。
防犯設定画面で「防犯2」「防犯3」を選択して「防犯1」と同様に設定してください。

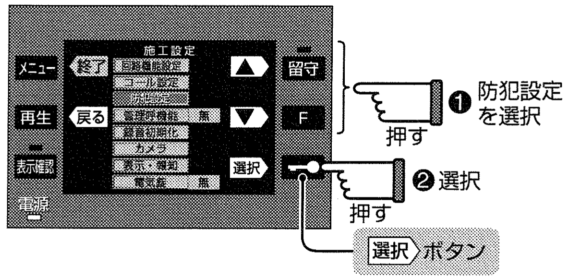
操作方法

SHVT27312W SHVT27612W	SHVT27352W SHVT27652W	SHVB 27612W	SHVB 27652W	SHV 13311W	SHV 63115W
●	●	●	●	—	—

1. 施工設定画面の 防犯設定 を選択する

❶ ▲ ボタン・ ▼ ボタンを押し、 防犯設定 を選択する。
❷ 選択 ボタンを押し、選択する。

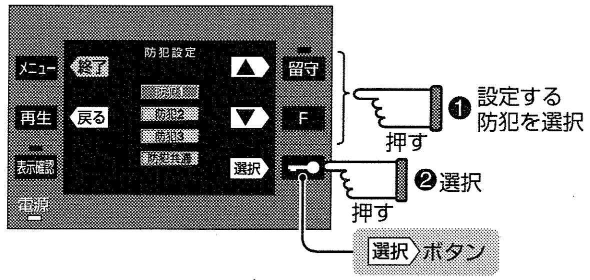
施工設定画面



2. 防犯設定画面の 防犯1 防犯2 防犯3 のいずれかを選択する

❶ ▲ ボタン・ ▼ ボタンを押し、 防犯1 防犯2 防犯3 を選択する。
❷ 選択 ボタンを押し、選択する。

防犯設定画面



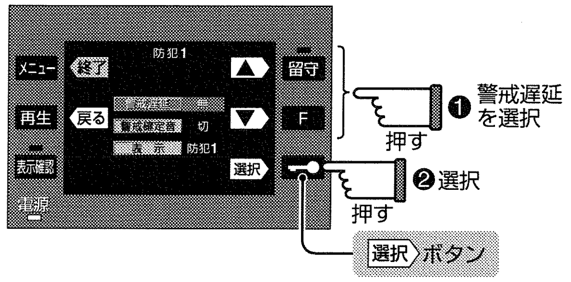
警戒遅延

3. 警戒遅延 を選択する

❶ ▲ ボタン・ ▼ ボタンを押し、 警戒遅延 を選択する。
❷ 選択 ボタンを押し、選択する。

▼ 防犯1を選択した場合を示します。

防犯1画面



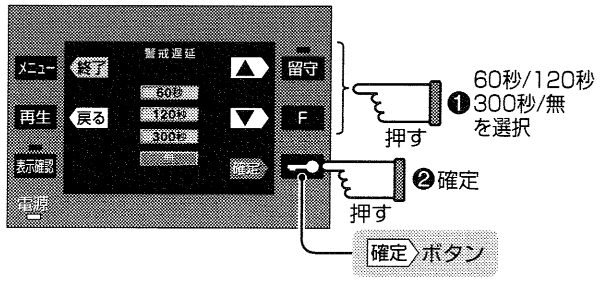
4. 警戒遅延画面の 60秒 120秒 300秒 無 のいずれかを選択する

❶ ▲ ボタン・ ▼ ボタンを押し、 60秒 120秒 300秒 無 を選択する。
❷ 確定 ボタンを押し、確定する。

●防犯セット後、防犯警戒状態になり、マグネットスイッチが作動して防犯警報するまでの時間を設定します。
(防犯予備警報の鳴動時間も設定されます。)

▼ 警戒遅延を選択した場合を示します。

警戒遅延画面



60秒	防犯セット後、約60秒後に防犯警戒状態になり、扉を開けると約60秒間予備警報し、その後防犯警報します。
120秒	防犯セット後、約120秒後に防犯警戒状態になり、扉を開けると約120秒間予備警報し、その後防犯警報します。
300秒	防犯セット後、約300秒後に防犯警戒状態になり、扉を開けると約300秒間予備警報し、その後防犯警報します。
無	防犯セット時、即時警報を開始し、扉を開けると即時、防犯警報します。

44ページ 5. へつづく

警戒確定音

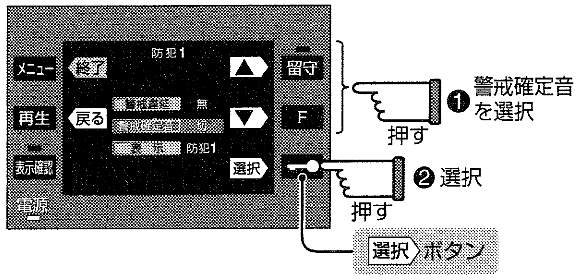
5. 警戒確定音 を選択する

❶ ▲ ボタン・▼ ボタンを押し、警戒確定音 を選択する。

❷ 選択 ボタンを押し、選択する。

▼ 防犯1を選択した場合を示します。

防犯1画面



6. 警戒確定音画面で 入 切 のいずれかを選択する

❶ ▲ ボタン・▼ ボタンを押し、入 切 を選択する。

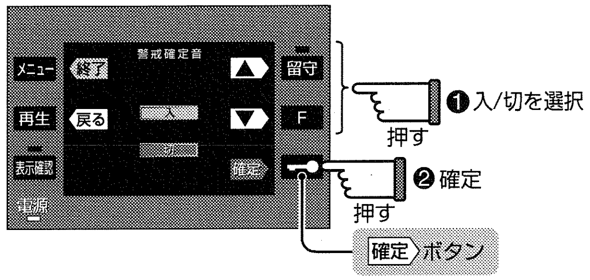
❷ 確定 ボタンを押し、確定する。

●防犯セット後、防犯警戒状態になる15秒前から5秒ごとに予告音「ピッピッピッ」、防犯警戒状態が開始になったときに確定音「ピー」を鳴らすか鳴らさないかを設定します。
戸締まり確認状態(マグネットスイッチを設置した窓・扉が大きく開いた状態)のときには予告音・確定音は鳴りません。

入	防犯セット後、防犯警戒状態に入るまでの時間に予告音・確定音が鳴ります。
切	防犯セット後、防犯警戒状態に入るまでの時間に予告音・確定音が鳴りません。

▼ 警戒確定音を選択した場合を示します。

警戒確定音画面



表示(画面の表示)

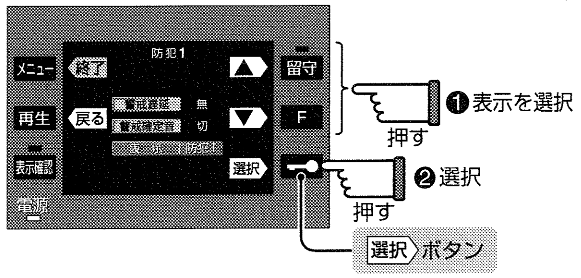
7. 表示 を選択する

❶ ▲ ボタン・▼ ボタンを押し、表示 を選択する。

❷ 選択 ボタンを押し、選択する。

▼ 防犯1を選択した場合を示します。

防犯1画面



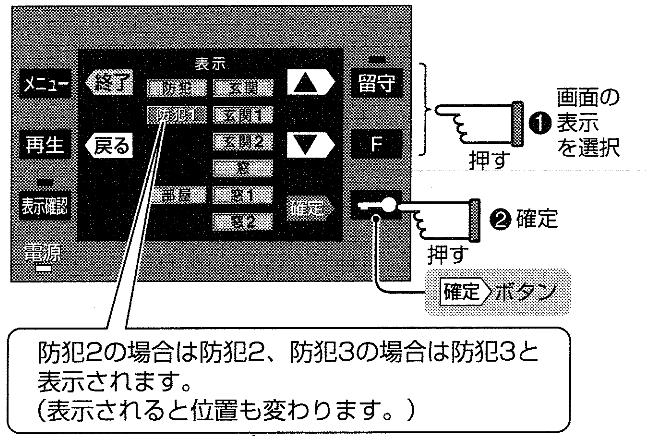
8. 表示画面の 防犯 防犯1 部屋 玄関 玄関1 玄関2 窓 窓1 窓2 のいずれかを選択する

❶ ▲ ボタン・▼ ボタンを押し、防犯 防犯1 部屋 玄関 玄関1 玄関2 窓 窓1 窓2 を選択する。

❷ 確定 ボタンを押し、確定する。

▼ 防犯1を選択した場合を示します。

表示画面



●防犯1(防犯2の場合は防犯2・防犯3の場合は防犯3)の警報時、画面の表示を何にするか設定します。

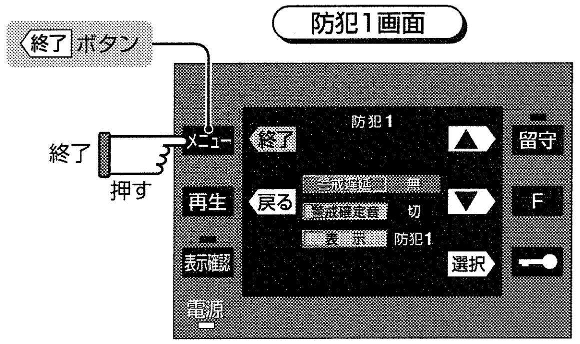
設定内容	防犯	防犯1	防犯2	防犯3	部屋	玄関	玄関1	玄関2	窓	窓1	窓2
画面の表示	防犯	防犯1	防犯2	防犯3	部屋	玄関	玄関1	玄関2	窓	窓1	窓2

9. 設定を終了する

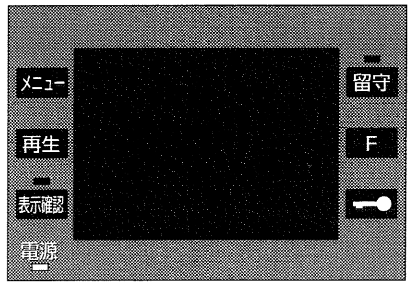
● 終了 ボタンを押し、待機画面(画面に何も表示されていない状態)にする。

▼ 防犯1を選択した場合を示します。

防犯1画面



待機画面



防犯設定 防犯共通

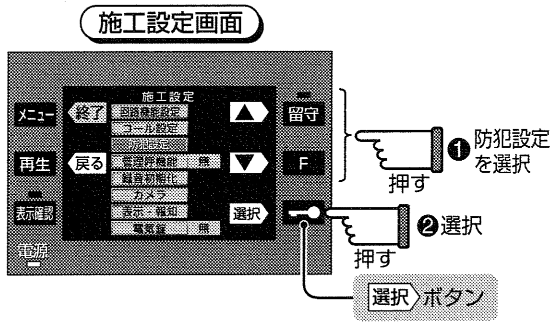
操作方法

SHVT27312W SHVT27612W	SHVT27352W SHVT27652W	SHVB 27612W	SHVB 27652W	SHV 13311W	SHV 63115W
●	●	●	●	―	―

1. 施工設定画面の 防犯設定 を選択する

❶ ▲ ボタン・▼ ボタンを押し、防犯設定 を選択する。

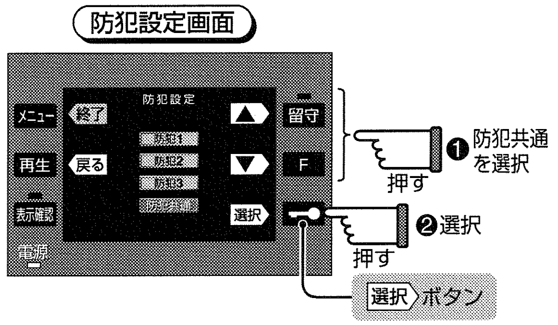
❷ 選択 ボタンを押し、選択する。



2. 防犯設定画面の 防犯共通 を選択する

❶ ▲ ボタン・▼ ボタンを押し、防犯共通 を選択する。

❷ 選択 ボタンを押し、選択する。

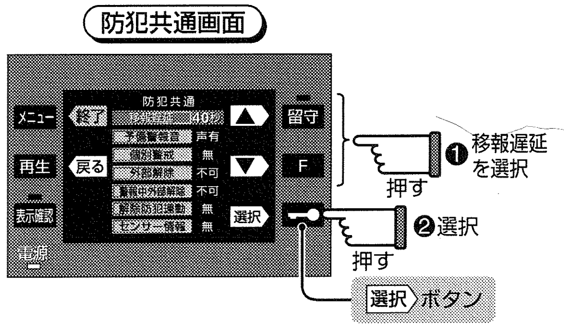


移報遅延

3. 防犯共通画面の 移報遅延 を選択する

❶ ▲ ボタン・▼ ボタンを押し、移報遅延 を選択する。

❷ 選択 ボタンを押し、選択する。

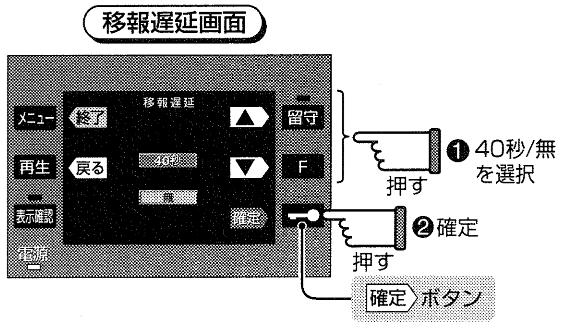


4. 移報遅延画面の 40秒 無 のいずれかを選択する

❶ ▲ ボタン・▼ ボタンを押し、40秒 無 を選択する。

❷ 確定 ボタンを押し、確定する。

▼ 移報遅延を選択した場合を示します。



●玄関(カラーカメラ付ドアホン子器またはドアホン子器)・管理室(統合盤または警報監視盤)へ防犯警報が移報される時間を設定します。

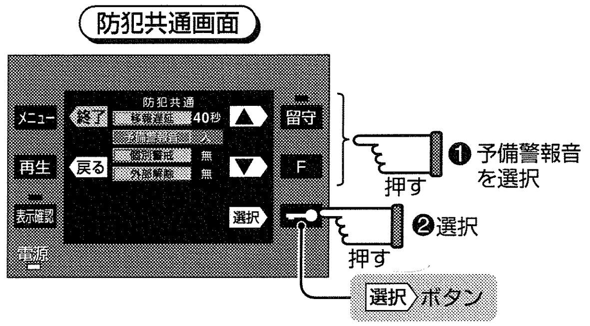
40秒	親機の警報より約40秒後に玄関(カラーカメラ付ドアホン子器またはドアホン子器)・管理室(統合盤または警報監視盤)から警報されます。
無	親機と同時に玄関(カラーカメラ付ドアホン子器またはドアホン子器)・管理室(統合盤または警報監視盤)から警報されます。

予備警報音

5. 防犯共通画面で 予備警報音 を選択する

❶ ▲ ボタン・▼ ボタンを押し、予備警報音 を選択する。

❷ 選択 ボタンを押し、選択する。



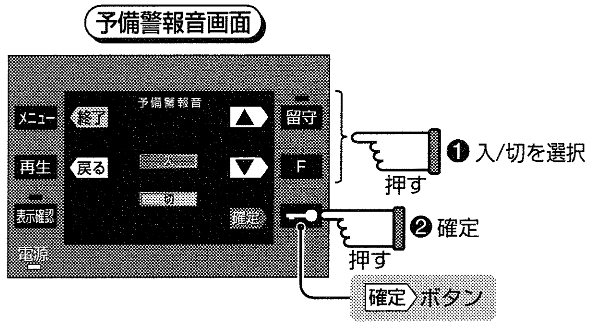
6. 予備警報音画面で 入 切 のいずれかを選択する

❶ ▲ ボタン・▼ ボタンを押し、入 切 を選択する。

❷ 確定 ボタンを押し、確定する。

●防犯予備警報の呼出メッセージの音声部分を鳴らすか鳴らさないかを設定します。

▼ 予備警報音を選択した場合を示します。



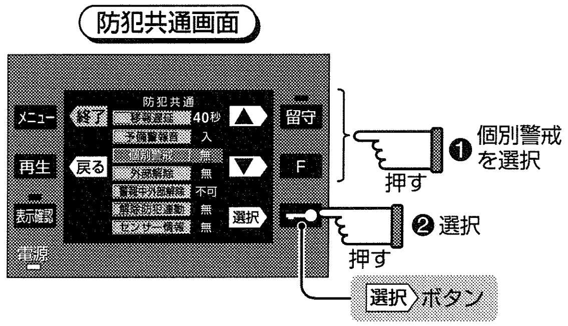
入	防犯予備警報音の音声部分が鳴ります。(「ポン、防犯警戒中です」が鳴ります。)
切	防犯予備警報音の音声部分が鳴りません。(「ポン」音のみ鳴ります。)

個別警戒

7. 防犯共通画面の 個別警戒 を選択する

❶ ▲ ボタン・▼ ボタンを押し、個別警戒 を選択する。

❷ 選択 ボタンを押し、選択する。

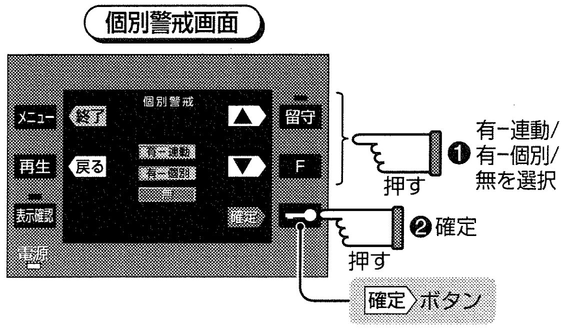


8. 個別警戒画面で 有-連動 有-個別 無 のいずれかを選択する

❶ ▲ ボタン・▼ ボタンを押し、有-連動 有-個別 無 を選択する。

❷ 確定 ボタンを押し、確定する。

▼ 個別警戒を選択した場合を示します。



●すべての防犯回路を同時に警戒設定するか各回路ごとに警戒設定するかを設定します。

有-連動	防犯の各回路ごとに警戒設定します。また、すべての防犯回路の警戒設定で「警戒セット・防犯異常」を移報します。※
有-個別	防犯の各回路ごとに警戒設定します。また、1回路の警戒設定で「警戒セット・防犯異常」を移報します。
無	すべての防犯回路を同時に警戒設定します。

※すべての防犯回路のうちの1回路の警戒設定では管理室(統合盤または警報監視盤)からの警報音は鳴りません。
玄関(カラーカメラ付ドアホン子器またはドアホン)子器)から警報されます。

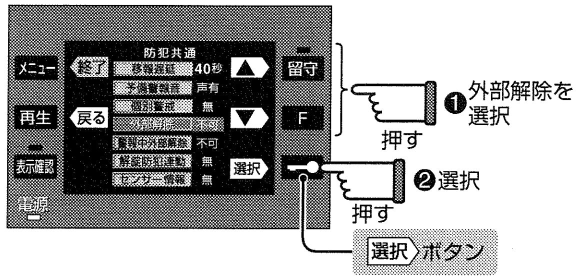
↓ 48ページ 9. へつづく

外部解除

9. 防犯共通画面で 外部解除 を選択する

❶ ▲ ボタン・ ▼ ボタンを押し、外部解除 を選択する。
❷ 選択 ボタンを押し、選択する。

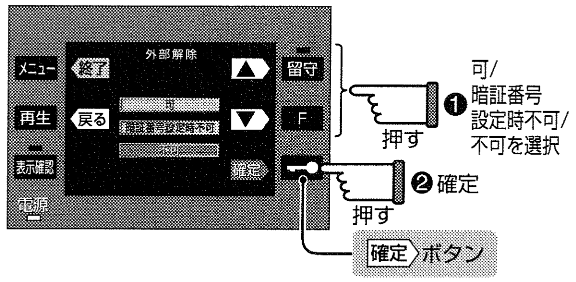
防犯共通画面



10. 外部解除画面で 可 暗証番号設定時不可 不可 のいずれかを選択する

▼ 外部解除を選択した場合を示します。

外部解除画面



❶ ▲ ボタン・ ▼ ボタンを押し、可 暗証番号設定時不可 不可 を選択する。
❷ 確定 ボタンを押し、確定する。

●すべての防犯回路を同時に外部防犯セットスイッチから警報解除する機能設定です。

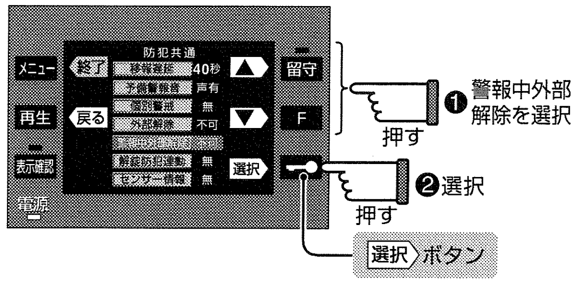
可	暗証番号が設定されていてもすべての防犯回路を外部防犯セットスイッチから警戒解除することができます。
暗証番号設定時不可	暗証番号が設定されている場合は、すべての防犯回路を外部防犯セットスイッチから警戒解除することはできません。
不可	すべての防犯回路を外部防犯セットスイッチから警戒解除することはできません。

警報中外部解除

11. 防犯共通画面で 警報中外部解除 を選択する

❶ ▲ ボタン・ ▼ ボタンを押し、警報中外部解除 を選択する。
❷ 選択 ボタンを押し、選択する。

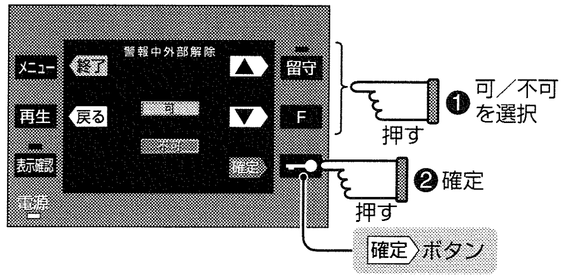
防犯共通画面



12. 警報中外部解除画面で 可 不可 のいずれかを選択する

▼ 警報中外部解除を選択した場合を示します。

警報中外部解除画面



❶ ▲ ボタン・ ▼ ボタンを押し、可 不可 を選択する。
❷ 確定 ボタンを押し、確定する。

●防犯警報中にすべての防犯回路を同時に外部防犯スイッチから警戒解除する機能設定です。

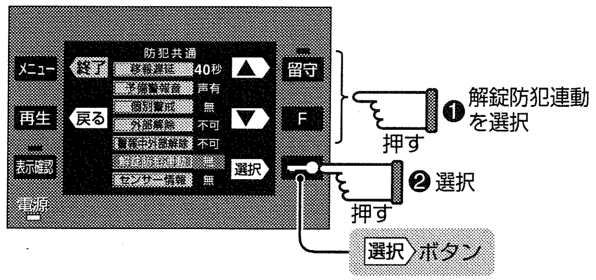
可	防犯警報中にすべての防犯回路を同時に外部防犯スイッチから警戒解除することができます。
不可	防犯警報中にすべての防犯回路を同時に外部防犯スイッチから警戒解除することができません。

解錠防犯連動

13. 防犯共通画面で 解錠防犯連動 を選択する

❶ ▲ ボタン・ ▼ ボタンを押し、解錠防犯連動 を選択する。
❷ 選択 ボタンを押し、選択する。

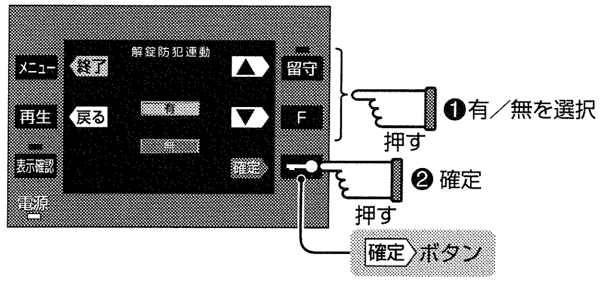
防犯共通画面



14. 解錠防犯連動画面で 有 無 のいずれかを選択する

▼ 解錠防犯連動を選択した場合を示します。

解錠防犯連動画面



❶ ▲ ボタン・ ▼ ボタンを押し、有 無 を選択する。
❷ 確定 ボタンを押し、確定する。

●電気錠システム(住戸玄関)などの施・解錠情報を防犯1の防犯機能として使用するときに設定します。

有	施・解錠情報を防犯1として防犯機能と連動します。
無	施・解錠情報を防犯機能と連動しません。

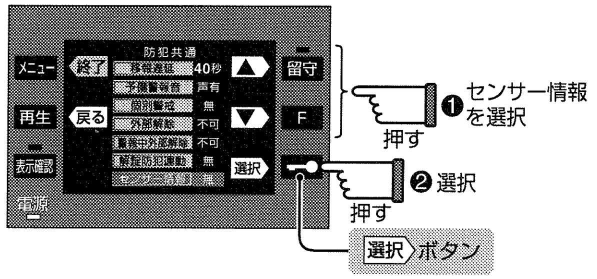
注 「有」に設定している場合、防犯1にマグネットスイッチは接続できません。

センサー情報

15. 防犯共通画面で センサー情報 を選択する

❶ ▲ ボタン・ ▼ ボタンを押し、センサー情報 を選択する。
❷ 選択 ボタンを押し、選択する。

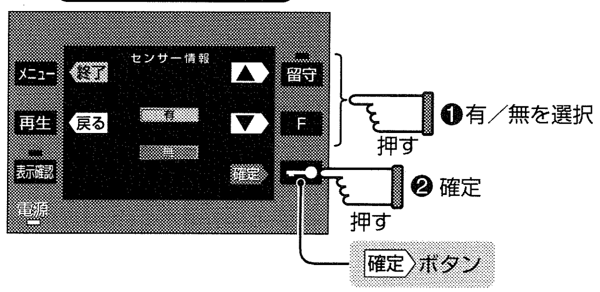
防犯共通画面



16. センサー情報画面で 有 無 のいずれかを選択する

▼ センサー情報を選択した場合を示します。

センサー情報画面



❶ ▲ ボタン・ ▼ ボタンを押し、有 無 を選択する。
❷ 確定 ボタンを押し、確定する。

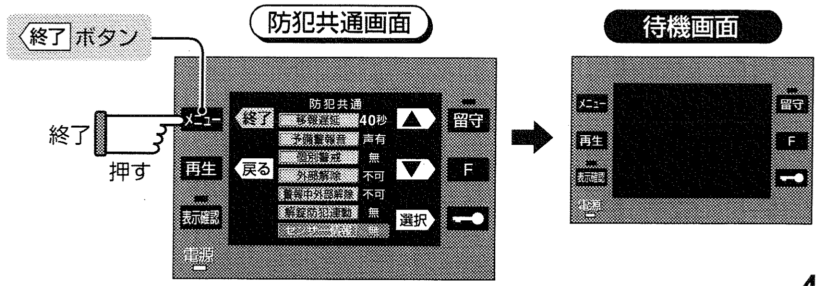
●防犯警報時、扉の開閉状態の情報を移報するときに設定します。(防犯1・防犯2のみ有効な設定です。)

有	防犯警報発報時、扉の開閉状態の情報を管理室(統合盤または警報監視盤)に移報します。
無	防犯警報発報時、扉の開閉状態の情報を管理室(統合盤または警報監視盤)に移報しません。

17. 設定を終了する

● 終了 ボタンを押し、待機画面(画面に何も表示されていない状態)にする。

防犯共通画面　待機画面



管理呼機能設定

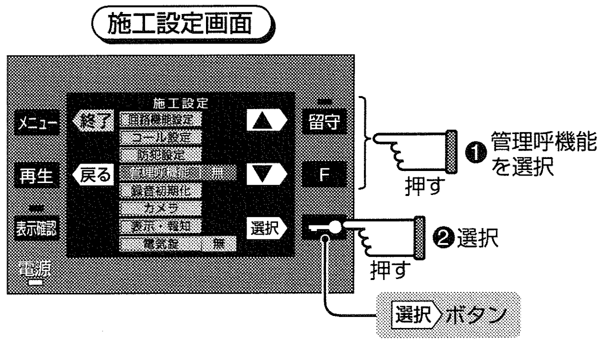
操作方法

SHVT27312W SHVT27612W	SHVT27352W SHVT27652W	SHVB 27612W	SHVB 27652W	SHV 13311W	SHV 63115W
●	●	●	●	―	―

注 ●管理呼機能設定は全住戸一括の設定の場合、統合盤または警報監視盤からの遠隔設定が可能です。
詳細は統合盤または警報監視盤に付属の設定マニュアルを参照してください。
●全住戸一括での設定をしない場合は、住戸ごとの設定をしてください。

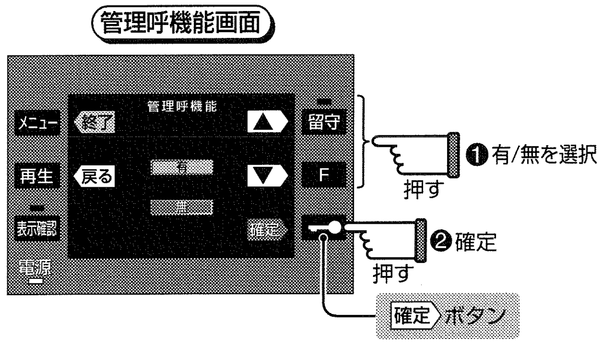
1. 施工設定画面の［管理呼機能］を選択する

❶〈▲〉ボタン・〈▼〉ボタンを押し、［管理呼機能］を選択する。
❷〈選択〉ボタンを押し、選択する。



2. 管理呼機能画面で［有］［無］のいずれかを選択する

❶〈▲〉ボタン・〈▼〉ボタンを押し、［有］［無］を選択する。
❷〈確定〉ボタンを押し、確定する。



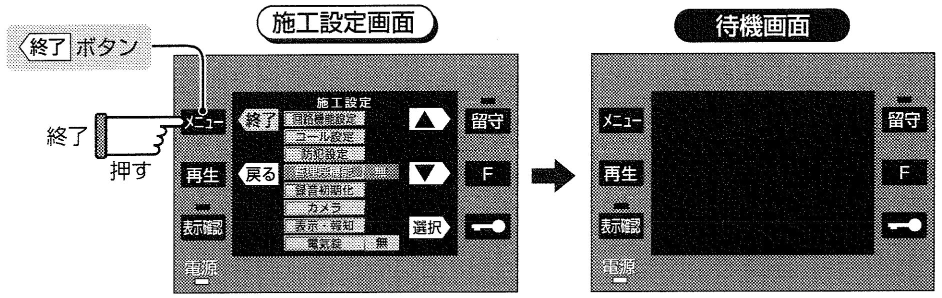
●住戸から管理室(統合盤または警報監視盤)への呼び出しができるかできないかを設定します。

有	住戸から管理室(統合盤または警報監視盤)への呼び出しができます。
無	住戸から管理室(統合盤または警報監視盤)への呼び出しはできません。

注 統合盤または警報監視盤側で呼び出せる住戸を限定している場合は、住戸から管理室(統合盤または警報監視盤)を呼び出せません。
(統合盤または警報監視盤に付属の設定マニュアルを参照してください。)

3. 設定を終了する

●〈終了〉ボタンを押し、待機画面(画面に何も表示されていない状態)にする。



録音初期化

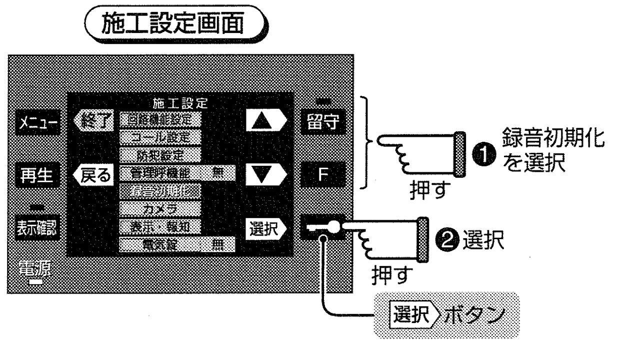
●録音データをすべて消去し、録音の設定を出荷時状態に戻します。
注 統合盤または警報監視盤側からでも全住戸の録音データを全て消去し、録音の設定を出荷時の状態に戻すこともできます。

操作方法

SHVT27312W SHVT27612W	SHVT27352W SHVT27652W	SHVB 27612W	SHVB 27652W	SHV 13311W	SHV 63115W
●	●	●	●	―	―

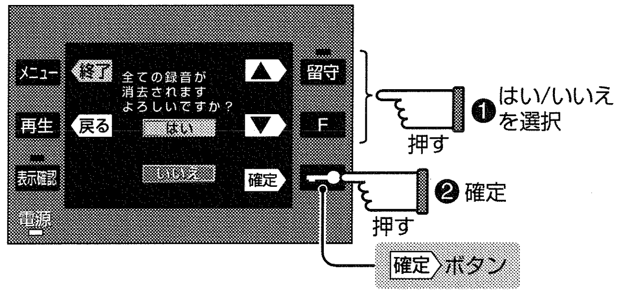
1. 施工設定画面の［録音初期化］を選択する

❶〈▲〉ボタン・〈▼〉ボタンを押し、［録音初期化］を選択する。
❷〈選択〉ボタンを押し、選択する。



2. ［はい］［いいえ］のいずれかを選択する

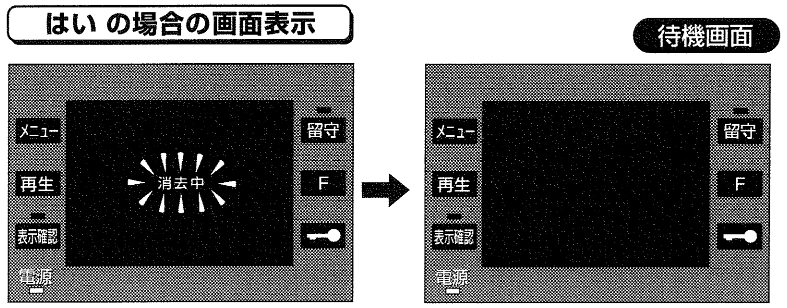
❶〈▲〉ボタン・〈▼〉ボタンを押し、［はい］［いいえ］を選択する。
❷〈確定〉ボタンを押し、確定する。



3. ［はい］の設定(［はい］を選択した場合)

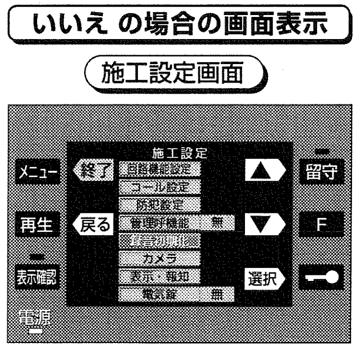
●画面に「消去中」が点滅表示される。

録音データを全て消去すると待機画面(画面に何も表示されていない状態)になる



3. ［いいえ］の設定(［いいえ］を選択した場合)

●施工設定画面に戻る。



カメラ設定

操作方法

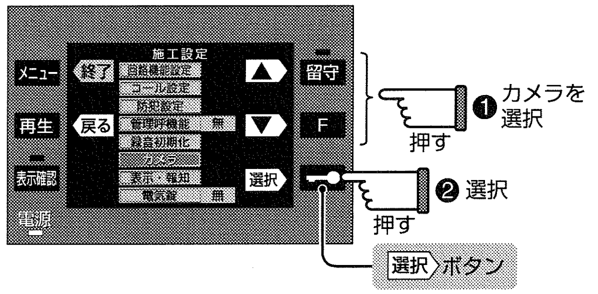
SHVT27312W SHVT27612W	SHVT27352W SHVT27652W	SHVB 27612W	SHVB 27652W	SHV 13311W	SHV 63115W
●	●	●	●	――	――

1. 施工設定画面の カメラ を選択する

❶ ▲ ボタン・▼ ボタンを押し、カメラ を選択する。

❷ 選択 ボタンを押し、選択する。

施工設定画面



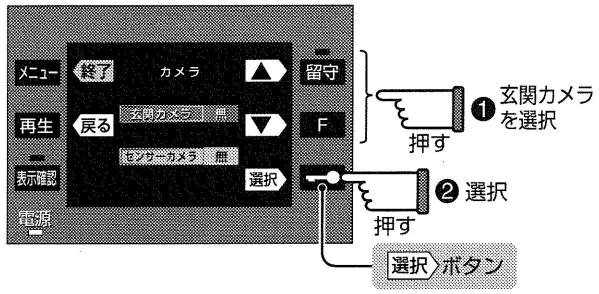
玄関カメラ

2. カメラ画面の 玄関カメラ を選択する

❶ ▲ ボタン・▼ ボタンを押し、玄関カメラ を選択する。

❷ 選択 ボタンを押し、選択する。

カメラ画面



3. 玄関カメラ画面で 有 無 のいずれかを選択する

❶ ▲ ボタン・▼ ボタンを押し、有 無 を選択する。

❷ 確定 ボタンを押し、確定する。

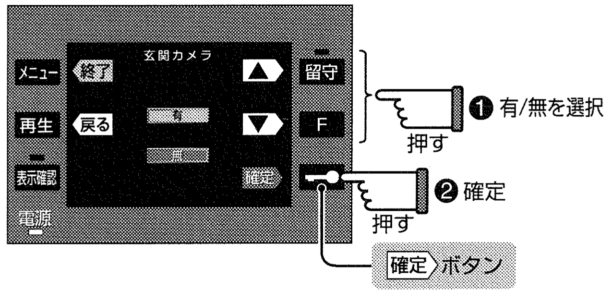
●カラーカメラ付ドアホン子器を接続するか接続しないかを設定します。

有	カラーカメラ付ドアホン子器が接続されている場合に設定します。
無	カラーカメラ付ドアホン子器が接続されていない場合に設定します。

注 カラーカメラ付ドアホン子器を接続していて、「無」に設定した場合、呼び出し・通話時にカメラ映像を画面に表示しません。

▼ 玄関カメラを選択した場合を示します。

玄関カメラ画面



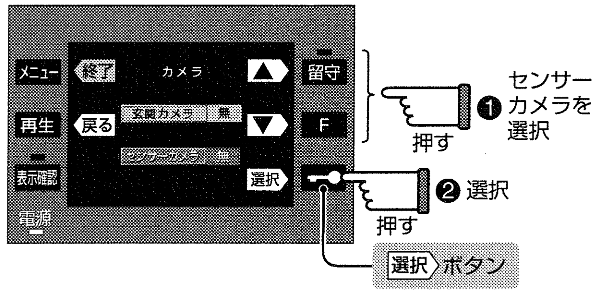
センサーカメラ

4. カメラ画面で センサーカメラ を選択する

❶ ▲ ボタン・▼ ボタンを押し、センサーカメラ を選択する。

❷ 選択 ボタンを押し、選択する。

カメラ画面



5. センサーカメラ画面で 有ー連動 有ー単独 無 のいずれかを選択する

❶ ▲ ボタン・▼ ボタンを押し、有ー連動 有ー単独 無 を選択する。

❷ 確定 ボタンを押し、確定する。

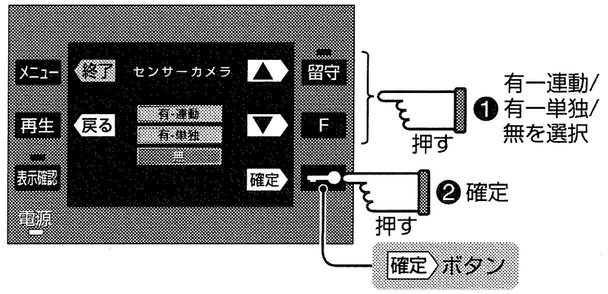
●カラーカメラ子器が接続されていて、ドアホン子器と連動させるか連動させないかを設定します。

有ー連動	カラーカメラ子器が動作したときにカメラ映像を画面に表示します。また、玄関(ドアホン子器)からの呼び出し・通話時にカラーカメラ子器のカメラ映像を継続して画面に表示します。
有ー単独	カラーカメラ子器が動作したときにカメラ映像を画面に表示します。ただし、玄関(ドアホン子器)からの呼び出し・通話時にカラーカメラ子器のカメラ映像を画面に表示しません。
無	カラーカメラ子器が接続されていない場合に設定します。

注 ●カラーカメラ子器を接続しない場合は、この設定を「無」にしてください。
●「玄関カメラ」(➡52ページ)の設定で「有」に設定している場合、「センサーカメラ」の設定を「有ー連動」「有ー単独」にはできません。

▼ センサーカメラを選択した場合を示します。

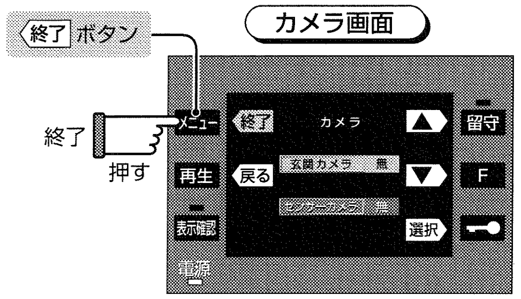
センサーカメラ画面



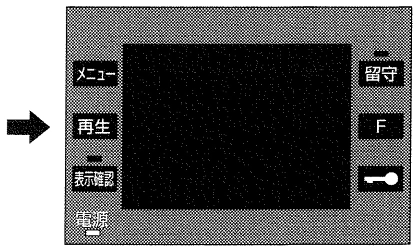
6. 設定を終了する

● 終了 ボタンを押し、待機画面(画面に何も表示されていない状態)にする。

カメラ画面



待機画面



表示・報知設定

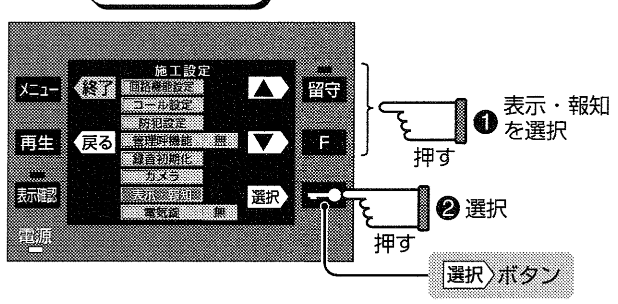
操作方法

SHVT27312W SHVT27612W	SHVT27352W SHVT27652W	SHVB 27612W	SHVB 27652W	SHV 13311W	SHV 63115W
●	●	●	●	――	――

1. 施工設定画面で 表示・報知 を選択する

❶ ▲ ボタン・▼ ボタンを押し、表示・報知 を選択する。
❷ 選択 ボタンを押し、選択する。

施工設定画面



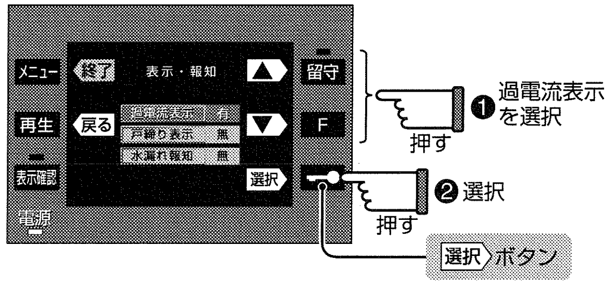
過電流表示

注 ●過電流表示は全住戸一括の設定の場合、統合盤または警報監視盤からの遠隔設定が可能です。詳細は統合盤または警報監視盤に付属の設定マニュアルを参照してください。
●全住戸一括での設定をしない場合は、住戸ごとの設定をしてください。

2. 表示・報知画面で 過電流表示 を選択する

❶ ▲ ボタン・▼ ボタンを押し、過電流表示 を選択する。
❷ 選択 ボタンを押し、選択する。

表示・報知画面

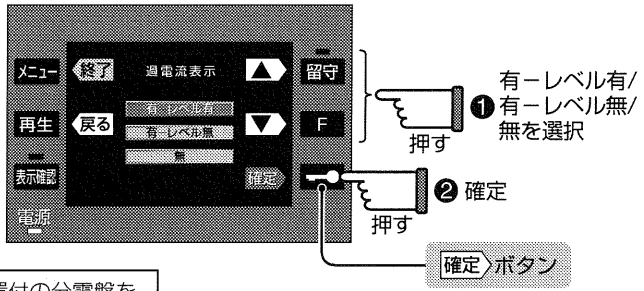


3. 過電流表示画面で 有－レベル有 有－レベル無 無 のいずれかを選択する

❶ ▲ ボタン・▼ ボタンを押し、有－レベル有 有－レベル無 無 を選択する。
❷ 確定 ボタンを押し、確定する。

▼ 過電流表示を選択した場合を示します。

過電流表示画面



●分電盤からの過電流警報を画面に表示するか表示しないかを設定します。

有－レベル有	データ出力型・5段階表示タイプ(Bタイプ)の過電流警報装置付の分電盤を接続する場合に設定します。
有－レベル無	フォトカプラ出力型・レベル表示なし(Aタイプ)の過電流警報装置付の分電盤を接続する場合に設定します。
無	過電流警報装置付の分電盤を接続しない場合に設定します。

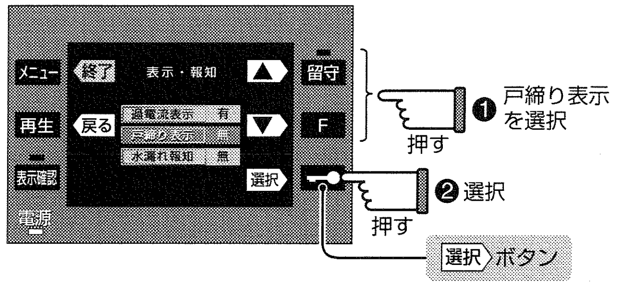
注 ●過電流警報装置付でない分電盤をお使いの場合は表示できません。
●過電流警報装置付の分電盤で3段階表示タイプのものは接続できません。

戸締り表示

4. 表示・報知画面で 戸締り表示 を選択する

❶ ▲ ボタン・▼ ボタンを押し、戸締り表示 を選択する。
❷ 選択 ボタンを押し、選択する。

表示・報知画面

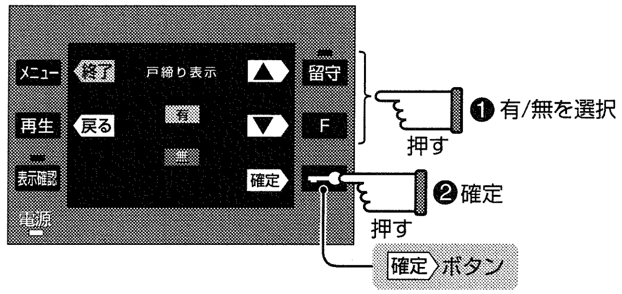


5. 戸締り表示画面で 有 無 のいずれかを選択する

❶ ▲ ボタン・▼ ボタンを押し、有 無 を選択する。
❷ 確定 ボタンを押し、確定する。

▼ 戸締り表示を選択した場合を示します。

戸締り表示画面



●親機の戸締り灯を点滅させるか点滅させないかを選択します。

有	マグネットスイッチを設置した窓などが開いているときに親機の戸締り灯を点滅させます。
無	マグネットスイッチを設置した窓などが開いているときに親機の戸締り灯を点滅させません。

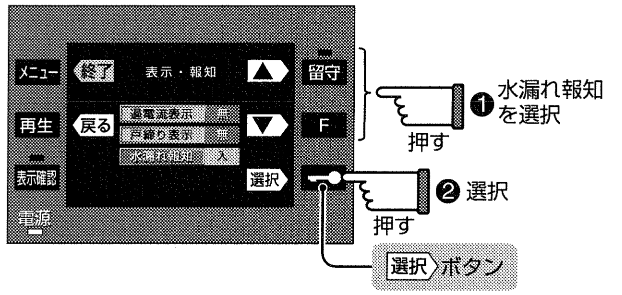
注 「有」に設定した場合、警戒操作キースイッチまたは警戒操作スイッチは接続できません。

水漏れ報知

6. 表示・報知画面で 水漏れ報知 を選択する

❶ ▲ ボタン・▼ ボタンを押し、水漏れ報知 を選択する。
❷ 選択 ボタンを押し、選択する。

表示・報知画面

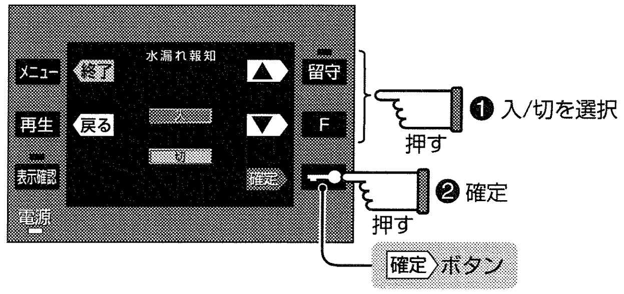


7. 水漏れ報知画面で 入 切 のいずれかを選択する

❶ ▲ ボタン・▼ ボタンを押し、入 切 を選択する。
❷ 確定 ボタンを押し、確定する。

▼ 水漏れ報知を選択した場合を示します。

水漏れ報知画面



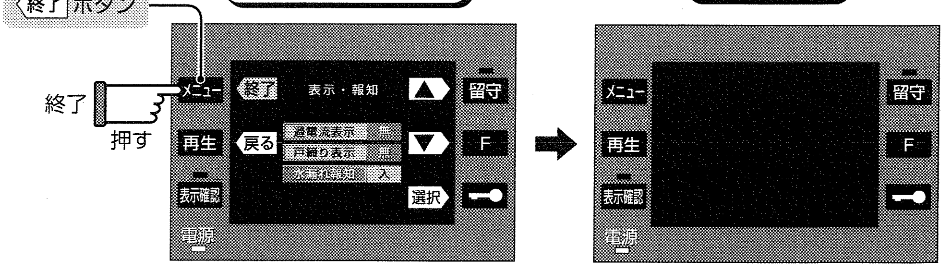
●水もれ警報時、親機・副親機・増設スピーカーから報知音を鳴らすか鳴らさないかを設定します。

入	水もれ警報時、親機・副親機・増設スピーカーから報知音が鳴ります。
切	水もれ警報時、親機・副親機・増設スピーカーから報知音が鳴りません。

8. 設定を終了する

● 終了 ボタンを押し、待機画面(画面に何も表示されていない状態)にする。

表示・報知画面　待機画面



電気錠(住戸玄関)設定

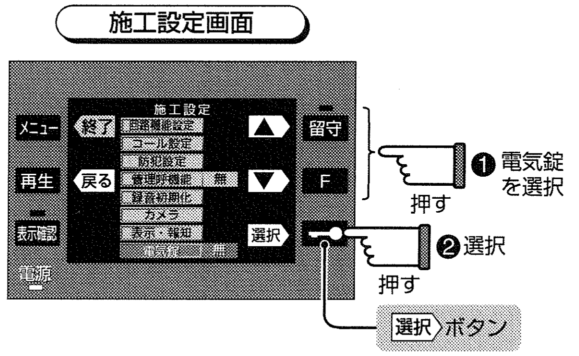
操作方法

SHVT27312W SHVT27612W	SHVT27352W SHVT27652W	SHVB 27612W	SHVB 27652W	SHV 13311W	SHV 63115W
●	●	●	●	—	—

注 ●電気錠(住戸玄関)設定は全住戸一括の設定の場合、統合盤または警報監視盤からの遠隔設定が可能です。
詳細は統合盤または警報監視盤に付属の設定マニュアルを参照してください。
●全住戸一括での設定をしない場合は、住戸ごとの設定をしてください。

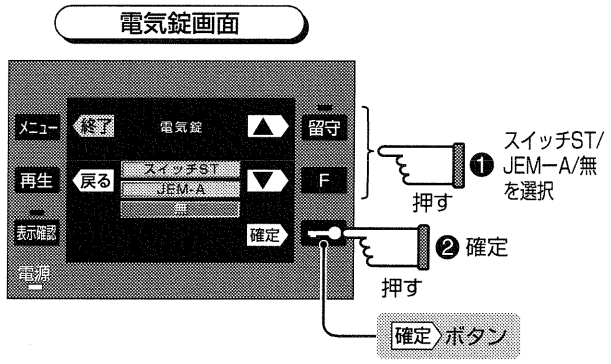
1. 施工設定画面の 電気錠 を選択する

❶ ▲ ボタン・▼ ボタンを押し、電気錠 を選択する。
❷ 選択 ボタンを押し、選択する。



2. 電気錠画面で スイッチST JEM−A 無 のいずれかを選択する

❶ ▲ ボタン・▼ ボタンを押し、スイッチST JEM−A 無 を選択する。
❷ 確定 ボタンを押し、確定する。

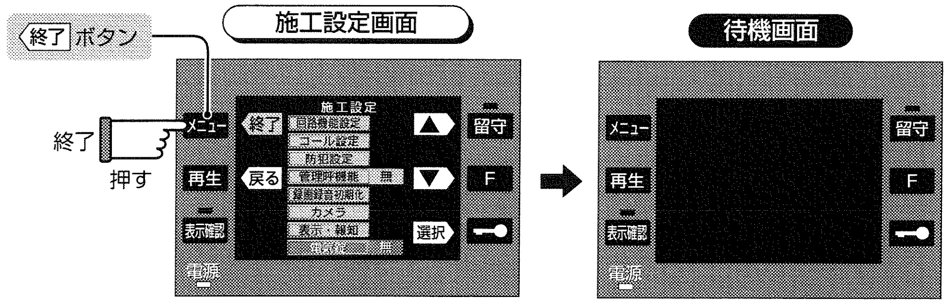


●接続する電気錠の種類に応じて設定します。

接続する電気錠の種類	内 容
スイッチST	スイッチストライクが接続されている場合に設定します。
JEM−A	JEM−A端子を使用した電気錠操作器が接続されている場合に設定します。
無	電気錠を使用しません。

3. 設定を終了する

● 終了 ボタンを押し、待機画面
(画面に何も表示されていない状態)にする。



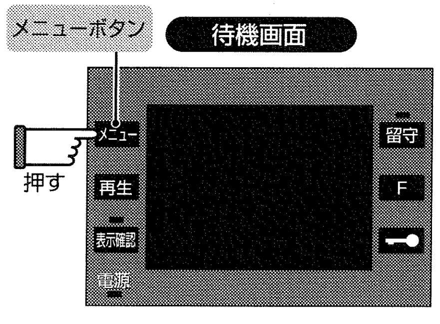
ユーザー設定を開始/終了するには

操作方法

注 30秒以上操作しない場合は待機状態に戻ります。

1. 待機状態でメニューボタンを押す

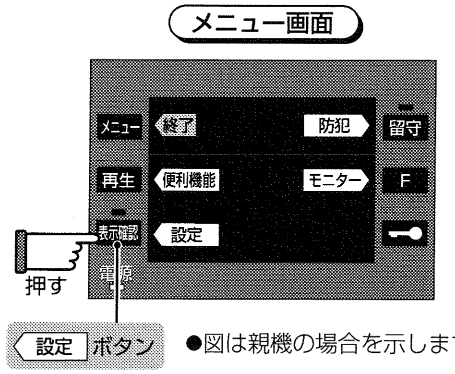
(待機状態=画面に何も表示されていない状態)



●図は親機の場合を示します。

2. 設定 ボタンを押す

注 ● 設定 ボタンを3秒以上押すと 施工設定画面 になります。
終了 ボタンを押して待機状態にしてください。

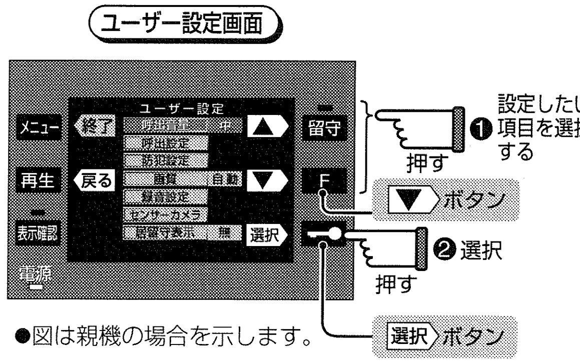


●図は親機の場合を示します。

3. 各項目の設定をする

➡ 58〜81ページ

注 モニター付副親機(SHV13311W)の場合、ユーザー設定画面はありませんので2.の操作のあと呼出音量の設定をしてください。

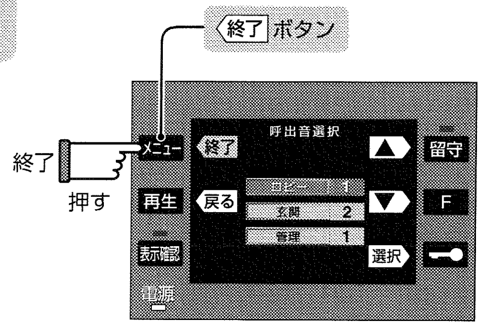


●図は親機の場合を示します。

4. 終了 ボタンを押す

●待機状態(画面に何も表示されていない状態)にする。

注 ●設定を変更した場合は各画面から待機状態に戻る間に「設定変更中」の画面になります。
●必ず 終了 ボタンを押して待機状態に戻してください。30秒以上操作せずに待機状態になった場合は設定変更されません。
最初から設定し直してください。



ユーザー(お客様)設定

●呼出音量や呼出音などをお好みに合わせて設定できます。

設定項目		設定内容	出荷時設定	ページ
呼出音量		共同玄関(ロビーインターホン)・玄関(カラーカメラ付ドアホン子器またはドアホン子器)・管理室(統合盤または警報監視盤)から呼ばれたときに親機・モニター付副親機から鳴る呼出音の音量を設定します。 注 **親機・モニター付副親機でそれぞれ設定できます。通話副親機については、商品底面の呼出音量切替スイッチで調整できます。**	中	▶ 59
呼出設定	呼出音選択	共同玄関(ロビーインターホン)・玄関(カラーカメラ付ドアホン子器またはドアホン子器)・管理室(統合盤または警報監視盤)から呼ばれたときに親機・副親機から鳴る呼出音を設定します。	ロビー:1(ポロロン) 玄関:2(ピンポン) 管理:1(ポロロン)	▶60~61
	引取り音	お引き取り機能を使用した場合に親機・モニター付副親機から鳴る引取り音を設定します。	1(電話の呼出音)	▶ 62
	一般放送鳴動	管理室からの一般放送を鳴動させるかどうかを設定します。	入	▶ 63
防犯設定	暗証番号	防犯警戒を解除するための暗証番号を設定します。	未設定	▶65~67
	ドアホン報知	外部防犯セットスイッチで防犯の警戒セット・警戒解除を行ったときに警戒セットの状態を玄関(カラーカメラ付ドアホン子器またはドアホン子器)からメッセージや報知音でお知らせする機能を設定します。 注 **外部防犯セットスイッチで防犯を警戒解除するには、「外部解除」(➡48ページ)および、必要に応じて、「警報中外部解除」(➡48ページ)を「可」に設定してください。**	切	▶68~69
画質		玄関(カラーカメラ付ドアホン子器またはカラーカメラ子器のカメラ映像を夜間など周囲が暗いとき、白黒映像で撮像するかカラー映像で撮像するかを設定します。	自動切替	▶ 70
録音設定	自動録音	留守設定時、共同玄関(ロビーインターホン)・玄関(カラーカメラ付ドアホン子器またはドアホン子器)・管理室(統合盤または警報監視盤)から呼ばれたとき、「応答メッセージを流したあとに録音する」か「録音しない」かを設定します。また、玄関(カラーカメラ付ドアホン子器またはドアホン子器)のみ応答メッセージを流さなくても録音することができます。	ロビー:有 玄関:有(メッセージ有) 管理:有	▶72~73
	応答メッセージ	留守設定時の応答メッセージを設定します。	固定メッセージ	▶74~77
	メッセージ音量	留守設定時、共同玄関(ロビーインターホン)・玄関(カラーカメラ付ドアホン子器またはドアホン子器)・管理室(統合盤または警報監視盤)に流す応答メッセージの音量を設定します。	中	▶78~79
センサーカメラ	センサー	カラーカメラ子器のセンサーセット状態を設定します。	防犯・留守連動	▶ 80
居留守表示		留守セットしていない状態で、来客から呼び出しがあったときに、画面上に居留守ボタンを表示させ、操作により留守応答をさせる機能を有効にするかどうかを設定します。	無	▶ 81

ユーザー設定(➡58~81ページ)

呼出音量を設定する

●共同玄関(ロビーインターホン)・玄関(カラーカメラ付ドアホン子器またはドアホン子器)・管理室(統合盤または警報監視盤)から呼ばれたときに親機・モニター付副親機から鳴る呼出音の音量を設定します。

注 **親機・モニター付副親機でそれぞれ設定できます。通話副親機については、商品底面の呼出音量切替スイッチで調整できます。**

注 **●通話音・警報音の音量調整はできません。**
●増設スピーカーの音量調整はできません。
(ただし「ステップ」に設定した場合、増設スピーカーの音量も同時に調整されます。)

●呼出メッセージ(コール(連絡)・戸締まり確認・防犯予備警報)は下記のように調整されます。

「大」「中」「小」に設定すると	音量に合わせて調整
「ステップ」「切」に設定すると	「小」の音量で鳴動

操作方法

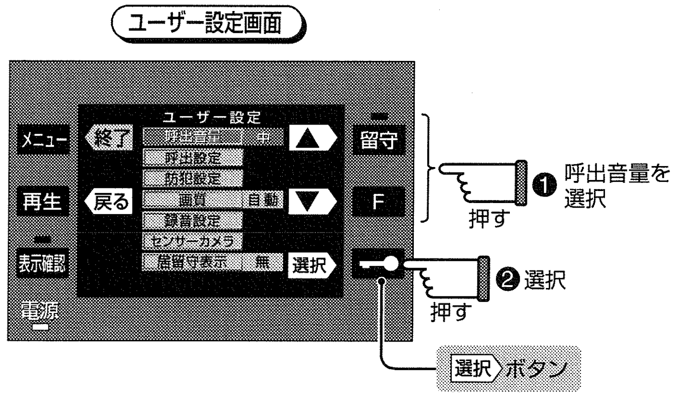
SHVT27312W SHVT27612W	SHVT27352W SHVT27652W	SHVB 27612W	SHVB 27652W	SHV 13311W	SHV 63115W
●	●	●	●	●	——

1. ユーザー設定画面の 呼出音量 を選択する

❶ ▲ボタン・▼ボタンを押し、呼出音量 を選択する。

❷ 選択ボタンを押し、選択する。

注 **モニター付副親機(SHV13311W)の場合、ユーザー設定画面はありませんので、2.・3.の操作で呼出音量の設定をしてください。**

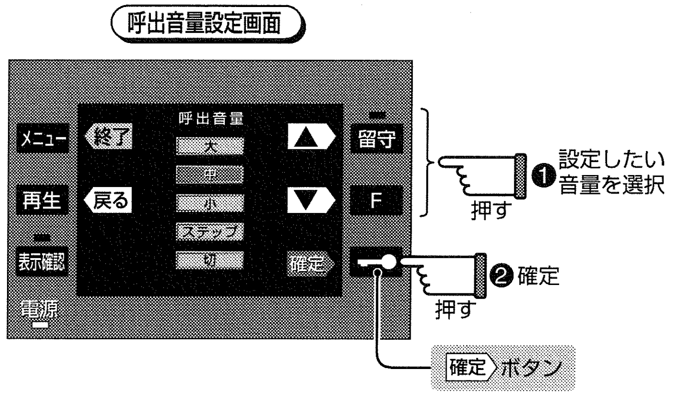


2. 呼出音量設定画面の 大 中 小 ステップ 切 のいずれかを選択する

呼出音の音量は 大 中 小 ステップ 切 のいずれかに設定できます。
ステップ :1フレーズずつ徐々に大きくなります。
切 :呼出音は鳴りません。

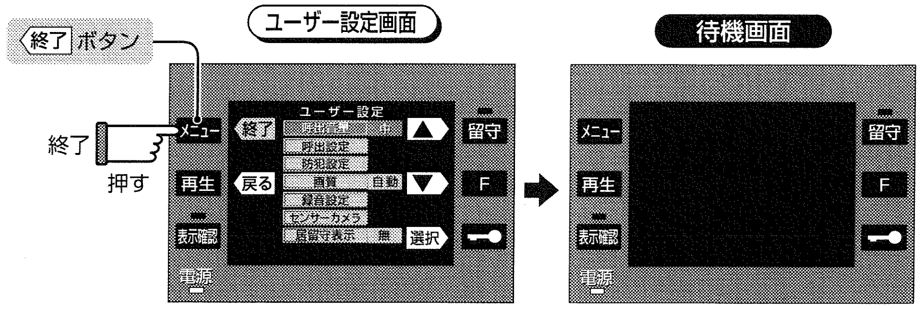
❶ ▲ボタン・▼ボタンを押し、大 中 小 ステップ 切 を選択する。

❷ 確定ボタンを押し、確定する。



3. 設定を終了する

●終了ボタンを押し、待機画面(画面に何も表示されていない状態)にする。



呼出音を設定する

●共同玄関(ロビーインターホン)・玄関(カラーカメラ付ドアホン子器またはドアホン子器)・管理室(統合盤または警報監視盤)から呼ばれたときに親機・副親機から鳴る呼出音を設定します。
呼出音は、共同玄関・玄関・管理室でそれぞれ設定できます。

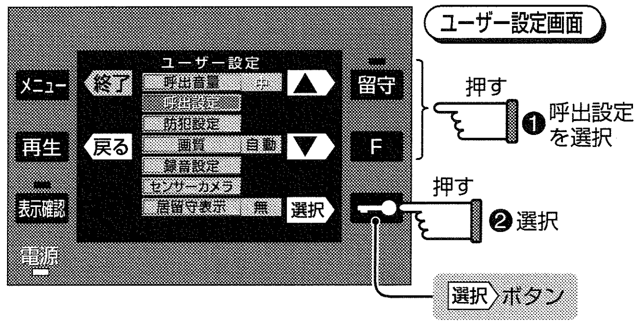
注 親機で設定した呼出音が、モニター付副親機・通話副親機から鳴動します。モニター付副親機・通話副親機では設定できません。

操作方法

SHVT27312W SHVT27612W	SHVT27352W SHVT27652W	SHVB 27612W	SHVB 27652W	SHV 13311W	SHV 63115W
●	●	●	●	——	——

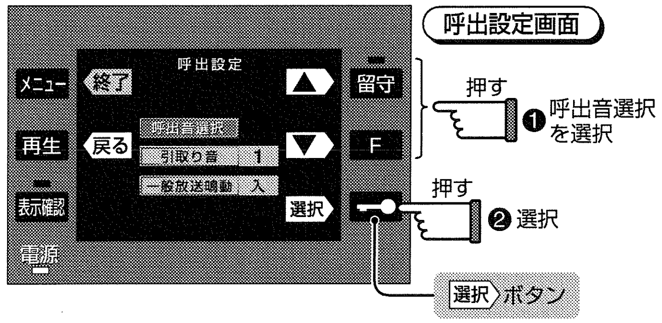
1. ユーザー設定画面の 呼出設定 を選択する

❶ ▲ ボタン・▼ ボタンを押し、呼出設定 を選択する。
❷ 選択 ボタンを押し、選択する。



2. 呼出設定画面の 呼出音選択 を選択する

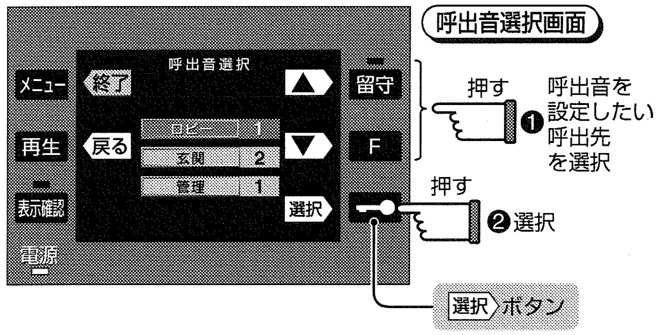
❶ ▲ ボタン・▼ ボタンを押し、呼出音選択 を選択する。
❷ 選択 ボタンを押し、選択する。



3. 呼出音選択画面の ロビー 玄関 管理 のいずれかを選択する

❶ ▲ ボタン・▼ ボタンを押し、ロビー 玄関 管理 を選択する。
❷ 選択 ボタンを押し、選択する。

ロビー	共同玄関からの呼出音を設定する場合
玄　関	玄関からの呼出音を設定する場合
管　理	管理室からの呼出音を設定する場合



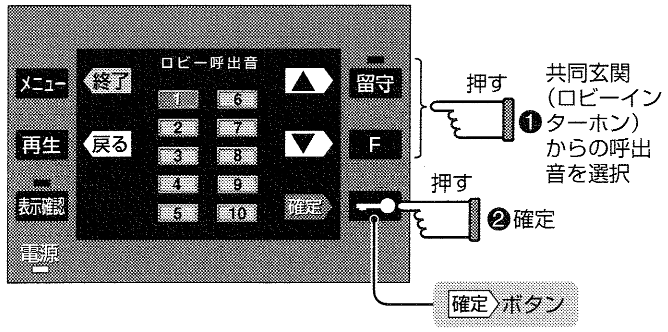
4. 1 ～ 10 のいずれかを選択する

❶ ▲ ボタン・▼ ボタンを押し、1 ～ 10 を選択する。
❷ 確定 ボタンを押し、確定する。

注 番号に合わせると、その番号に設定されている音色が鳴ります。お好みの音色に合わせて設定してください。

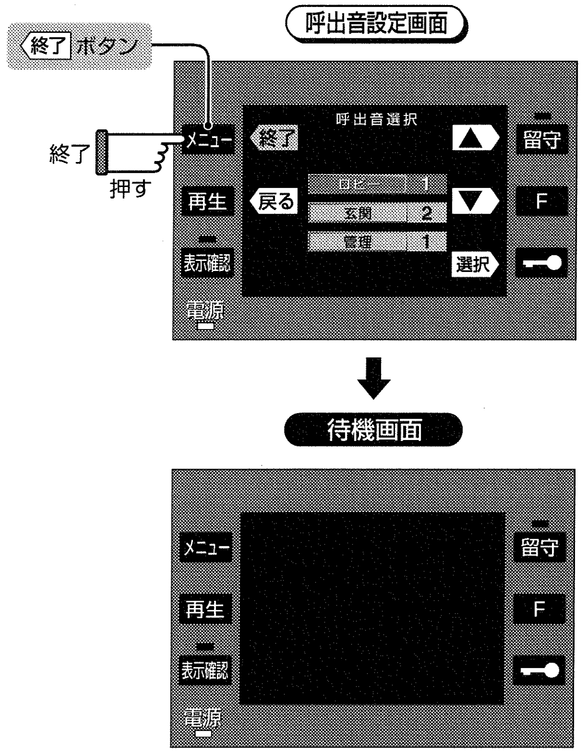
注 続けて玄関・管理室の呼出音を設定する場合は、3.・4.の操作を繰り返してください。

▼ロビーを選択した場合を示します。



5. 設定を終了する

● 終了 ボタンを押し、待機画面(画面に何も表示されていない状態)にする。



引取り音を設定する

●お引き取り機能を使用した場合に親機・モニター付副親機から鳴る引取り音を設定します。
（お引き取り機能 ➡ 取扱説明書を参照）

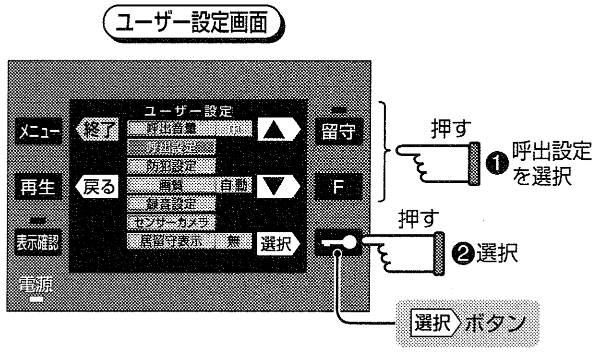
注 親機で設定した引取り音が、モニター付副親機から鳴動します。モニター付副親機では設定できません。

操作方法

SHVT27312W SHVT27612W	SHVT27352W SHVT27652W	SHVB 27612W	SHVB 27652W	SHV 13311W	SHV 63115W
●	●	●	●	—	—

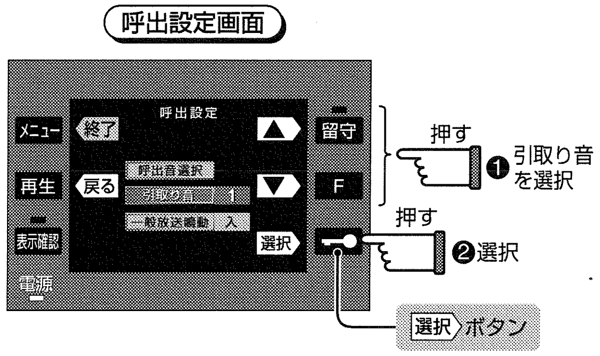
1. ユーザー設定画面の 呼出設定 を選択する

❶ ▲ ボタン・▼ ボタンを押し、呼出設定 を選択する。
❷ 選択 ボタンを押し、選択する。



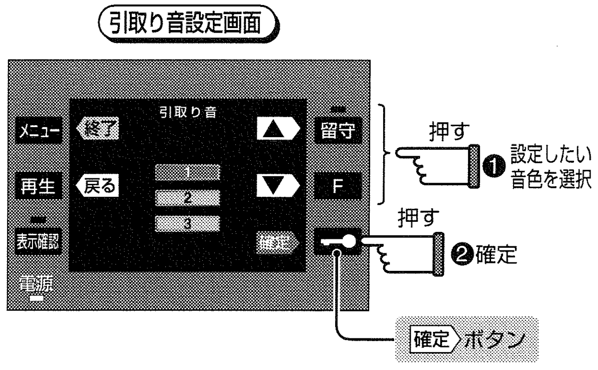
2. 呼出設定画面の 引取り音 を選択する

❶ ▲ ボタン・▼ ボタンを押し、引取り音 を選択する。
❷ 選択 ボタンを押し、選択する。



3. 引取り音設定画面の 1 2 3 のいずれかを選択する

❶ ▲ ボタン・▼ ボタンを押し、1 2 3 を選択する。
❷ 確定 ボタンを押し、確定する。



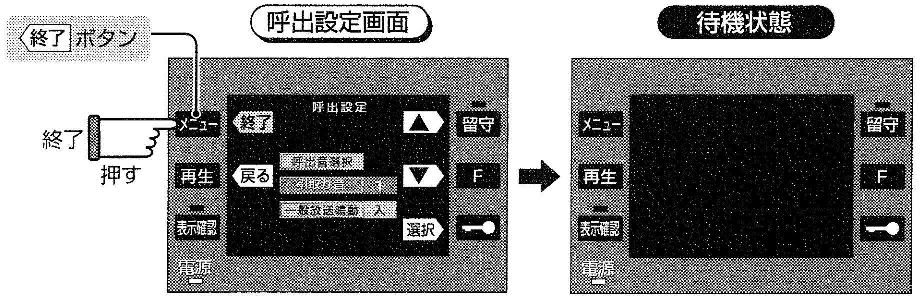
●設定番号の内容

設定番号	引取り音の種類
1	電話の呼出音
2	電話の呼出音
3	赤ちゃんの泣き声

注 番号に合わせると、その番号に設定されている音色が鳴ります。お好みの音色に合わせて設定してください。

4. 設定を終了する

● 終了 ボタンを押し、待機画面（画面に何も表示されていない状態）にする。



一般放送鳴動を設定する

●管理室からの一般放送を鳴動させるかどうかを設定します。

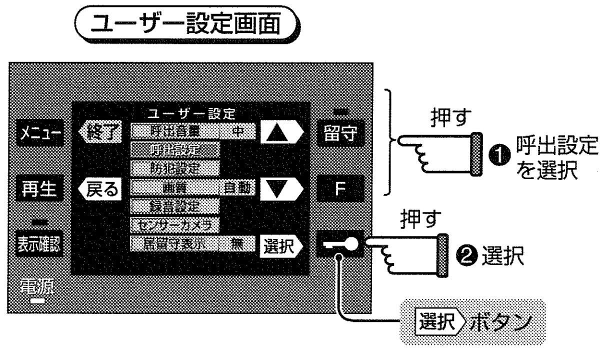
注 この設定の「入」「切」に関係なく、緊急放送は必ず親機、増設スピーカーから放送が聞こえます。
ただし、通話副親機は機能設定により、鳴動させることができます。（➡31ページ参照）

操作方法

SHVT27312W SHVT27612W	SHVT27352W SHVT27652W	SHVB 27612W	SHVB 27652W	SHV 13311W	SHV 63115W
●	●	●	●	—	—

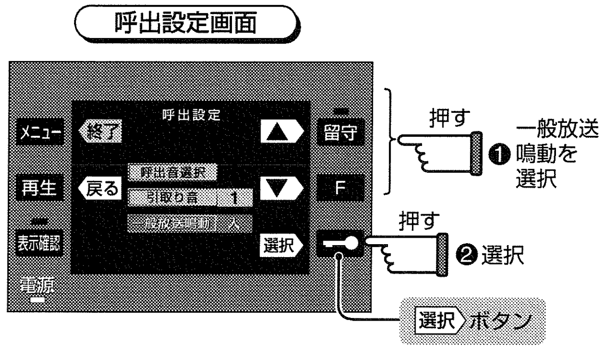
1. ユーザー設定画面の 呼出設定 を選択する

❶ ▲ ボタン・▼ ボタンを押し、呼出設定 を選択する。
❷ 選択 ボタンを押し、選択する。



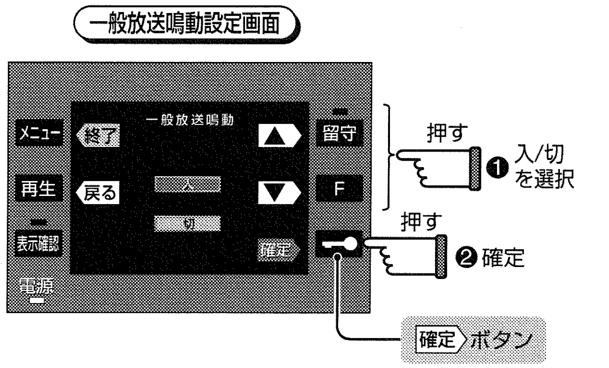
2. 呼出設定画面の 一般放送鳴動 を選択する

❶ ▲ ボタン・▼ ボタンを押し、一般放送鳴動 を選択する。
❷ 選択 ボタンを押し、選択する。



3. 一般放送鳴動設定画面の 入 切 のいずれかを選択する

❶ ▲ ボタン・▼ ボタンを押し、入 切 を選択する。
❷ 確定 ボタンを押し、確定する。

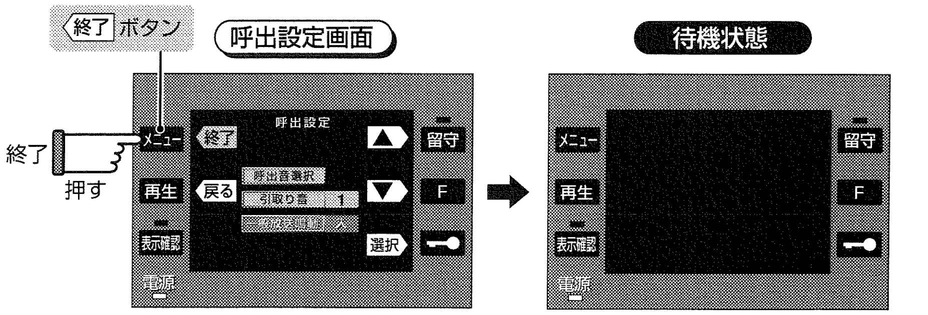


入	親機、増設スピーカーから放送が聞こえます。
切	親機、増設スピーカーから放送が聞こえません。

※放送内容は自動的に録音します。（一般放送 ➡ 取扱説明書参照）
※通話副親機の機能設定を放送鳴動「有」（「ON」側）に設定している場合は、入 で通話副親機からも放送が聞えるようになります。（➡31ページ参照）

4. 設定を終了する

● 終了 ボタンを押し、待機画面（画面に何も表示されていない状態）にする。



MEMO

防犯警戒解除のための暗証番号を設定する

●防犯警戒を解除するための暗証番号を設定します。

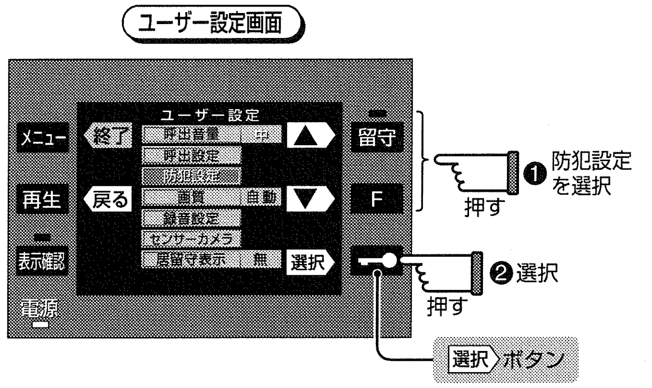
注
●防犯警報機能がない場合は設定できません。
●防犯警戒をセットしている状態では暗証番号を設定・変更することはできません。
暗証番号の設定および変更は防犯警戒を解除してから行ってください。
●暗号番号は「1」「2」「3」「4」の4つの数字の組み合わせによる4ケタの暗証番号設定となります。

操作方法

SHVT27312W SHVT27612W	SHVT27352W SHVT27652W	SHVB 27612W	SHVB 27652W	SHV 13311W	SHV 63115W
●	●	●	●	―	―

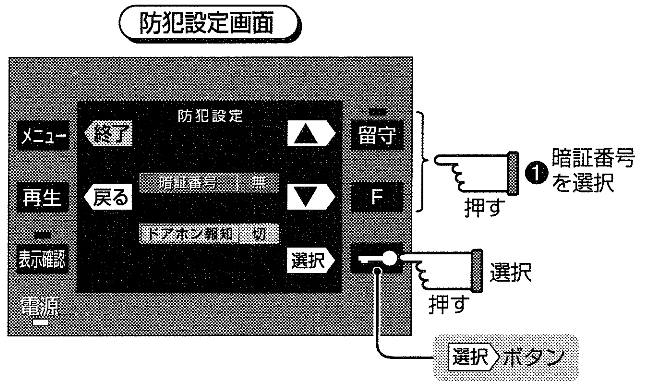
1. ユーザー設定画面の 防犯設定 を選択する

❶ ▲ ボタン・▼ ボタンを押し、防犯設定 を選択する。
❷ 選択 ボタンを押し、選択する。



2. 防犯設定画面の 暗証番号 を選択する

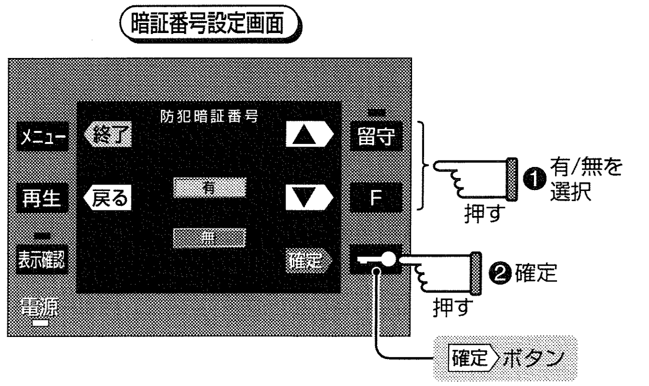
❶ ▲ ボタン・▼ ボタンを押し、暗証番号 を選択する。
❷ 選択 ボタンを押し、選択する。



3. 暗証番号設定画面の 有 無 のいずれかを選択する

❶ ▲ ボタン・▼ ボタンを押し、有 無 を選択する。
❷ 確定 ボタンを押し、確定する。

注 無 を確定した場合、2.の防犯設定画面に戻ります。



66ページ 4. へつづく

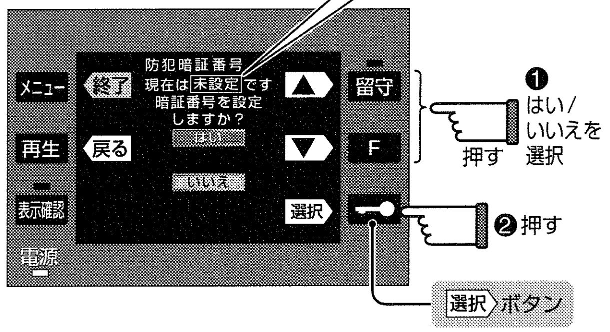
4. 暗証番号 有 の設定（有 を選択した場合）

❶ ▲ ボタン・▼ ボタンを押し、はい いいえ を選択する。

❷ 選択 ボタンを押し、選択する。

有 の場合の画面表示

注 出荷時は「未設定」を、以前に暗証番号が設定されている場合は設定されている暗証番号を表示します。



「はい」を選択した場合

① はい の設定（はい を選択）

例）暗証番号「1・4・2・3」に設定する

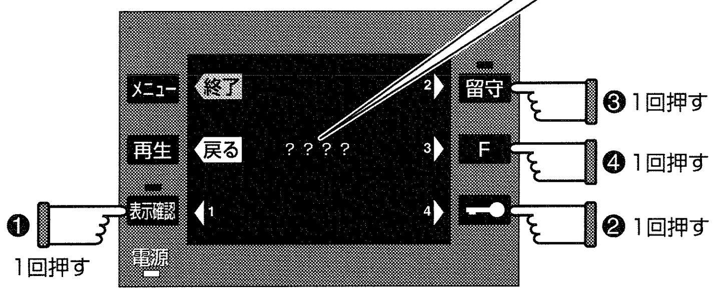
❶ 暗証番号4ケタを入力する。
◀1ボタン・▶4 ボタン・▶2ボタン・▶3ボタンを押す。

注 入力を間違った場合、〈戻る〉ボタンを押すと、前の数字の入力に戻ります。

❷ 4ケタの暗証番号が入力されると②の画面になる。

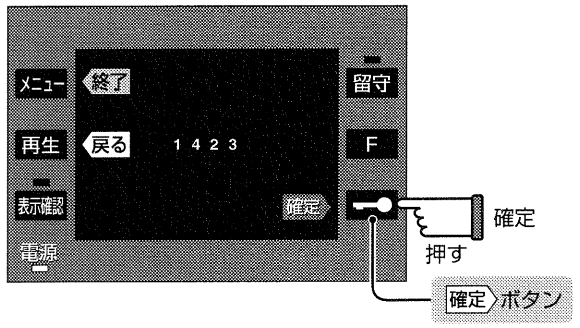
はい の場合の画面表示

画面中央の「????」部分に入力した暗証番号が表示されます。



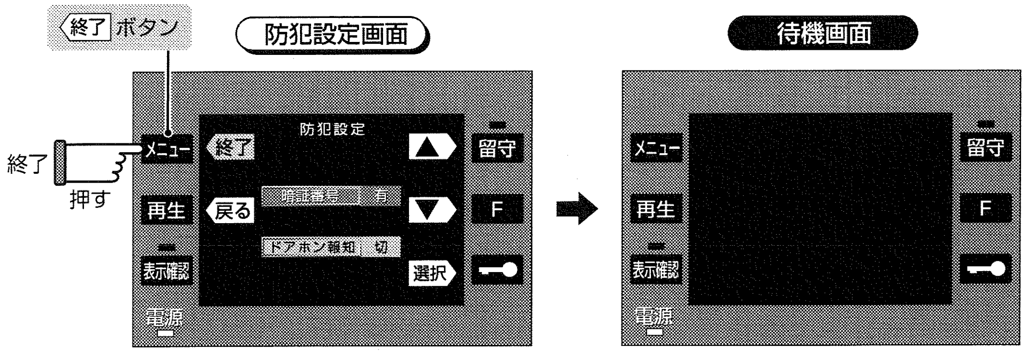
② 暗証番号を決定する

● 確定 ボタンを押す。



③ 設定を終了する

● 〈終了〉ボタンを押し、待機画面（画面に何も表示されていない状態）にする。



「いいえ」を選択した場合

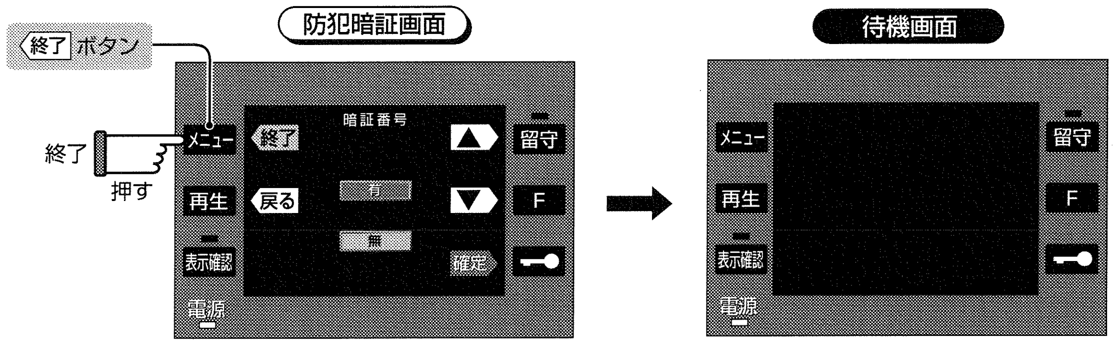
いいえ の設定（いいえ を選択）

●設定を終了する。

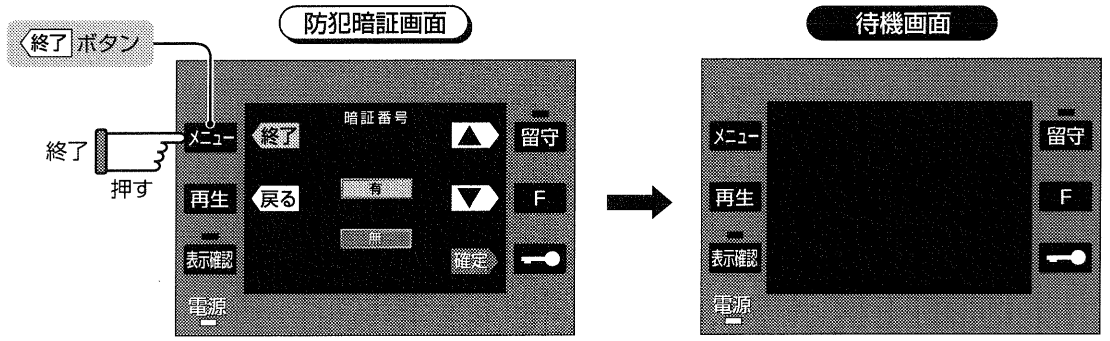
●〈終了〉ボタンを押し、待機画面（画面に何も表示されていない状態）にする。

いいえ の場合の画面表示

▼暗証番号が設定されている場合



▼暗証番号が設定されていない場合



ドアホン報知を設定する

●外部防犯セットスイッチで防犯の警戒セット・警戒解除を行ったときに警戒セットの状態を玄関(カラーカメラ付ドアホン子器またはドアホン子器)からメッセージや報知音でお知らせする機能を設定します。

注 外部防犯セットスイッチで防犯を警戒解除するには、「外部解除」(➡48ページ)および必要に応じて、「警報中外部解除」(➡48ページ)を「可」に設定してください。

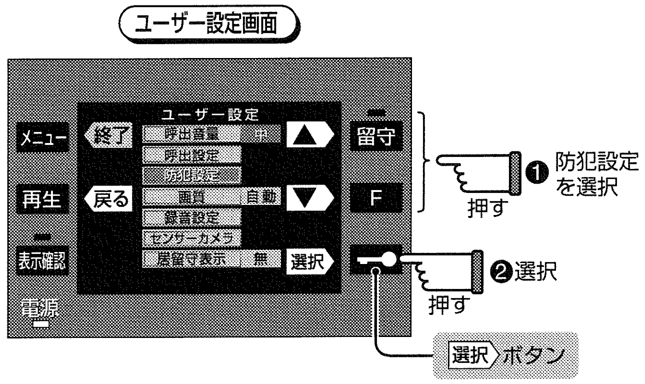
操作方法

SHVT27312W SHVT27612W	SHVT27352W SHVT27652W	SHVB 27612W	SHVB 27652W	SHV 13311W	SHV 63115W
●	●	●	●	—	—

1. ユーザー設定画面の 防犯設定 を選択する

❶ ▲ ボタン・▼ ボタンを押し、防犯設定 を選択する。

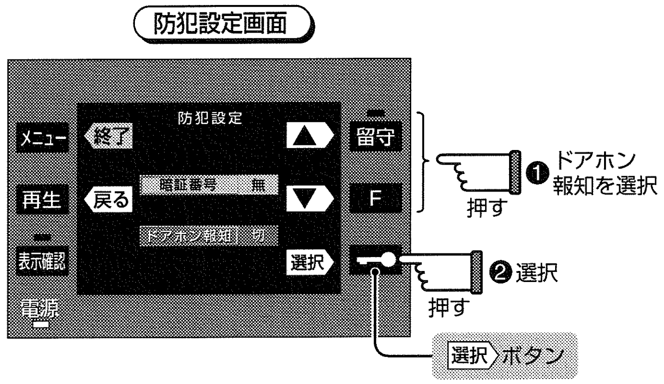
❷ 選択 ボタンを押し、選択する。



2. 防犯設定画面の ドアホン報知 を選択する

❶ ▲ ボタン・▼ ボタンを押し、ドアホン報知 を選択する。

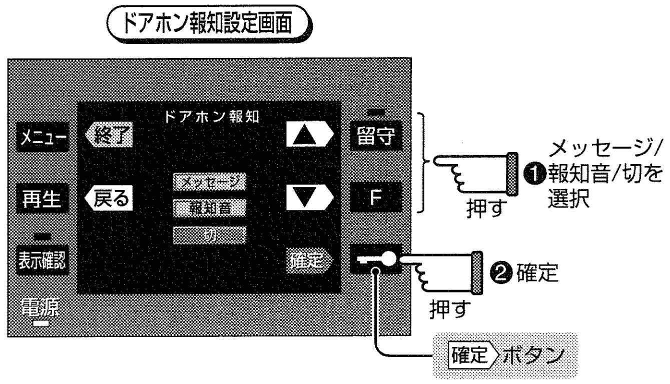
❷ 選択 ボタンを押し、選択する。



3. ドアホン報知設定画面の メッセージ 報知音 切 のいずれかを選択する

❶ ▲ ボタン・▼ ボタンを押し、メッセージ 報知音 切 を選択する。

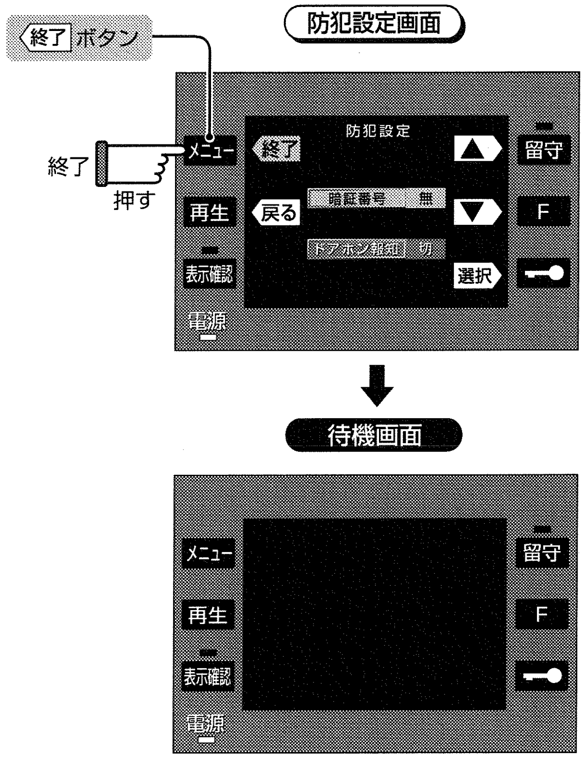
❷ 確定 ボタンを押し、確定する。



メッセージ	玄関(カラーカメラ付ドアホン子器またはドアホン子器)からメッセージが流れます。 警戒セット時：警戒状態にはいりました。 戸締まり警戒時：戸締まりを確認してください。 警戒解除時：警戒状態を解除しました。
報知音	玄関(カラーカメラ付ドアホン子器またはドアホン子器)から報知音が鳴動します。 警戒セット時：ピー 戸締まり警戒時：ピピピ 警戒解除時：ピッ
切	玄関(カラーカメラ付ドアホン子器またはドアホン子器)からメッセージ・報知音は鳴動しません。

4. 設定を終了する

●終了 ボタンを押し、待機画面(画面に何も表示されていない状態)にする。



画質を設定する

●玄関(カラーカメラ付ドアホン子器またはカラーカメラ子器)から呼ばれたときや、玄関まわりなどの様子を見るときの親機の画質を設定します。

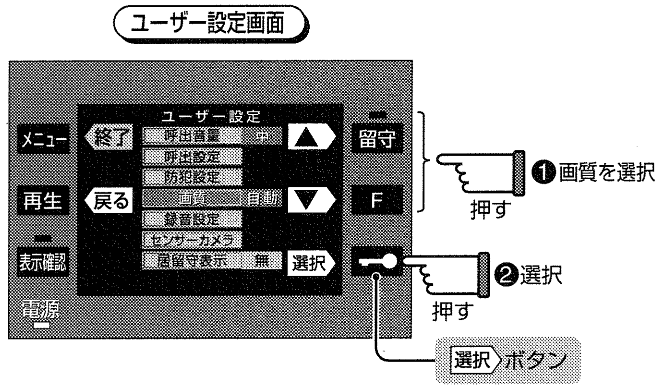
操作方法

SHVT27312W SHVT27612W	SHVT27352W SHVT27652W	SHVB 27612W	SHVB 27652W	SHV 13311W	SHV 63115W
●	●	●	●	──	──

1. ユーザー設定画面の 画 質 を選択する

❶ ▲ ボタン・▼ ボタンを押し、画 質 を選択する。

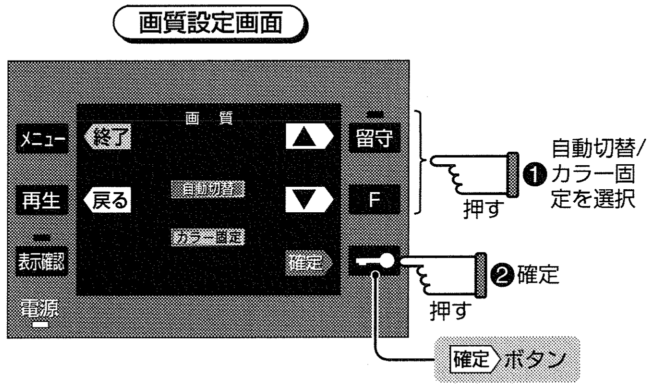
❷ 選択 ボタンを押し、選択する。



2. 画質設定画面の 自動切替 カラー固定 の いずれかを選択する

❶ ▲ ボタン・▼ ボタンを押し、自動切替 カラー固定 を選択する。

❷ 確定 ボタンを押し、確定する。



自動切替

●カラー映像で撮像します。ただし、周囲が暗くなるとカラーカメラ付ドアホン子器は自動的に内蔵の赤外線照明を点灯させて撮像します。(淡いカラー映像)
しかし、周囲が常に暗い場所では、ほぼ白黒映像になります。
〔赤外線照明の照射距離が約50cmのため、それ以上離れている背景などは映し出しません。〕

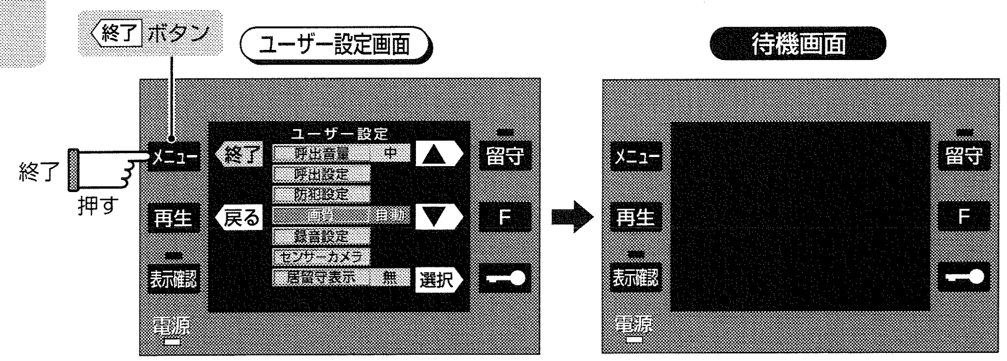
●カラーカメラ子器の場合は、周囲が暗すぎると画面が真っ黒になることがあります。
(赤外線照明は点灯しません。)
(最低被写体照度は30ルクス以上必要です。)

カラー固定

●常にカラー映像で撮像します。ただし、周囲が暗すぎる場合、画面が真っ暗になることがあります。
(赤外線照明は点灯しません。)
〔常にカラー映像で撮像するためには被写体照度は50ルクス以上必要です。〕

3. 設定を終了する

● 終了 ボタンを押し、待機画面(画面に何も表示されていない状態)にする。



MEMO

自動録音を設定する

●留守設定時、共同玄関(ロビーインターホン)・玄関(カラーカメラ付ドアホン子器またはドアホン子器)・管理室(統合盤または警報監視盤)から呼ばれたとき、「応答メッセージを流したあとに録音する」か「録音しない」かを設定します。また、玄関(カラーカメラ付ドアホン子器またはドアホン子器)のみ応答メッセージを流さなくても録音することができます。(自動録音の設定は共同玄関・玄関・管理室でそれぞれ設定できます。)

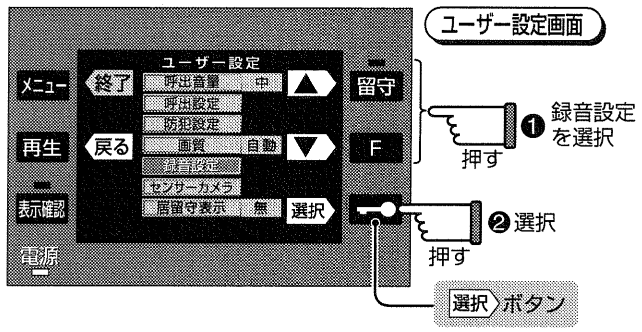
注 1件あたりの録音時間は約14秒で、実際の録音できる件数は、取扱説明書の「録音仕様」(➡126ページ)を参照してください。保存された録音データがある場合は、保存データ数だけ録音可能数が減ります。

操作方法

SHVT27312W SHVT27612W	SHVT27352W SHVT27652W	SHVB 27612W	SHVB 27652W	SHV 13311W	SHV 63115W
●	●	●	●	—	—

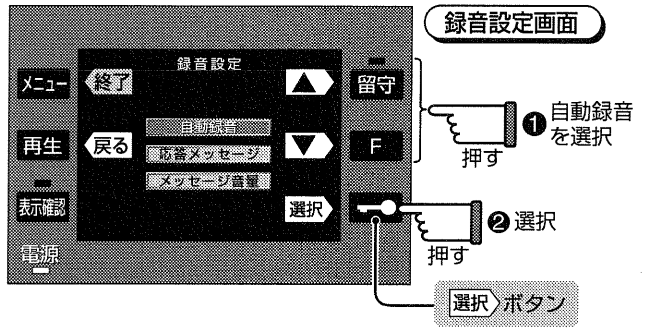
1. ユーザー設定画面の 録音設定 を選択する

❶ ▲ ボタン・▼ ボタンを押し、録音設定 を選択する。
❷ 選択 ボタンを押し、選択する。



2. 録音設定画面の 自動録音 を選択する

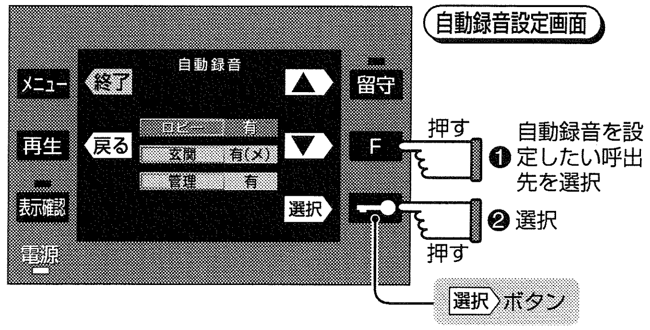
❶ ▲ ボタン・▼ ボタンを押し、自動録音 を選択する。
❷ 選択 ボタンを押し、選択する。



3. 自動録音設定画面の ロビー 玄関 管理 のいずれかを選択する

❶ ▲ ボタン・▼ ボタンを押し、ロビー 玄関 管理 を選択する。
❷ 選択 ボタンを押し、選択する。

▼ロビーを選択した場合を示します。



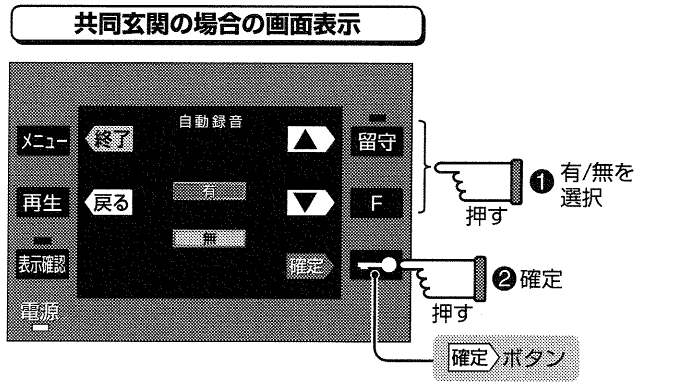
●自動録音を設定したい呼出先の設定

ロビー	留守設定時、共同玄関からの留守録音の有/無を設定する場合
玄　関	留守設定時、玄関からの留守録音の有(応答メッセージ有)/有(応答メッセージ無)/無を設定する場合
管　理	留守設定時、管理室からの留守録音の有/無を設定する場合

4. 共同玄関の設定(ロビー を選択した場合)

❶ ▲ ボタン・▼ ボタンを押し、有 無 を選択する。
❷ 確定 ボタンを押し、確定する。

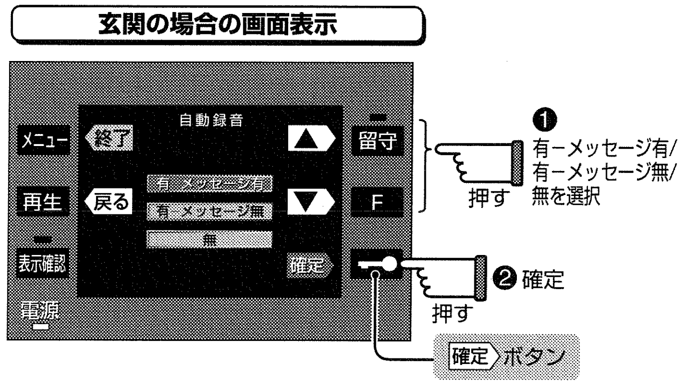
有	留守設定時、共同玄関(ロビーインターホン)から呼ばれたとき応答メッセージを流したあと録音します。
無	留守設定時、録音しません。



●玄関の設定(玄関 を選択した場合)

❶ ▲ ボタン・▼ ボタンを押し、有ーメッセージ有 有ーメッセージ無 無 を選択する。
❷ 確定 ボタンを押し、確定する。

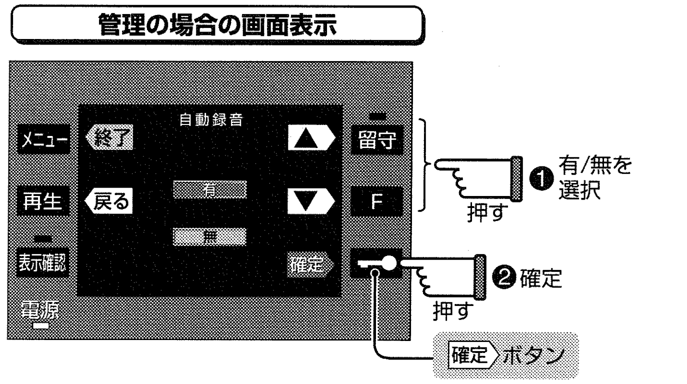
有ーメッセージ有	留守設定時、玄関(カラーカメラ付ドアホン子器またはドアホン子器)から呼ばれたとき応答メッセージを流したあと録音します。
有ーメッセージ無	留守設定時、玄関(カラーカメラ付ドアホン子器またはドアホン子器)から呼ばれたとき応答メッセージを流さずに録音します。
無	留守設定時、録音しません。



●管理室の設定(管理 を選択した場合)

❶ ▲ ボタン・▼ ボタンを押し、有 無 を選択する。
❷ 確定 ボタンを押し、確定する。

有	留守設定時、管理室(統合盤または警報監視盤)から呼ばれたとき応答メッセージを流したあと録音します。
無	留守設定時、録音しません。

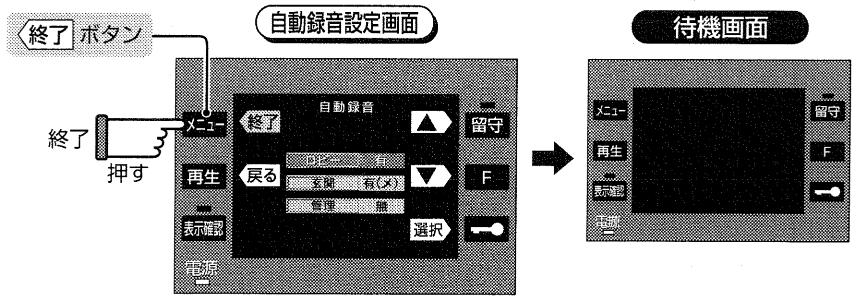


注 続けて玄関・管理の自動録音の設定をしたい場合は、3.・4.の操作を繰り返してください。

5. 設定を終了する

● 終了 ボタンを押し、待機画面(画面に何も表示されていない状態)にする。

▼ロビーを選択した場合を示します。



応答メッセージを設定する

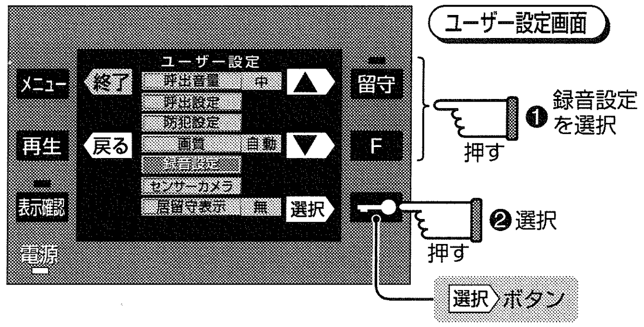
●留守設定時、共同玄関（ロビーインターホン）・玄関（カラーカメラ付ドアホン子器またはドアホン子器）・管理室（統合盤または警報監視盤）から流れる応答メッセージを設定します。
〔応答メッセージは、共同玄関・玄関・管理室とも同じです。〕

操作方法

SHVT27312W SHVT27612W	SHVT27352W SHVT27652W	SHVB 27612W	SHVB 27652W	SHV 13311W	SHV 63115W
●	●	●	●	――	――

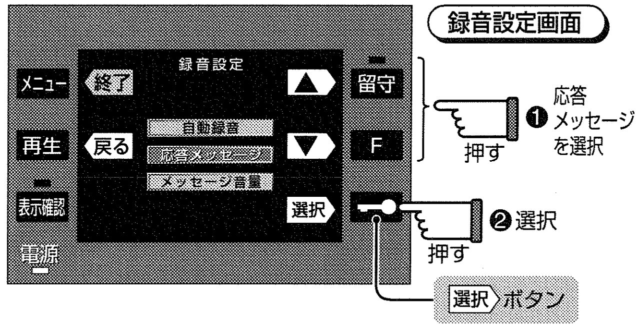
1. ユーザー設定画面の 録音設定 を選択する

❶〈▲〉ボタン・〈▼〉ボタンを押し、録音設定 を選択する。
❷〈選択〉ボタンを押し、選択する。



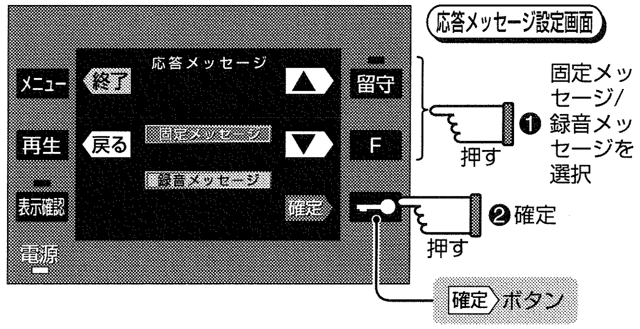
2. 録音設定画面の 応答メッセージ を選択する

❶〈▲〉ボタン・〈▼〉ボタンを押し、応答メッセージ を選択する。
❷〈選択〉ボタンを押し、選択する。



3. 応答メッセージ設定画面で 固定メッセージ 録音メッセージ のいずれかを選択する

❶〈▲〉ボタン・〈▼〉ボタンを押し、固定メッセージ 録音メッセージ を選択する。
❷〈確定〉ボタンを押し、確定する。



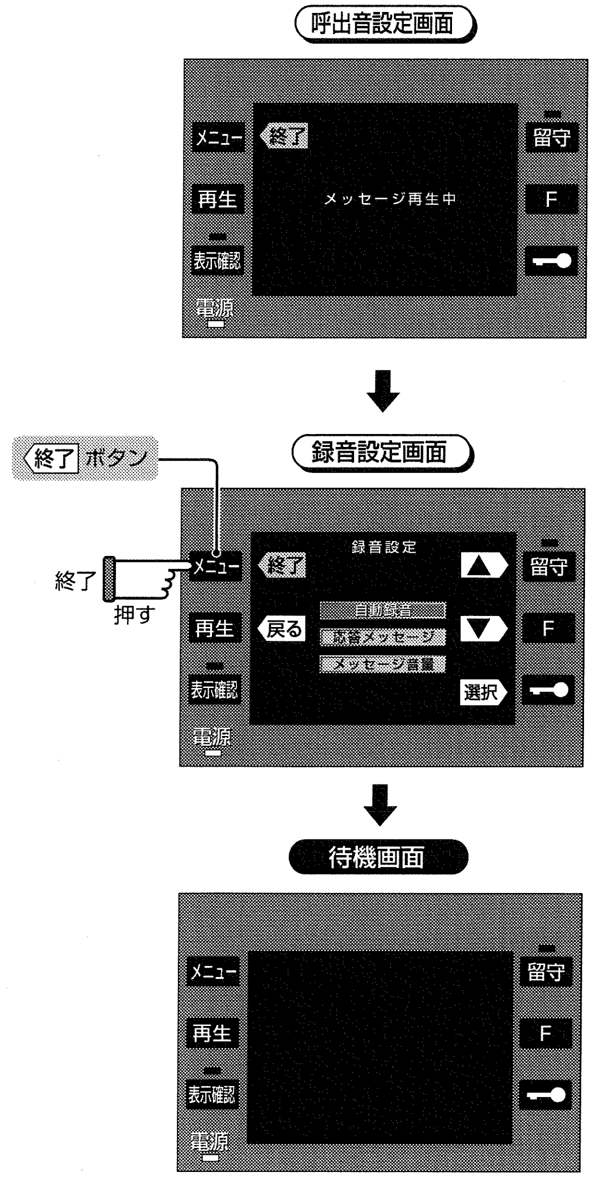
固定メッセージ	「ただいま出られません。ご用の方は、ピーと鳴りましたらお名前とご用件をお話しください。」 ㊟ 固定メッセージは変更できません。
録音メッセージ	お客様の声で録音してください。録音時間は約8秒間です。 ㊟ ●防犯上、明らかに留守をイメージさせるような応答メッセージは、録音しないでください。 ●まわりを静かにして録音してください。 ●共同玄関（ロビーインターホン）・玄関（カラーカメラ付ドアホン子器またはドアホン子器）・管理室（統合盤または警報監視盤）からの応答メッセージの音量は人と親機との距離によって変わります。録音する声が小さいと聞こえにくくなったり、大きすぎると声がわれることがあります。

4. 固定メッセージ

固定メッセージが再生される

再生終了後、録音設定画面になる

●〈終了〉ボタンを押し、待機画面（画面に何も表示されていない状態）にする。



76ページ 5. へつづく

5. 録音メッセージ

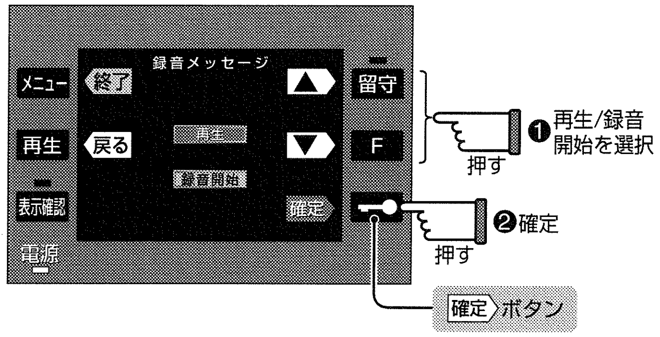
録音メッセージ設定画面で 再生 録音開始 のいずれかを選択する

●応答メッセージを録音するには 録音開始
●録音した応答メッセージを聞くには 再生

❶ ▲ ボタン・▼ ボタンを押し、再生 録音開始 を選択する。
❷ 確定 ボタンを押し、確定する。

録音メッセージの場合の画面表示

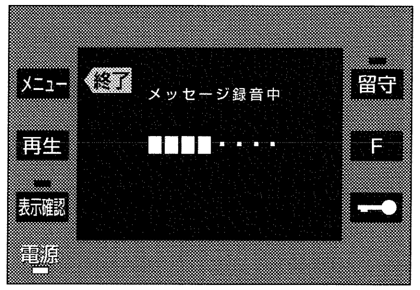
録音メッセージ設定画面



録音開始 を選択した場合
① 録音を開始する

注 ●録音メッセージは1件しか録音できません。録音開始を確定すると以前に録音した録音メッセージは消去されます。
●録音時間は約8秒間です。

録音開始の場合の画面表示

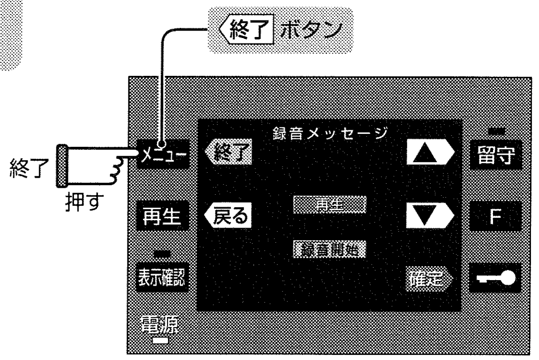


注
録音中の表示は「・」1つが1秒で表示され、1秒経過ごとに「■」が表示されます。

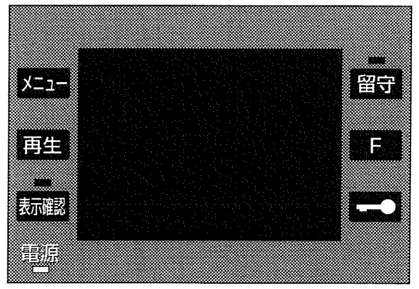
② メッセージ録音終了後、録音メッセージ設定画面になる

●終了 ボタンを押し、待機画面
(画面に何も表示されていない状態)にする。

録音メッセージ設定画面

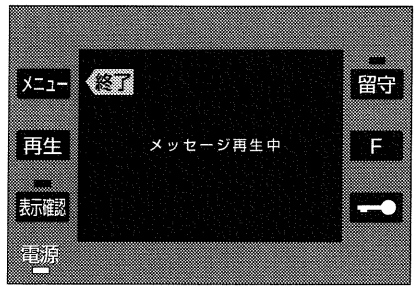


待機画面



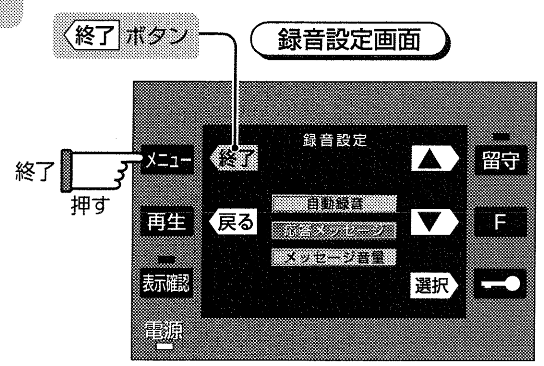
再生 を選択した場合
① 録音した応答メッセージが再生される

再生の場合の画面表示

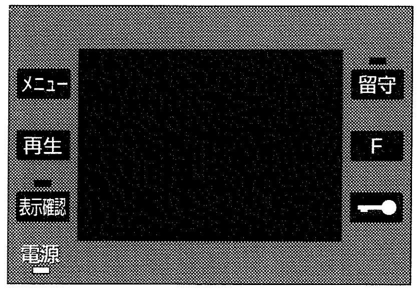


② 再生終了後、録音設定画面になる

●終了 ボタンを押し、待機画面
(画面に何も表示されていない状態)にする。



待機画面



メッセージ音量を設定する

●留守設定時、共同玄関(ロビーインターホン)・玄関(カラーカメラ付ドアホン子器またはドアホン子器)・管理室(統合盤または警報監視盤)に流す、応答メッセージの音量を設定します。

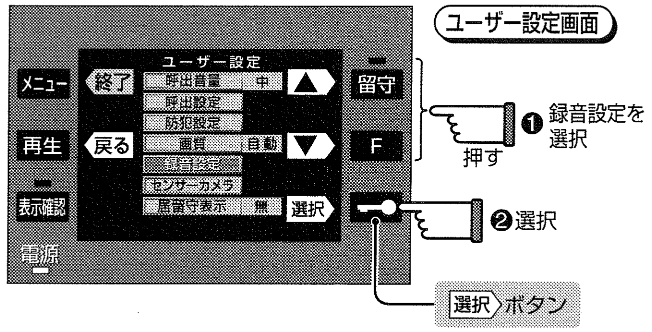
操作方法

SHVT27312W SHVT27612W	SHVT27352W SHVT27652W	SHVB 27612W	SHVB 27652W	SHV 13311W	SHV 63115W
●	●	●	●	—	—

1. ユーザー設定画面の 録音設定 を選択する

❶ ▲ ボタン・▼ ボタンを押し、録音設定 を選択する。

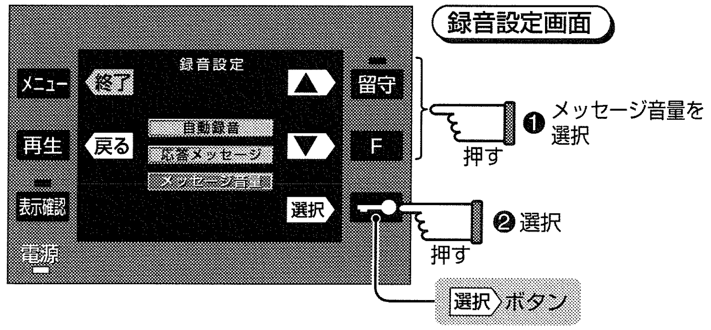
❷ 選択 ボタンを押し、選択する。



2. 録音設定画面の メッセージ音量 を選択する

❶ ▲ ボタン・▼ ボタンを押し、メッセージ音量 を選択する。

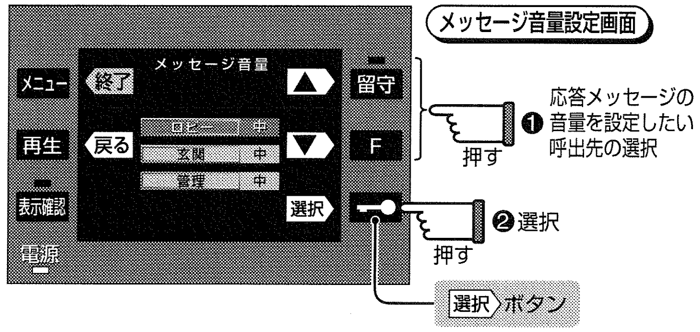
❷ 選択 ボタンを押し、選択する。



3. メッセージ音量設定画面で ロビー 玄関 管理 のいずれかを選択する

❶ ▲ ボタン・▼ ボタンを押し、ロビー 玄関 管理 を選択する。

❷ 選択 ボタンを押し、選択する。



ロビー	留守設定時、共同玄関に流す応答メッセージの音量を設定する場合
玄 関	留守設定時、玄関に流す応答メッセージの音量を設定する場合
管 理	留守設定時、管理室に流す応答メッセージの音量を設定する場合

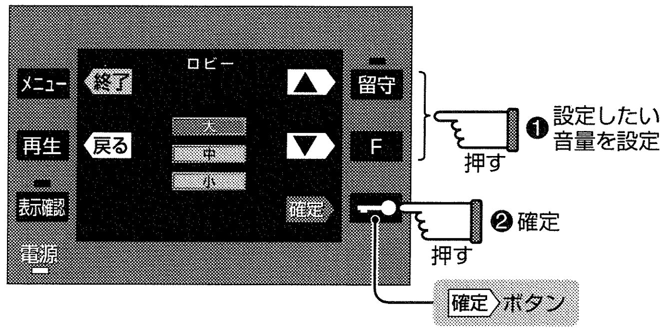
4. 大 中 小 のいずれかを選択する

応答メッセージの音量は 大 中 小 のいずれかに設定できます。

❶ ▲ ボタン・▼ ボタンを押し、大 中 小 を選択する。

❷ 確定 ボタンを押し、確定する。

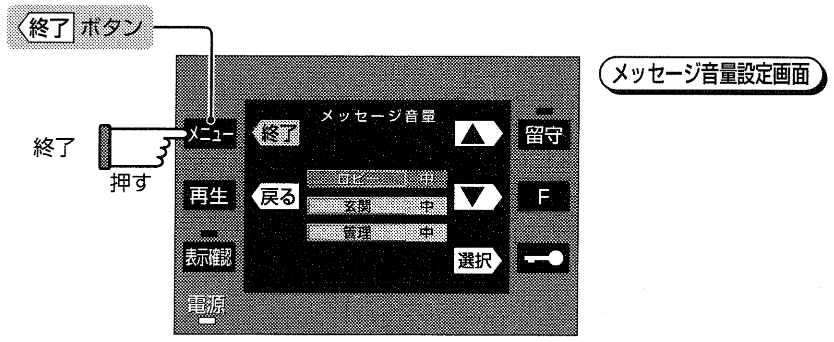
▼ロビーを選択した場合

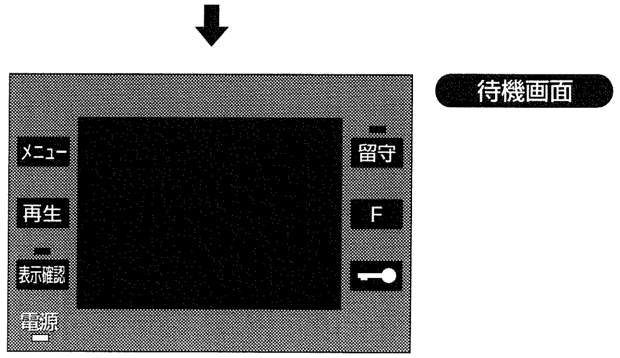


注: 続けて玄関・管理室の応答メッセージの音量を設定する場合は3.・4.の操作を繰り返してください。

5. 設定を終了する

● 終了 ボタンを押し、待機画面(画面に何も表示されていない状態)にする。





カラーカメラ子器のセンサーセット状態を設定する

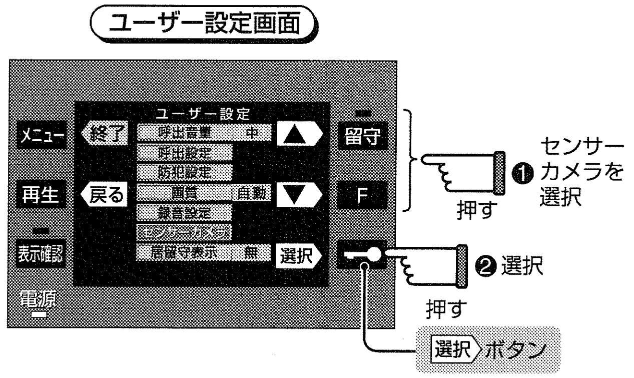
●カラーカメラ子器のセンサーセット状態を設定します。

操作方法

SHVT27312W SHVT27612W	SHVT27352W SHVT27652W	SHVB 27612W	SHVB 27652W	SHV 13311W	SHV 63115W
●	●	●	●	—	—

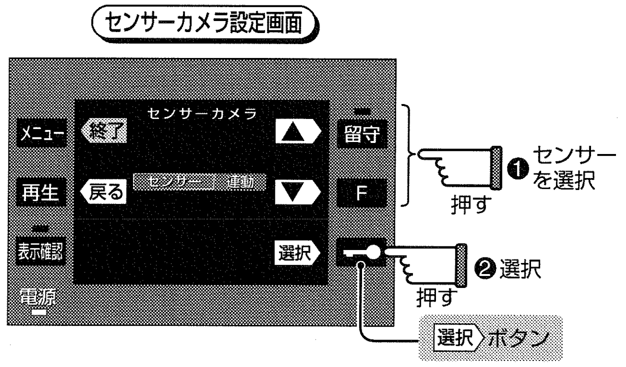
1. ユーザー設定画面の センサーカメラ を選択する

❶ ▲ ボタン・▼ ボタンを押し、センサーカメラ を選択する。
❷ 選択 ボタンを押し、選択する。



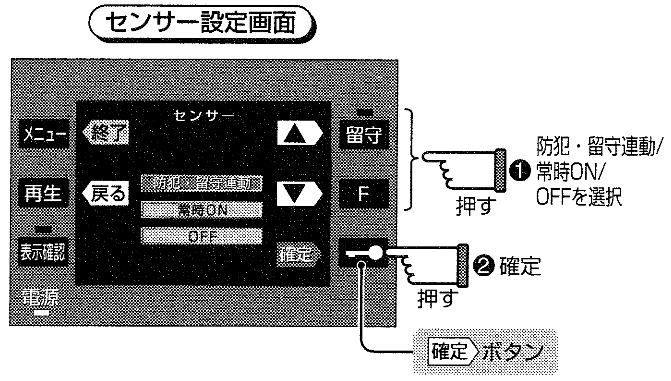
2. センサーカメラ設定画面の センサー を選択する

❶ ▲ ボタン・▼ ボタンを押し、センサー を選択する。
❷ 選択 ボタンを押し、選択する。



3. センサー設定画面の 防犯・留守連動 常時ON OFF のいずれかを選択する

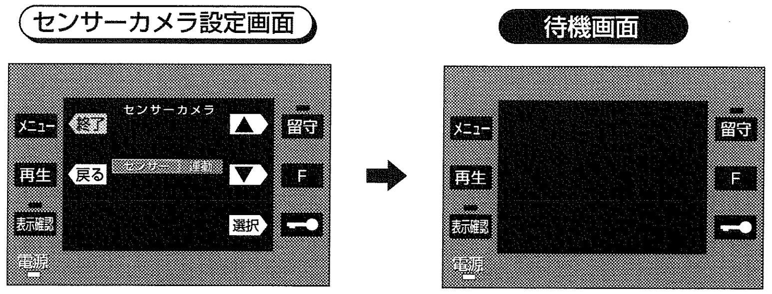
❶ ▲ ボタン・▼ ボタンを押し、防犯・留守連動 常時ON OFF を選択する。
❷ 確定 ボタンを押し、確定する。



防犯・留守連動	カラーカメラ子器のセンサーセットを防犯・留守セット時に連動します。
常時ON	カラーカメラ子器のセンサーを常時、セット状態にします。
OFF	カラーカメラ子器のセンサーを解除状態にします。

4. 設定を終了する

● 終了 ボタンを押し、待機画面(画面に何も表示されていない状態)にする。



居留守表示を設定する

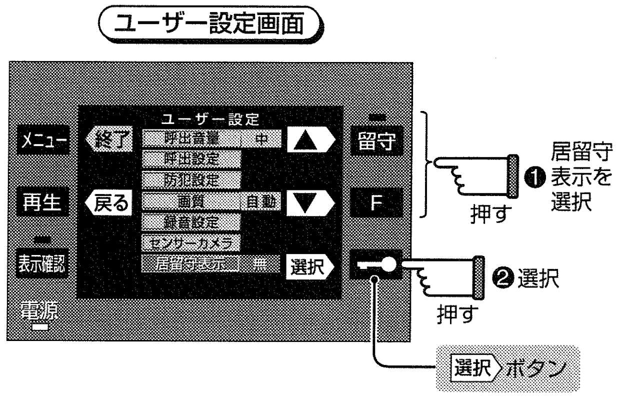
●留守セットしていない状態で、来客から呼び出しがあったときに画面上に居留守ボタンを表示させ、操作により留守応答をさせる機能を有効にするかどうかを設定します。

操作方法

SHVT27312W SHVT27612W	SHVT27352W SHVT27652W	SHVB 27612W	SHVB 27652W	SHV 13311W	SHV 63115W
●	●	●	●	—	—

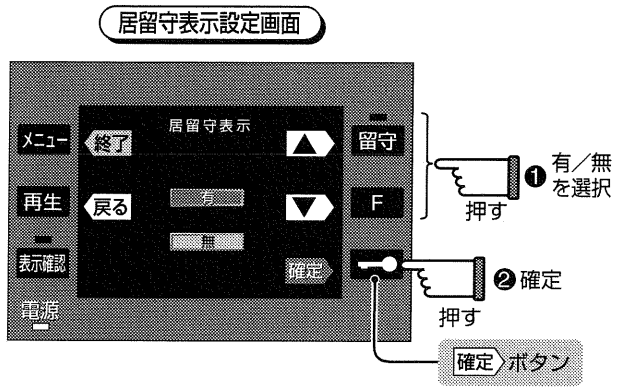
1. ユーザー設定画面の 居留守表示 を選択する

❶ ▲ ボタン・▼ ボタンを押し、居留守表示 を選択する。
❷ 選択 ボタンを押し、選択する。



2. 居留守表示設定画面の 有 無 のいずれかを選択する

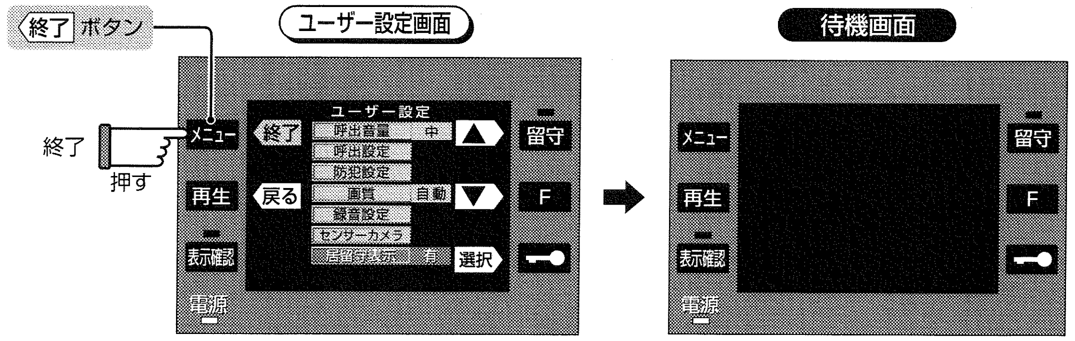
❶ ▲ ボタン・▼ ボタンを押し、有 無 を選択する。
❷ 確定 ボタンを押し、確定する。



有	留守セットしていない状態で、来客呼出時に居留守ボタンを表示します。
無	留守セットしていない状態で、来客呼出時に居留守ボタンを表示しません。

3. 設定を終了する

● 終了 ボタンを押し、待機画面(画面に何も表示されていない状態)にする。



設定状態

親機の施工設定

●設定後、お客様の控えのため、設定状態を書き込んでお使いください。

■書き込み設定シート（✓印を記入してください。）

回路機能設定	回路1	□非常	□コール	□スプリンクラー	□未使用	
	回路2	□非常	□コール	□スプリンクラー	□未使用	
	回路3	□非常	□コール	□スプリンクラー	□防犯	□未使用
	回路4	□非常	□コール	□スプリンクラー	□防犯	□未使用
	回路5	□非常	□コール	□スプリンクラー	□防犯	□未使用

コール設定	コール1	機能切替	□連絡	□緊急			
		移報遅延	□30秒	□無			
		ラッチ（自己保持機能）	□無	□有			
		表示（画面の表示）	□コール1	□コール	□トイレ	□フロ	□部屋
		音量（連絡コール）	□連動	□大	□中	□小	□切
		ドアホン移報	□入	□切			
	コール2	機能切替	□連絡	□緊急			
		移報遅延	□30秒	□無			
		ラッチ（自己保持機能）	□無	□有			
		表示（画面の表示）	□コール2	□コール	□トイレ	□フロ	□部屋
		音量（連絡コール）	□連動	□大	□中	□小	□切
		ドアホン移報	□入	□切			
	コール3	機能切替	□連絡	□緊急			
		移報遅延	□30秒	□無			
		ラッチ（自己保持機能）	□無	□有			
		表示（画面の表示）	□コール3	□コール	□トイレ	□フロ	□部屋
		音量（連絡コール）	□連動	□大	□中	□小	□切
		ドアホン移報	□入	□切			

●設定後、お客様の控えのため、設定状態を書き込んでお使いください。

■書き込み設定シート（✓印を記入してください。）

コール設定	コール4	機能切替	□連絡	□緊急			
		移報遅延	□30秒	□無			
		ラッチ（自己保持機能）	□無	□有			
		表示（画面の表示）	□コール4	□コール	□トイレ	□フロ	□部屋
		音量（連絡コール）	□連動	□大	□中	□小	□切
		ドアホン移報	□入	□切			

防犯設定	防犯1	警戒遅延	□60秒	□120秒	□300秒	□無（0秒）		
		警戒確定音	□入	□切				
		表示（画面の表示）	□防犯	□防犯1	□玄関	□玄関1	□玄関2	□窓
			□窓1	□窓2	□部屋			
	防犯2	警戒遅延	□60秒	□120秒	□300秒	□無（0秒）		
		警戒確定音	□入	□切				
		表示（画面の表示）	□防犯	□防犯2	□玄関	□玄関1	□玄関2	□窓
			□窓1	□窓2	□部屋			
	防犯3	警戒遅延	□60秒	□120秒	□300秒	□無（0秒）		
		警戒確定音	□入	□切				
		表示（画面の表示）	□防犯	□防犯3	□玄関	□玄関1	□玄関2	□窓
			□窓1	□窓2	□部屋			

防犯設定	防犯共通	移報遅延	□40秒	□無（0秒）	
		予備警報音	□入	□切	
		個別警戒	□有－連動	□有－個別	□無
		外部解除	□可	□暗証番号設定時不可	□不可
		警報中外部解除	□可	□不可	
		解錠防犯連動	□有	□無	
		センサー情報	□有	□無	

親機の施工設定

●設定後、お客様の控えのため、設定状態を書き込んでお使いください。

■書き込み設定シート（✓印を記入してください。）

管理呼機能		□無	□有	
カメラ	玄関カメラ	□無	□有	
	センサーカメラ	□有ー連動	□有ー単独	□無
表示・報知	過電流表示	□有ーレベル有	□有ーレベル無	□無
	戸締り表示	□有	□無	
	水漏れ報知	□入	□切	
電気錠		□スイッチST（スイッチストライク）	□JEM-A	□無

親機のユーザー設定

●設定後、お客様の控えのため、設定状態を書き込んでお使いください。

■書き込み設定シート（✓印を記入してください。）

呼出音量			□大 □中 □小 □ステップ □切
呼出設定	呼出音選択	ロビー	□1 □2 □3 □4 □5 □6 □7 □8 □9 □10
		玄関	□1 □2 □3 □4 □5 □6 □7 □8 □9 □10
		管理	□1 □2 □3 □4 □5 □6 □7 □8 □9 □10
	引取り音		□1（電話の呼出音） □2（電話の呼出音） □3（赤ちゃんの泣き声）
	一般放送鳴動		□入 □切
防犯設定	暗証番号		□無 □有　暗証番号記入欄：□□□□
	ドアホン報知		□入 □切
画質			□自動切替 □カラー固定
録音設定	自動録音	ロビー	□有 □無
		玄関	□無 □有ーメッセージ有 □有ーメッセージ無
		管理	□有 □無
	応答メッセージ		□メッセージ1（固定メッセージ） □メッセージ2（約8秒間） 「　　　　　　　　」
	メッセージ音量	ロビー	□大 □中 □小
		玄関	□大 □中 □小
		管理	□大 □中 □小
センサーカメラ	センサー		□防犯・留守連動 □常時ON □OFF
居留守表示			□有 □無

モニター付親機のユーザー設定

●設定後、お客様の控えのため、設定状態を書き込んでお使いください。

■書き込み設定シート（✓印を記入してください。）

呼出音量	□大 □中 □小 □ステップ □切